

浜松市  
障がい福祉に関するアンケート調査  
報告書

令和5年3月

浜 松 市



# 目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	回答者属性	2
2	家族や介助者（援助者）について	25
3	暮らしについて	38
4	災害対策について	69
5	障がいのある人に対する理解や権利擁護について	81
6	療育・教育について	88
7	学習について	97
8	障害福祉サービス等の利用について	99
9	就労について	128
10	将来について	138
11	浜松市の障がい福祉施策について	145
12	自由回答	147

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

浜松市内の障がいのある人の現状や障害福祉サービスの利用状況の実態把握及び障がい者のニーズ調査等を実施にすることにより、令和6年度に策定する浜松市障がい者計画、浜松市障がい福祉実施計画及び障がい児福祉実施計画（障害者基本法に基づく障がい者計画、障害者総合支援法に基づく障がい福祉実施計画及び児童福祉法に基づく障がい児福祉実施計画）の基礎資料を作成する。

## 2 調査対象

浜松市に住所のある身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、障害福祉サービスの利用者から無作為抽出

## 3 調査期間

令和4年12月9日～令和4年12月23日

## 4 調査方法

郵送配付・郵送回収方式

## 5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
18歳以上の障がいのある人	2,200通	1,061通	48.2%
18歳未満の障がいのある人	1,000通	440通	44.0%

## 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

## Ⅱ 調査結果

### 1 回答者属性

#### (1) 回答者（単数回答）

【18歳以上 問1・18歳未満 問1】

#### 18歳以上

「本人が答える」の割合が62.3%と最も高く、次いで「本人の意見を聞いて、家族や介助者（援助者）等が代わって答える」の割合が15.8%、「本人の意見を確認することが難しいので、家族や介助者（援助者）等が答える」の割合が13.9%となっています。

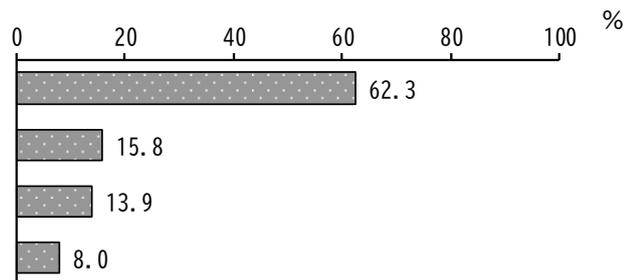
回答者数 = 1,061

本人が答える

本人の意見を聞いて、家族や介助者（援助者）等が代わって答える

本人の意見を確認することが難しいので、家族や介助者（援助者）等が答える

無回答



#### 18歳未満

「本人の意見を確認することが難しいので、家族や介助者（援助者）等が答える」の割合が55.2%と最も高く、次いで「本人の意見を聞いて、家族や介助者（援助者）等が代わって答える」の割合が26.6%、「本人が答える」の割合が10.0%となっています。

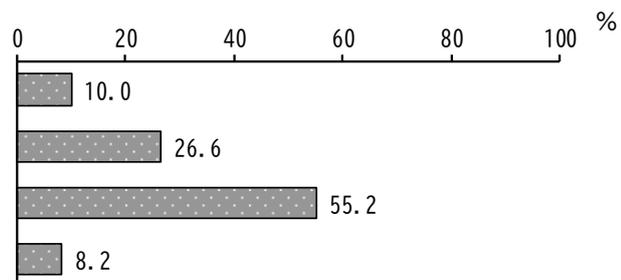
回答者数 = 440

本人が答える

本人の意見を聞いて、家族や介助者（援助者）等が代わって答える

本人の意見を確認することが難しいので、家族や介助者（援助者）等が答える

無回答



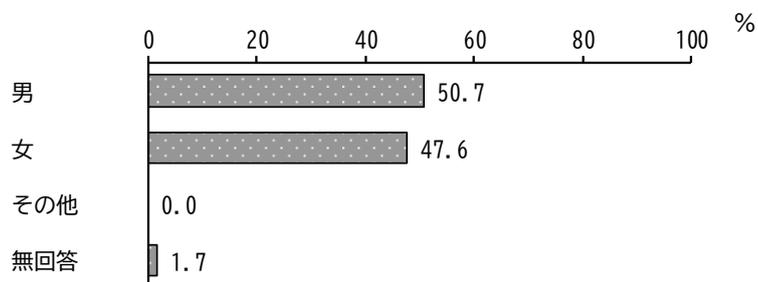
(2) 性別 (単数回答)

【18歳以上 問2(1)・18歳未満 問2(1)】

18歳以上

「男」の割合が50.7%、「女」の割合が47.6%となっています。

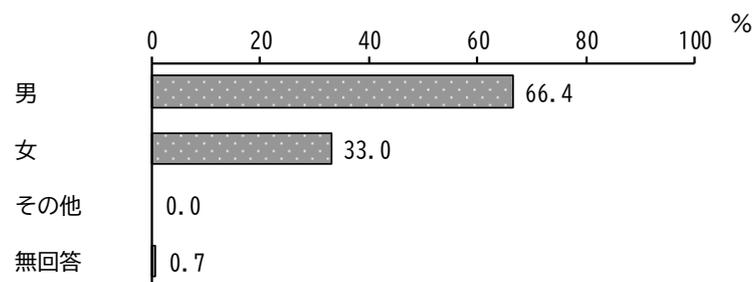
回答者数 = 1,061



18歳未満

「男」の割合が66.4%、「女」の割合が33.0%となっています。

回答者数 = 440

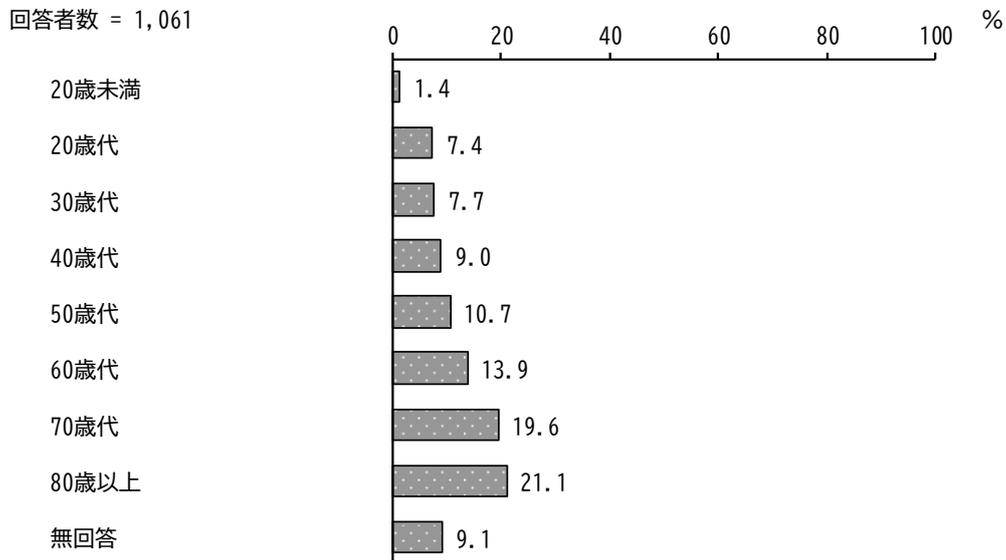


### (3) 年齢

【18歳以上 問2(2)・18歳未満 問2(2)】

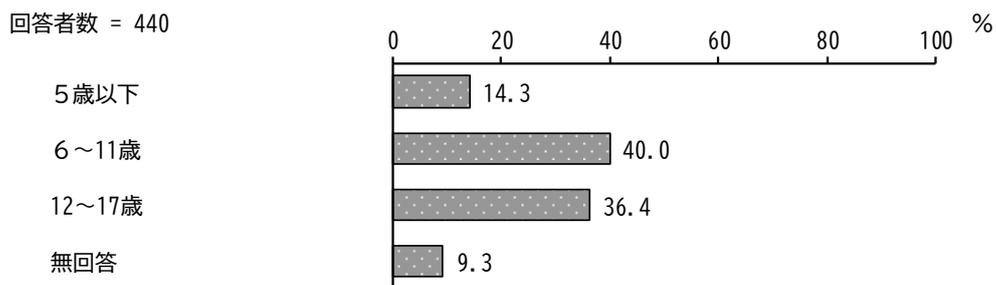
#### 18歳以上

「80歳以上」の割合が21.1%と最も高く、次いで「70歳代」の割合が19.6%、「60歳代」の割合が13.9%となっています。



#### 18歳未満

「6～11歳」の割合が40.0%と最も高く、次いで「12～17歳」の割合が36.4%、「5歳以下」の割合が14.3%となっています。



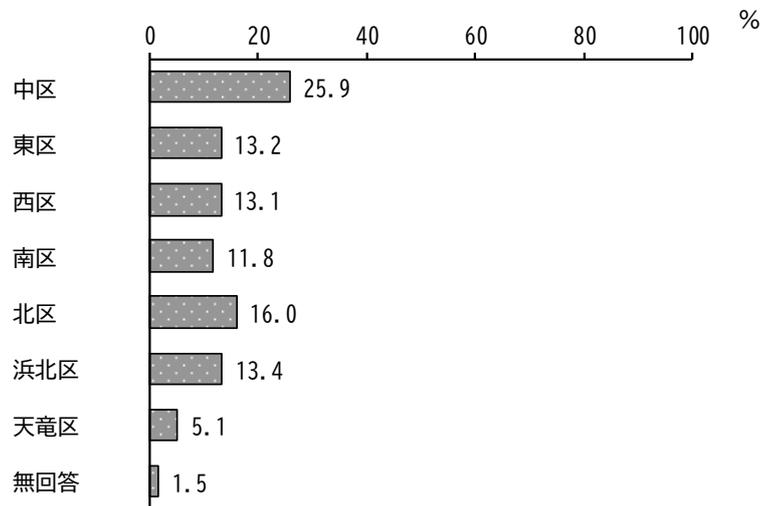
(4) お住まいの区 (単数回答)

【18歳以上 問2(3)・18歳未満 問2(3)】

18歳以上

「中区」の割合が25.9%と最も高く、次いで「北区」の割合が16.0%、「浜北区」の割合が13.4%となっています。

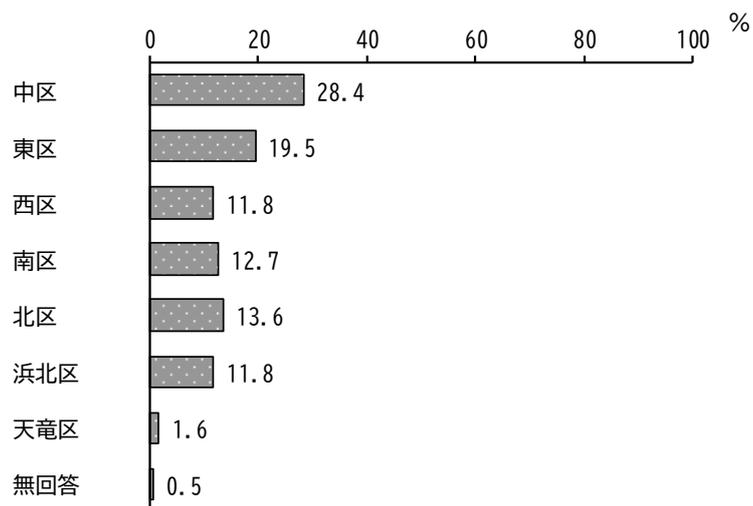
回答者数 = 1,061



18歳未満

「中区」の割合が28.4%と最も高く、次いで「東区」の割合が19.5%、「北区」の割合が13.6%となっています。

回答者数 = 440

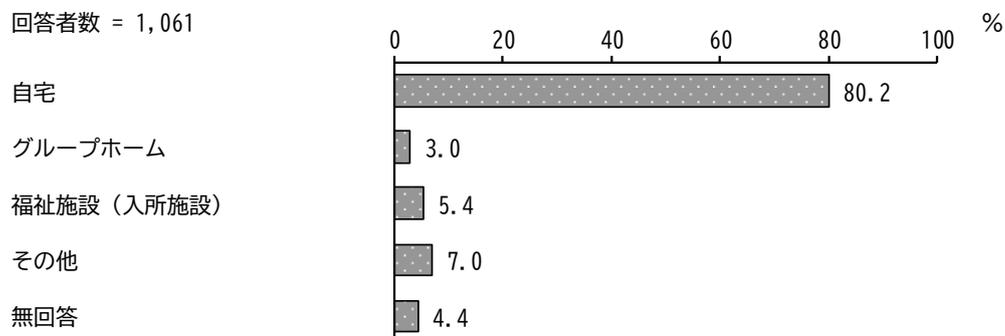


(5) お住まいの種類 (単数回答)

【18歳以上 問2(4)・18歳未満 問2(4)】

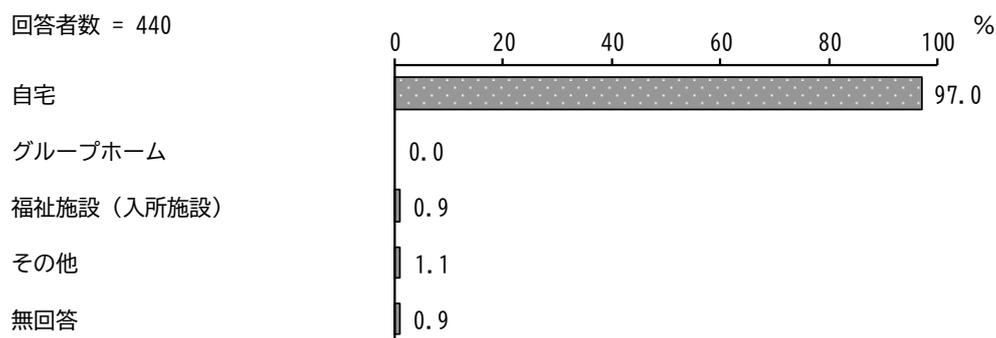
18歳以上

「自宅」の割合が80.2%と最も高くなっています。



18歳未満

「自宅」の割合が97.0%と最も高くなっています。



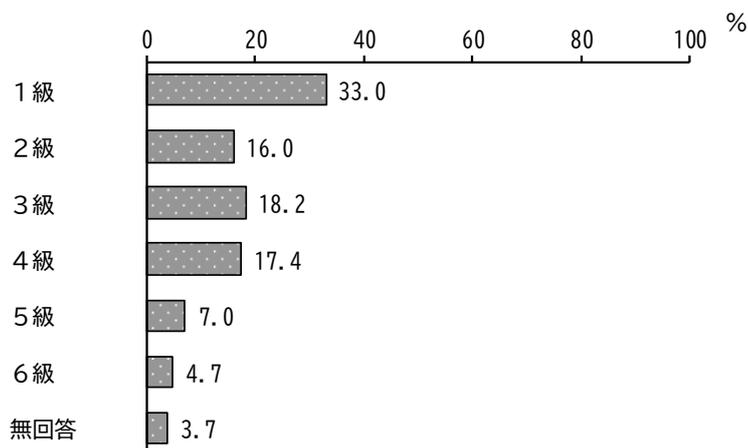
## (6) 身体障害者手帳の等級 (単数回答)

【18歳以上 問3(1)・18歳未満 問3(1)】

### 18歳以上

18歳以上のアンケート回答者(1,061人)のうち、身体障害者手帳の所持者は748人となっています。この身体障害者手帳所持者(748人)の内、「1級」の割合が33.0%と最も高く、次いで「3級」の割合が18.2%、「4級」の割合が17.4%となっています。

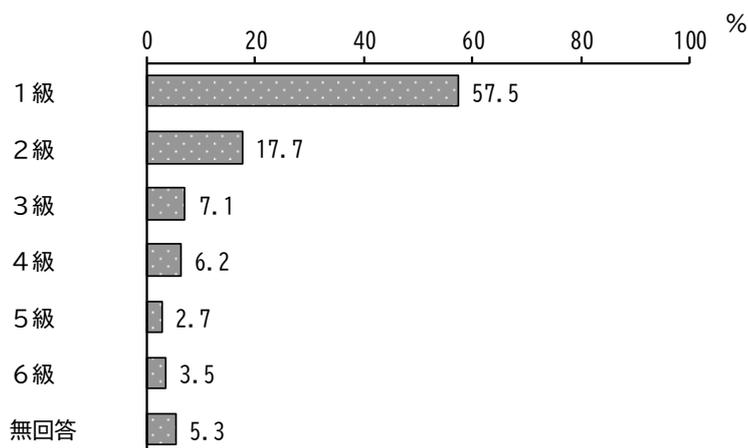
回答者数 = 748



### 18歳未満

18歳未満のアンケート回答者(440人)のうち、身体障害者手帳の所持者は113人となっています。この身体障害者手帳所持者(113人)の内、「1級」の割合が57.5%と最も高く、次いで「2級」の割合が17.7%となっています。

回答者数 = 113

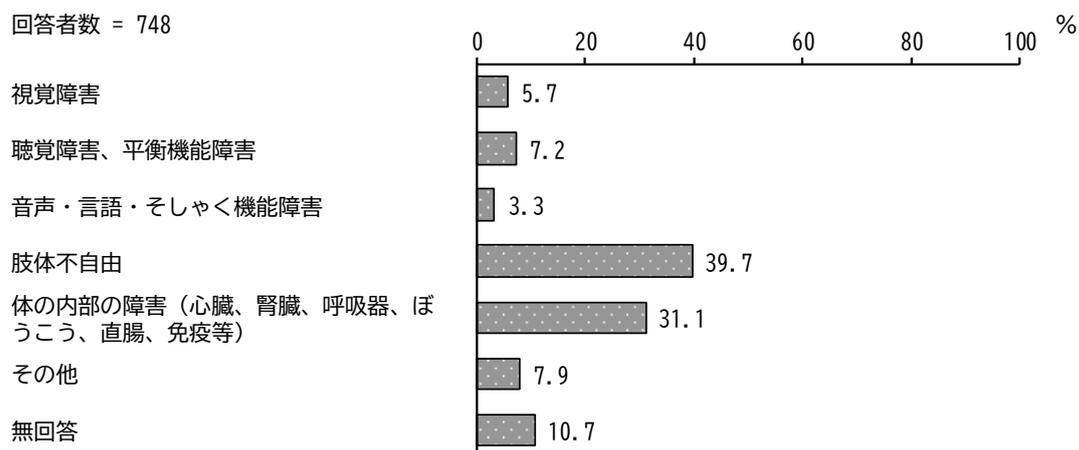


(7) 身体障害者手帳所持者の障害種別（複数回答）

【18歳以上 問3(1)・18歳未満 問3(1)】

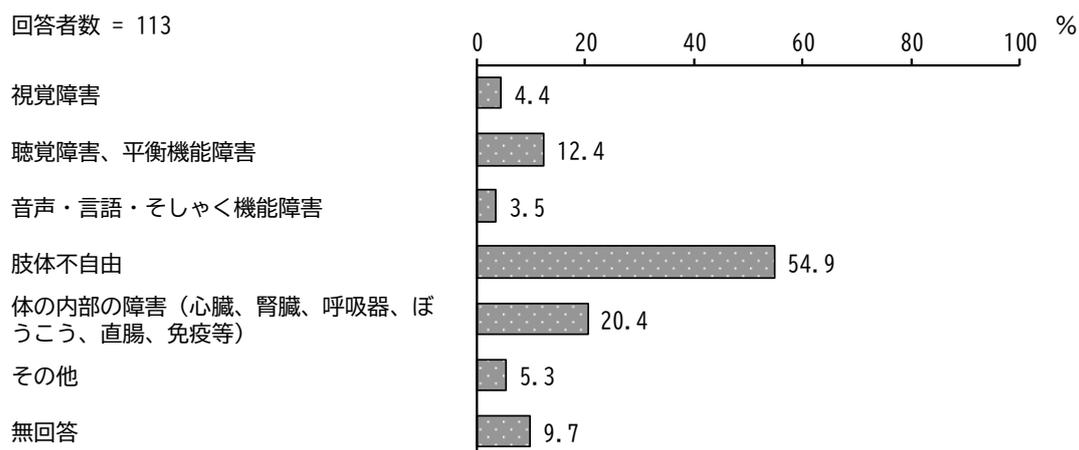
18歳以上

身体障害者手帳所持者（748人）の内、「肢体不自由」の割合が39.7%と最も高く、次いで「体の内部の障害（心臓、腎臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、免疫等）」の割合が31.1%となっています。



18歳未満

身体障害者手帳所持者（113人）の内、「肢体不自由」の割合が54.9%と最も高く、次いで「体の内部の障害（心臓、腎臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、免疫等）」の割合が20.4%、「聴覚障害、平衡機能障害」の割合が12.4%となっています。

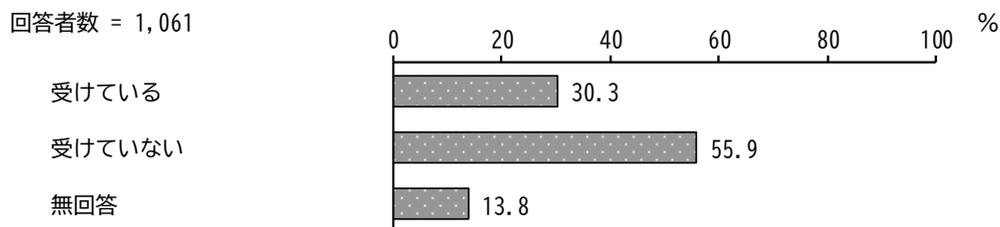


(8) 特定医療費（指定難病）助成制度による医療費の助成を受けていますか。  
(単数回答)

【18歳以上 3 (2)】

18歳以上

「受けていない」の割合が55.9%と高くなっています。

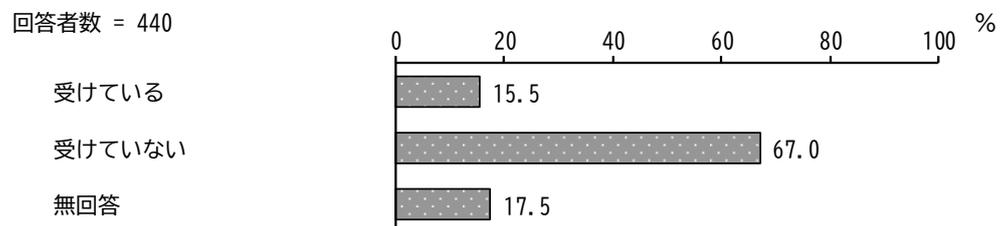


(9) 小児慢性特定疾病医療費助成制度による医療費の助成を受けていますか。  
(単数回答)

【18歳未満 問3 (2)】

18歳未満

「受けていない」の割合が67.0%と高くなっています。



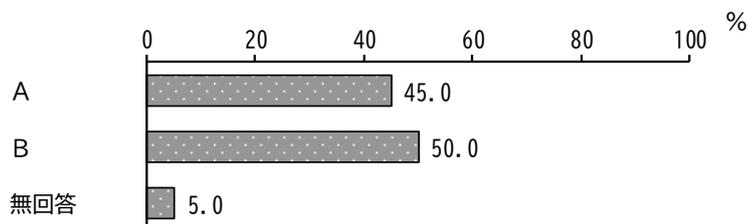
(10) 療育手帳の等級 (単数回答)

【18歳以上 3 (3)・18歳未満 問3 (3)】

18歳以上

18歳以上のアンケート回答者(1,061人)のうち、療育手帳の所持者は242人となっています。療育手帳所持者(242人)の内、「A」の割合が45.0%、「B」の割合が50.0%となっています。

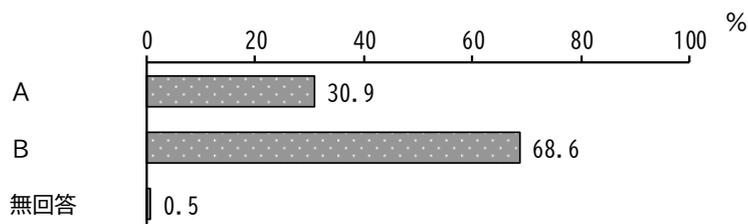
回答者数 = 242



18歳未満

18歳未満のアンケート回答者(440人)のうち、療育手帳の所持者は388人となっています。療育手帳所持者(388人)の内、「A」の割合が30.9%、「B」の割合が68.6%となっています。

回答者数 = 388



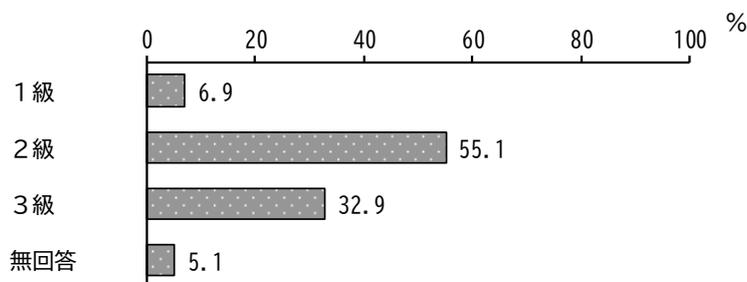
(11) 精神障害者保健福祉手帳の等級 (単数回答)

【18歳以上 3(4)・18歳未満 問3(4)】

18歳以上

18歳以上のアンケート回答者(1,061人)のうち、精神障害者保健福祉手帳の所持者は216人となっています。精神障害者保健福祉手帳(216人)の内、「2級」の割合が55.1%と最も高く、次いで「3級」の割合が32.9%となっています。

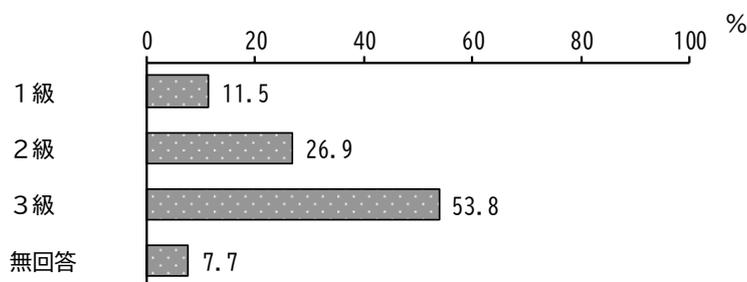
回答者数 = 216



18歳未満

18歳未満のアンケート回答者(440人)のうち、精神障害者保健福祉手帳の所持者は26人となっています。精神障害者保健福祉手帳(26人)の内、「3級」の割合が53.8%と最も高く、次いで「2級」の割合が26.9%、「1級」の割合が11.5%となっています。

回答者数 = 26

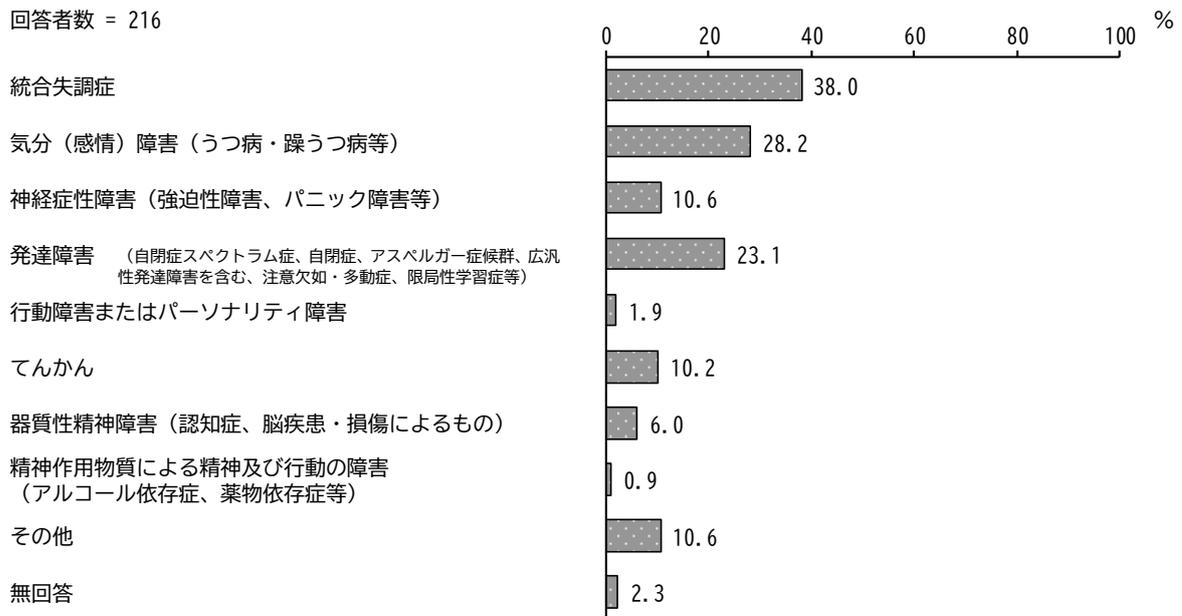


(12) 精神障害者保健福祉手帳所持者の主な病名（複数回答）

【18歳以上 3（4）・18歳未満 問3（4）】

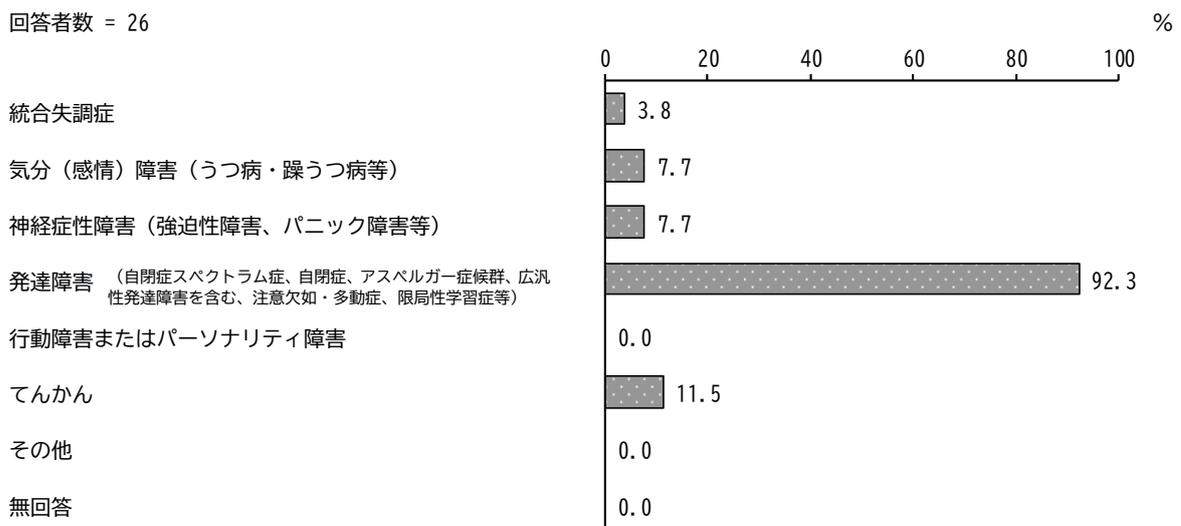
18歳以上

精神障害者保健福祉手帳所持者（216人）の内、「統合失調症」の割合が38.0%と最も高く、次いで「気分（感情）障害（うつ病・躁うつ病等）」の割合が28.2%、「発達障害（自閉症スペクトラム症、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害を含む、注意欠如・多動症、限局性学習症等）」の割合が23.1%となっています。



18歳未満

精神障害者保健福祉手帳所持者（26人）の内、「発達障害（自閉症スペクトラム症、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害を含む、注意欠如・多動症、限局性学習症等）」の割合が92.3%と最も高く、次いで「てんかん」の割合が11.5%となっています。



(13) これまで、発達に関して医師の診察を受けたことはありますか。ある場合には、診断名をお答えください。(複数回答)

【18歳以上 問4・18歳未満 問4】

**18歳以上**

「診察を受けたことはない」の割合が13.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,061

自閉症スペクトラム症 (ASD) (自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害を含む)

限局性学習症 (学習障害 (LD))

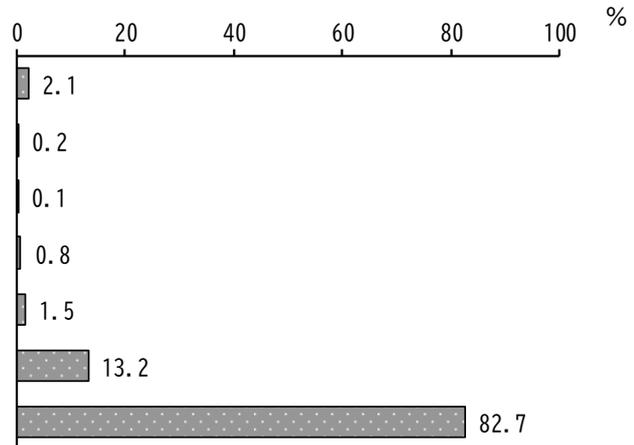
ダウン症候群

注意欠如・多動症 (AD/HD)

その他

診察を受けたことはない

無回答



**18歳未満**

「自閉症スペクトラム症 (ASD)、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害を含む」の割合が17.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 440

自閉症スペクトラム症 (ASD) (自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害を含む)

限局性学習症 (学習障害 (LD))

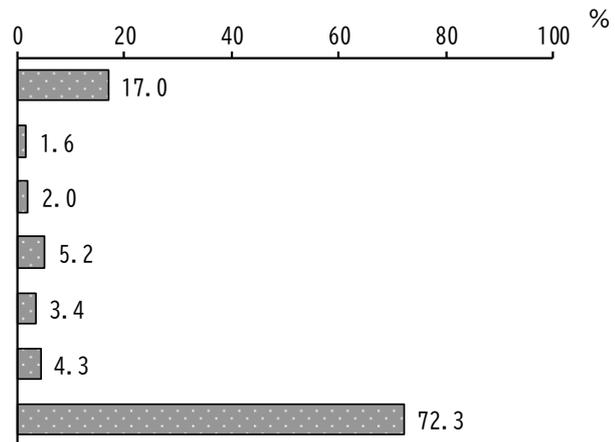
ダウン症候群

注意欠如・多動症 (AD/HD)

その他

診察を受けたことはない

無回答



(14) 障害支援区分認定の状況（単数回答）

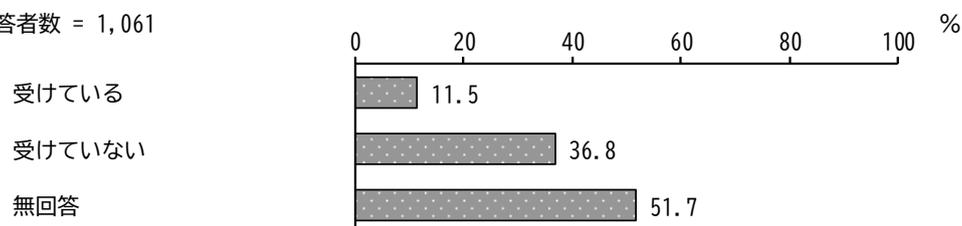
【18歳以上 問5】

①認定状況

18歳以上

「受けている」の割合が11.5%、「受けていない」の割合が36.8%となっています。

回答者数 = 1,061

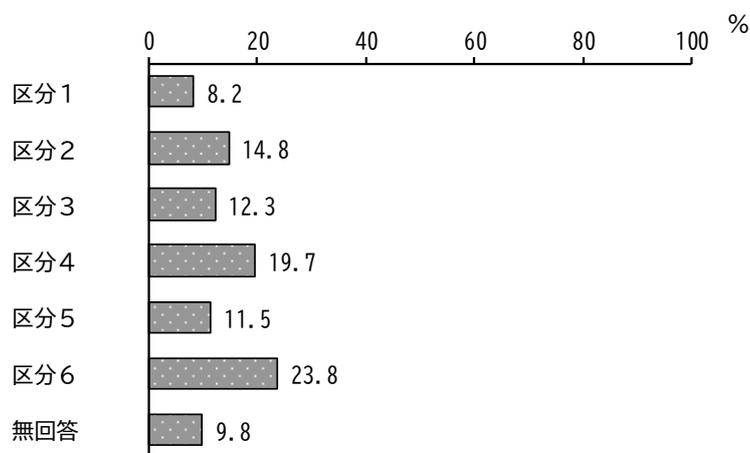


②認定の区分

18歳以上

障害支援区分認定を受けている122人のうち、「区分6」の割合が23.8%と最も高く、次いで「区分4」の割合が19.7%、「区分2」の割合が14.8%となっています。

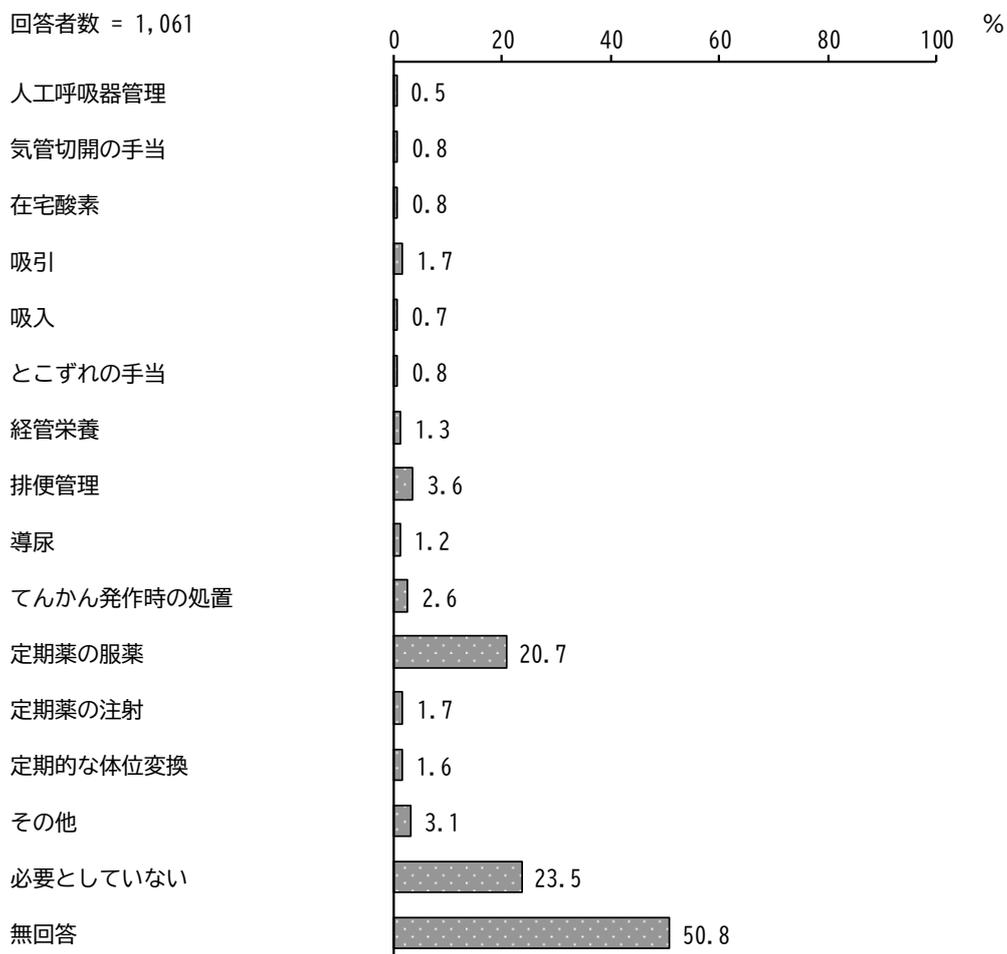
回答者数 = 122



(15) 医療的ケアを必要としていますか。現在必要としているケアをお答えください。  
(複数回答) 【18歳以上 問6・18歳未満 問5】

18歳以上

「必要としていない」の割合が23.5%と最も高く、次いで「定期薬の服薬」の割合が20.7%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別で見ると、身体障害者手帳と療育手帳で「必要としていない」の割合が最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳で「定期薬の服薬」の割合が最も高くなっています。

単位：％

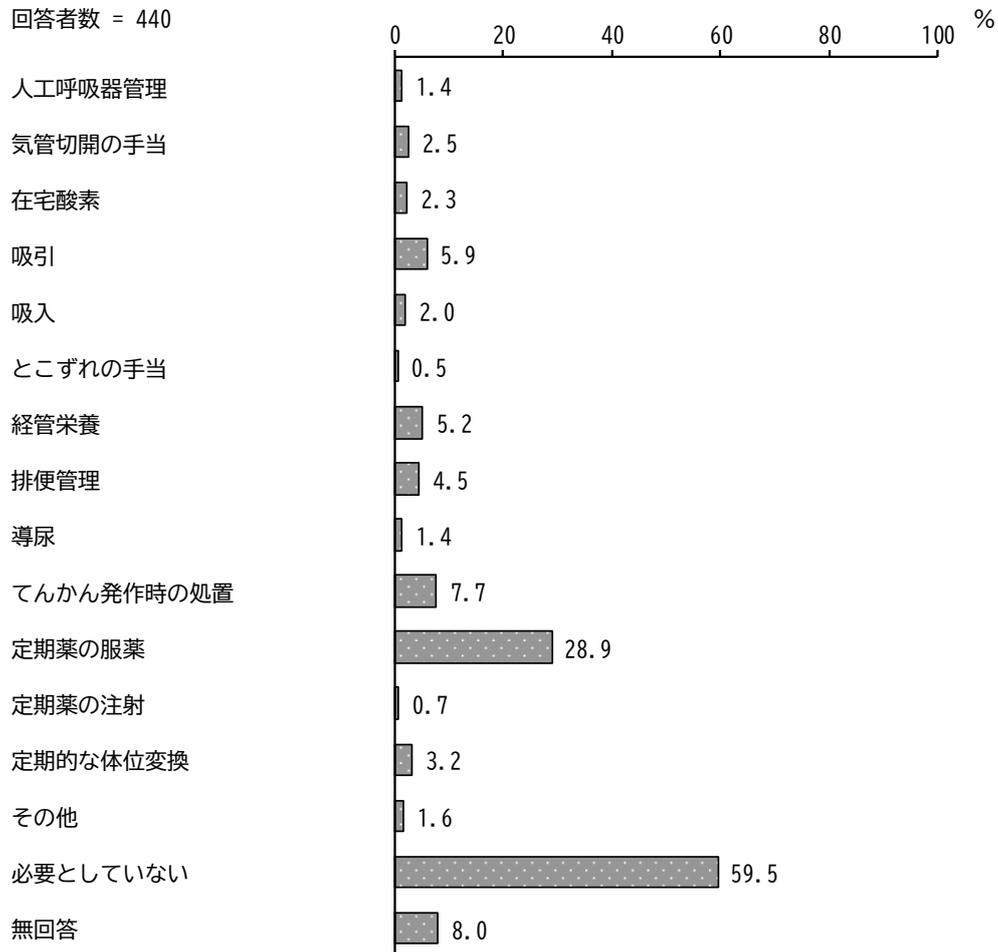
区分	回答者数 (件)	人工呼吸器管理	気管切開の 手当	在宅酸素	吸引	吸入	とこずれの 手当	経管栄養	排便管理
身体	748	0.7	1.2	1.1	2.3	0.9	1.1	1.7	4.0
療育	242	0.8	2.5	1.2	2.9	0.8	0.8	2.1	5.4
精神	216	—	—	0.5	0.9	—	0.9	0.5	2.8

区分	回答者数 (件)	導尿	てんかん発作時の 処置	定期薬の服薬	定期薬の注射	定期的な体位 変換	その他	必要として いない	無回答
身体	748	1.6	2.0	18.4	2.0	2.1	3.7	21.8	53.6
療育	242	0.4	7.9	24.8	1.7	1.7	1.7	27.3	43.4
精神	216	0.9	3.2	25.5	0.5	0.5	2.3	23.1	47.2

※身体は「身体障害者手帳」、療育は「療育手帳」、精神は「精神 障害者保健福祉手帳」の略称（以下同様）

18歳未満

「必要としていない」の割合が59.5%と最も高く、次いで「定期薬の服薬」の割合が28.9%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、身体障害者手帳で「定期薬の服薬」の割合が最も高くなっています。療育手帳と精神障害者保健福祉手帳で「必要としていない」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	人工呼吸器管理	気管切開の 手当	在宅酸素	吸引	吸入	とこずれの手当	経管栄養	排便管理
身体	113	5.3	9.7	8.8	23.0	6.2	1.8	20.4	15.0
療育	388	1.3	2.3	1.8	5.7	2.3	0.5	5.2	3.6
精神	26	—	—	—	—	—	3.8	—	—

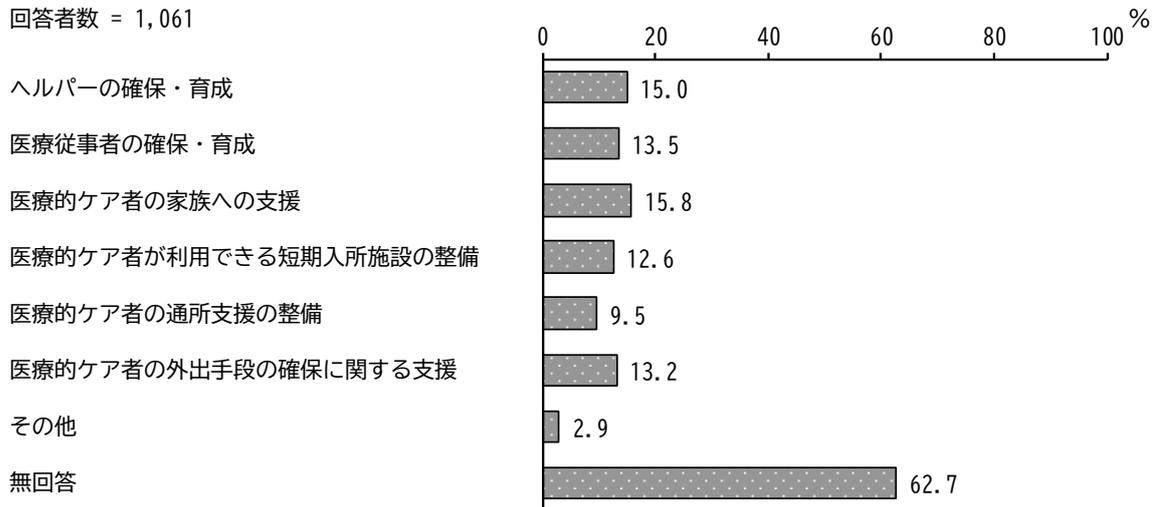
区分	回答者数 (件)	導尿	てんかん発作時の 処置	定期薬の服薬	定期薬の注射	定期的な体位変換	その他	必要としていない	無回答
身体	113	4.4	19.5	47.8	0.9	12.4	2.7	40.7	4.4
療育	388	0.8	7.0	26.5	0.8	2.8	1.5	60.8	8.8
精神	26	—	11.5	46.2	—	—	—	50.0	—

(16) 医療的ケアに関して、どのような支援の充実が必要だと思いますか。  
(複数回答)

【18歳以上 問7・18歳未満 問6】

18歳以上

「医療的ケア者の家族への支援」の割合が15.8%と最も高く、次いで「ヘルパーの確保・育成」の割合が15.0%、「医療従事者の確保・育成」の割合が13.5%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、身体障害者手帳で「ヘルパーの確保・育成」「医療的ケア者の家族への支援」、療育手帳で「医療的ケア者の家族への支援」、精神障害者保健福祉手帳で「ヘルパーの確保・育成」「医療従事者の確保・育成」の割合が最も高くなっています。

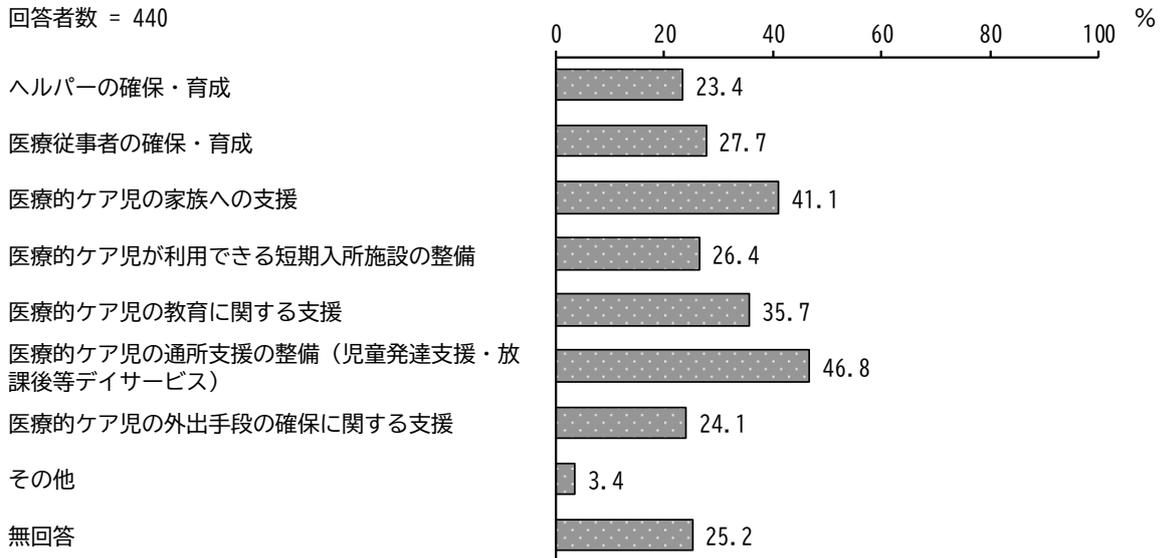
単位：%

区分	回答者数 (件)	ヘルパーの確保・育成	医療従事者の確保・育成	医療的ケア者の家族への支援	医療的ケア者が利用できる短期入所施設の整備	医療的ケア者の通所支援の整備	医療的ケア者の外出手段の確保に関する支援	その他	無回答
身体	748	14.4	12.4	14.4	12.0	8.4	12.7	2.5	65.0
療育	242	16.1	14.5	20.2	19.8	16.1	15.3	2.5	57.0
精神	216	15.7	15.7	15.3	7.9	10.2	12.5	4.2	58.3

18歳未満

「医療的ケア児の通所支援の整備（児童発達支援・放課後等デイサービス）」の割合が46.8%と最も高く、次いで「医療的ケア児の家族への支援」の割合が41.1%、「医療的ケア児の教育に関する支援」の割合が35.7%となっています。

回答者数 = 440



【手帳種別】

手帳の種別でみると、身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳で「医療的ケア児の家族への支援」の割合が最も高くなっています。また、療育手帳で「医療的ケア児の通所支援の整備（児童発達支援・放課後等デイサービス）」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	ヘルパーの確保・育成	医療従事者の確保・育成	医療的ケア児の家族への支援	医療的ケア児が利用できる短期入所施設の整備	医療的ケア児の教育に関する支援	医療的ケア児の通所支援の整備（児童発達支援・放課後等デイサービス）	医療的ケア児の外出手段の確保に関する支援	その他	無回答
身体	113	23.0	29.2	55.8	38.1	38.1	51.3	33.6	7.1	15.9
療育	388	23.2	27.8	38.7	26.5	35.3	48.5	23.2	3.1	25.8
精神	26	15.4	23.1	57.7	15.4	26.9	42.3	15.4	3.8	15.4

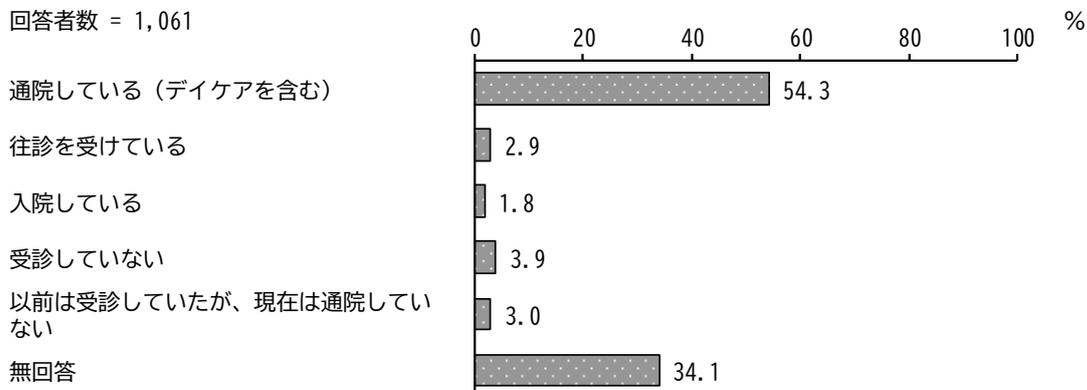
(17) 現在、定期的に医療機関を受診していますか。(単数回答)

【18歳以上 問8・18歳未満 問7】

18歳以上

「通院している（デイケアを含む）」の割合が54.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,061



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「通院している（デイケアを含む）」の割合が最も高くなっています。

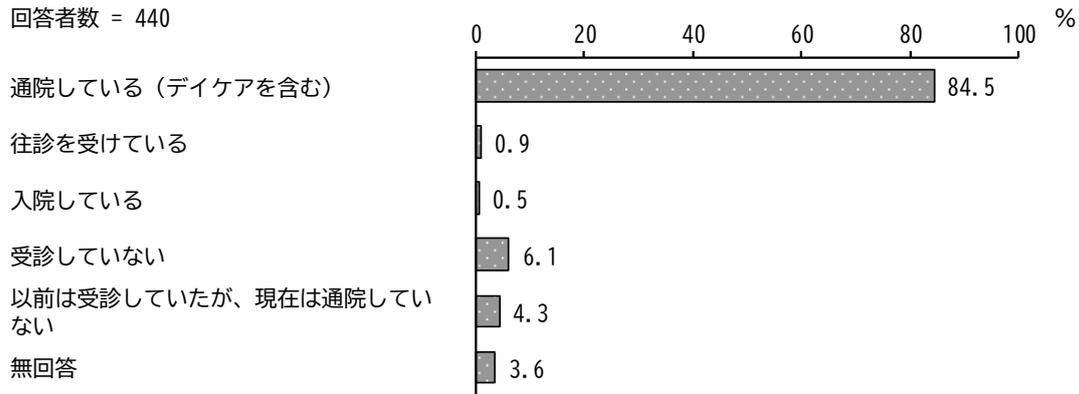
単位：%

区分	回答者数 (件)	通院している (デイケアを含む)	往診を受けている	入院している	受診していない	以前は受診していたが、 現在は通院していない	無回答
身体	748	52.8	3.3	2.3	2.8	3.7	35.0
療育	242	55.0	3.7	2.5	9.5	1.2	28.1
精神	216	62.0	1.9	2.3	0.9	0.5	32.4

18歳未満

「通院している（デイケアを含む）」の割合が84.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 440



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「通院している（デイケアを含む）」の割合が最も高くなっています。

単位：%

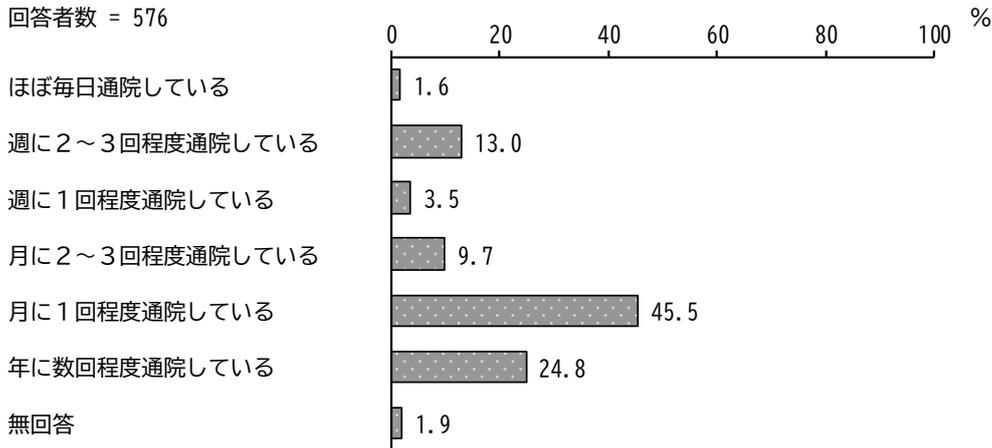
区分	回答者数 (件)	通院している (デイケアを含む)	往診を受けている	入院している	受診していない	以前は受診していたが、現在は通院していない	無回答
身体	113	90.3	2.7	0.9	2.7	2.7	0.9
療育	388	83.0	1.0	0.5	6.7	4.6	4.1
精神	26	92.3	—	—	3.8	—	3.8

(18) どのくらいの頻度で通院をしていますか。(単数回答)

【18歳以上 問8-1・18歳未満 問7-1】

18歳以上

定期的に通院している人(576人)の内、「月に1回程度通院している」の割合が45.5%と最も高く、次いで「年に数回程度通院している」の割合が24.8%、「週に2~3回程度通院している」の割合が13.0%となっています。



【手帳種別】

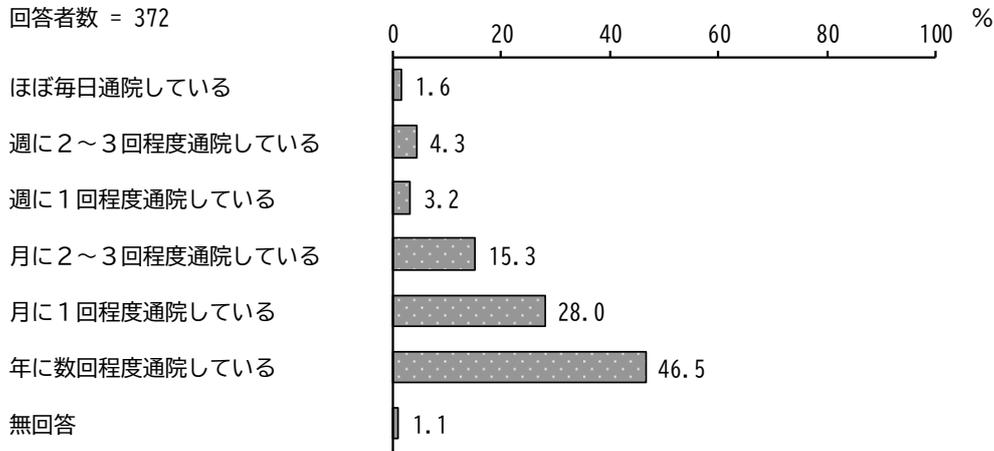
手帳の種別で見ると、全ての手帳で「年に数回程度通院している」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	ほぼ毎日通院している	週に2~3回程度通院している	週に1回程度通院している	月に2~3回程度通院している	月に1回程度通院している	年に数回程度通院している	無回答
身体	395	2.0	17.7	3.5	7.8	42.3	24.8	1.8
療育	133	4.5	3.8	1.5	12.8	44.4	32.3	0.8
精神	134	0.7	3.0	3.0	12.7	61.2	14.9	4.5

18歳未満

定期的に通院している人（372人）の内、「年に数回程度通院している」の割合が46.5%と最も高く、次いで「月に1回程度通院している」の割合が28.0%、「月に2～3回程度通院している」の割合が15.3%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、身体障害者手帳と療育手帳で「年に数回程度通院している」の割合が最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳で「月に1回程度通院している」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	ほぼ毎日通院している	週に2～3回程度通院している	週に1回程度通院している	月に2～3回程度通院している	月に1回程度通院している	年に数回程度通院している	無回答
身体	102	1.0	8.8	10.8	24.5	23.5	29.4	2.0
療育	322	1.2	5.0	3.4	14.6	28.3	46.6	0.9
精神	24	4.2	4.2	—	12.5	41.7	37.5	—

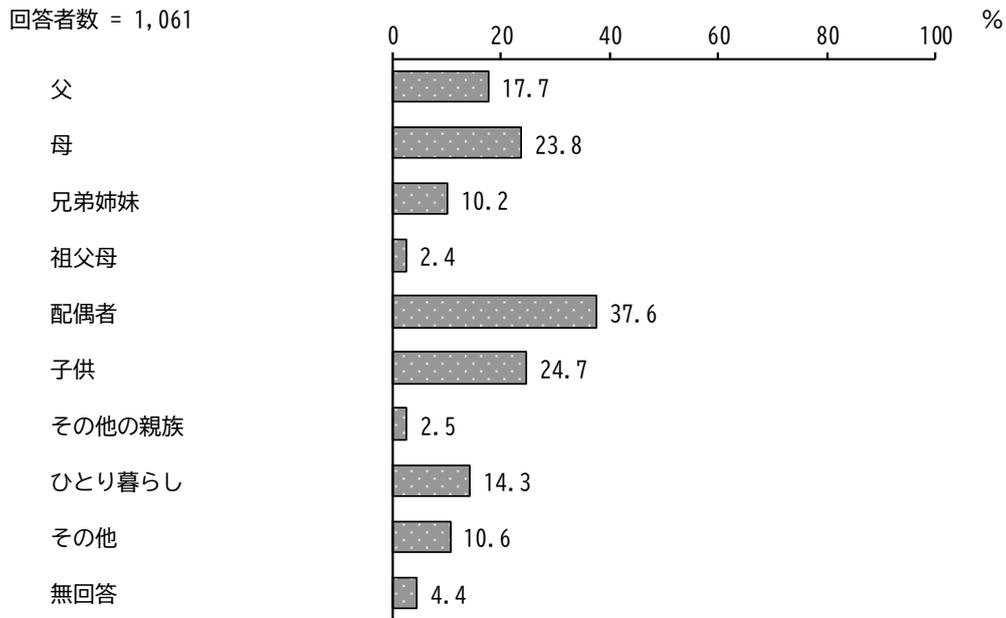
## 2 家族や介助者（援助者）について

### (1) 一緒に暮らしている人（複数回答）

【18歳以上 問9・18歳未満 問8】

#### 18歳以上

「配偶者」の割合が37.6%と最も高く、次いで「子供」の割合が24.7%、「母」の割合が23.8%となっています。



#### 【手帳種別】

手帳の種別でみると、身体障害者手帳で「配偶者」の割合が高くなっています。また、療育手帳と精神障害者保健福祉手帳で「母」の割合が最も高くなっています。

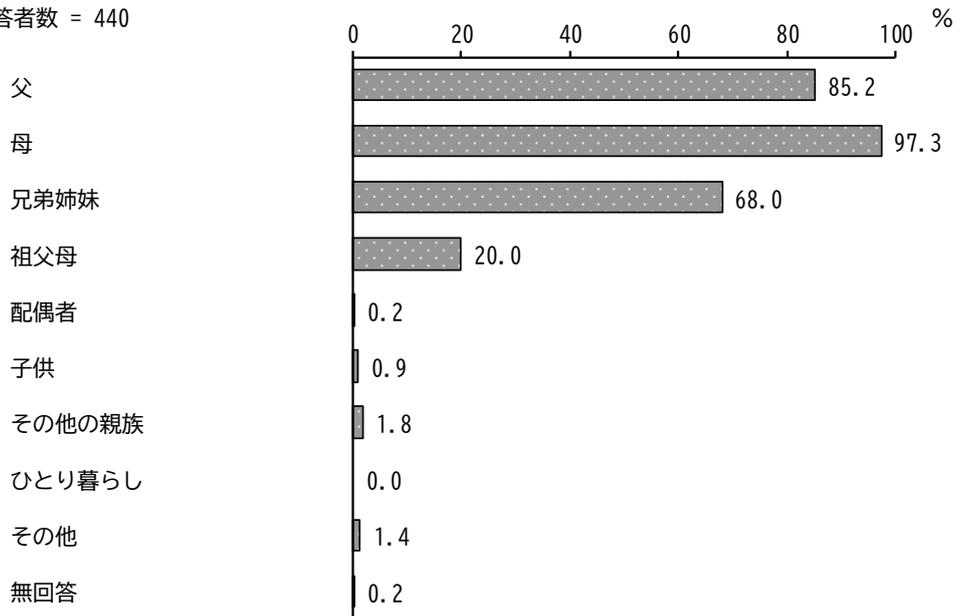
単位：%

区分	回答者数 (件)	父	母	兄弟姉妹	祖父母	配偶者	子供	その他の親族	ひとり暮らし	その他	無回答
身体	748	8.4	12.2	5.1	0.9	47.5	31.4	2.9	15.2	9.1	5.1
療育	242	40.1	48.8	23.6	6.2	13.2	6.6	1.7	7.9	18.2	4.5
精神	216	32.9	41.7	18.5	3.7	18.1	11.6	0.9	22.7	9.3	4.2

18歳未満

「母」の割合が97.3%と最も高く、次いで「父」の割合が85.2%、「兄弟姉妹」の割合が68.0%となっています。

回答者数 = 440



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「母」の割合が最も高くなっています。

単位：%

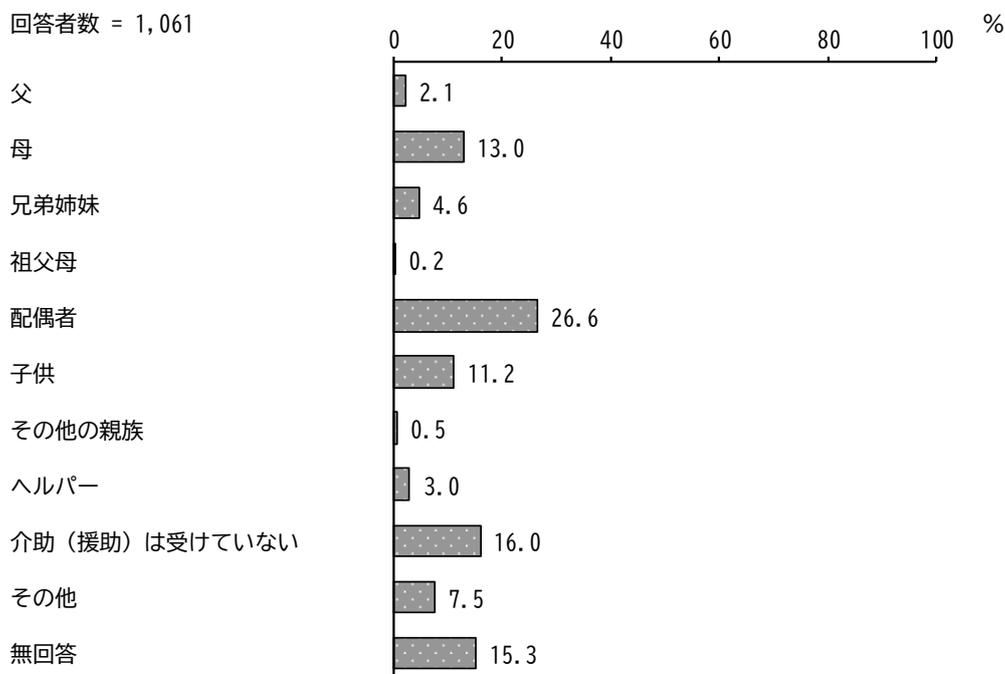
区分	回答者数 (件)	父	母	兄弟姉妹	祖父母	配偶者	子供	その他の親族	ひとり暮らし	その他	無回答
身体	113	83.2	98.2	71.7	18.6	—	0.9	2.7	—	0.9	—
療育	388	85.8	96.9	67.0	19.3	0.3	1.0	1.8	—	1.3	0.3
精神	26	69.2	100.0	65.4	19.2	—	3.8	—	—	3.8	—

(2) 主な介助者（援助者）（単数回答）

【18歳以上 問10・18歳未満 問9】

18歳以上

「配偶者」の割合が26.6%と最も高く、次いで「介助（援助）は受けていない」の割合が16.0%、「母」の割合が13.0%となっています。



【手帳種別】

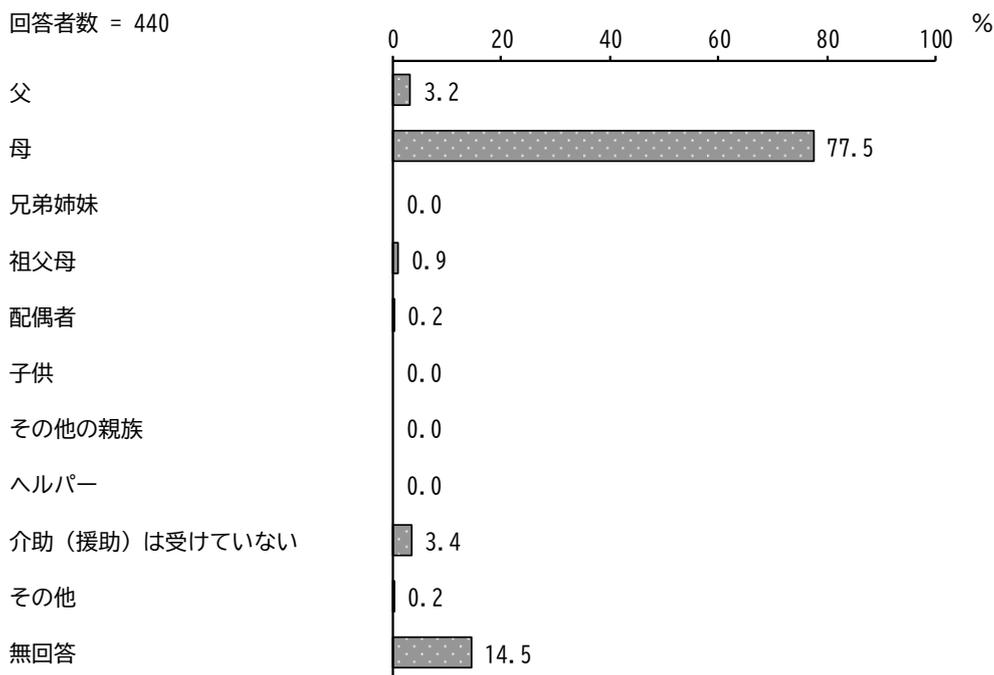
手帳の種別で見ると、身体障害者手帳で「配偶者」の割合が最も高くなっています。また、療育手帳で「母」の割合が最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳で「介助（援助）は受けていない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	父	母	兄弟姉妹	祖父母	配偶者	子供	その他の親族	ヘルパー	介助（援助）は受けていない	その他	無回答
身体	748	1.1	5.9	3.5	0.1	34.2	15.0	0.5	2.9	16.3	5.9	14.6
療育	242	5.8	33.1	7.0	—	7.4	2.1	—	2.9	10.3	15.3	16.1
精神	216	3.2	18.1	8.3	0.5	13.0	4.2	0.5	4.6	21.3	8.3	18.1

18歳未満

「母」の割合が77.5%と最も高くなっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「母」の割合が最も高くなっています。

単位：%

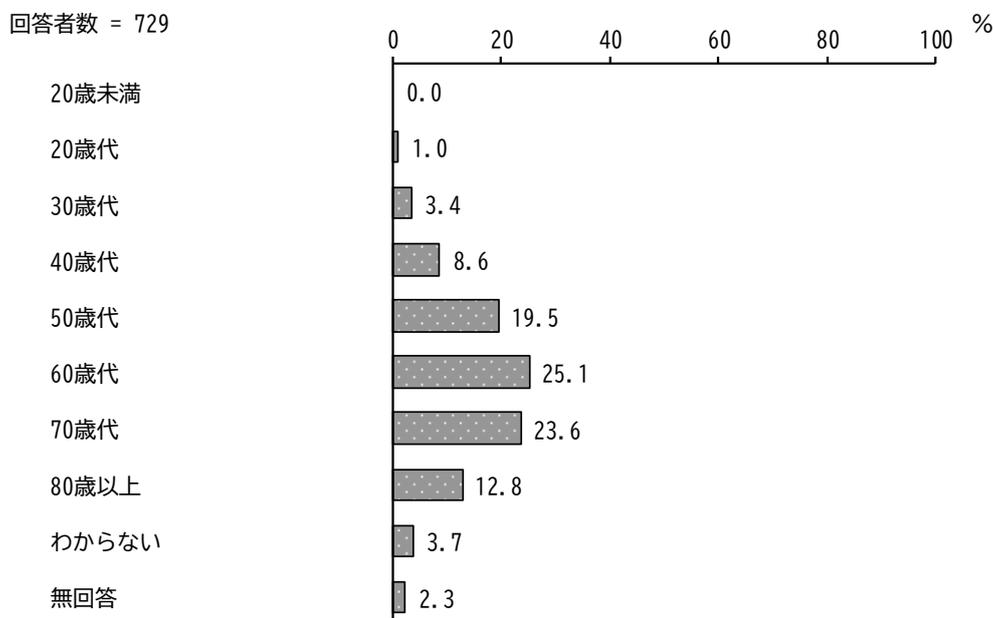
区分	回答者数 (件)	父	母	兄弟姉妹	祖父母	配偶者	子供	その他の親族	ヘルパー	介助(援助)は受けていない	その他	無回答
身体	113	4.4	76.1	—	0.9	—	—	—	—	2.7	—	15.9
療育	388	3.1	77.1	—	1.0	0.3	—	—	—	3.4	0.3	14.9
精神	26	7.7	84.6	—	—	—	—	—	—	3.8	—	3.8

(3) 主な介助者（援助者）の年齢（単数回答）

【18歳以上 問11・18歳未満 問10】

18歳以上

介助を受けていると回答した人（729人）の主な介助者（援助者）は、「60歳代」の割合が25.1%と最も高く、次いで「70歳代」の割合が23.6%、「50歳代」の割合が19.5%となっています。



【手帳種別】

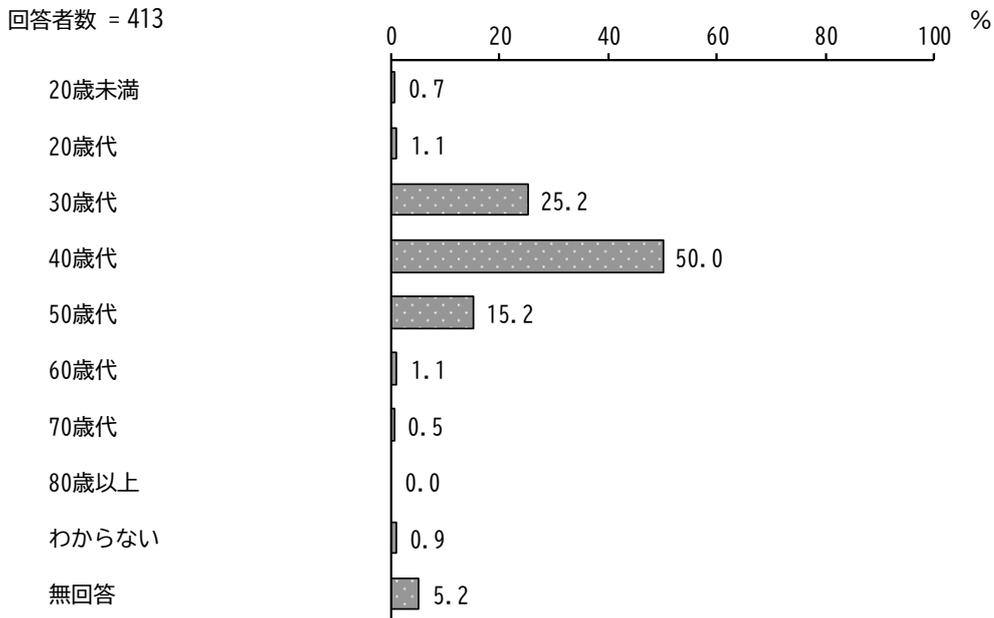
手帳の種別でみると、身体障害者手帳で「70歳代」の割合が最も高くなっています。また、療育手帳で「50歳代」の割合が最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳で「60歳代」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	わからない	無回答
身体	517	—	0.6	1.7	7.4	18.8	25.5	26.3	14.5	2.7	2.5
療育	178	—	—	5.1	10.7	29.2	20.8	16.9	9.6	6.7	1.1
精神	131	—	3.1	7.6	13.7	15.3	26.0	13.0	13.7	4.6	3.1

### 18 歳未満

介助を受けていると回答した人(413人)の主な介助者(援助者)は、「40歳代」の割合が50.0%と最も高く、次いで「30歳代」の割合が25.2%、「50歳代」の割合が15.2%となっています。



### 【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「40歳代」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	わからない	無回答
身体	113	0.9	1.8	28.3	50.4	13.3	1.8	—	—	0.9	2.7
療育	388	0.5	1.0	25.0	49.7	15.5	1.3	0.5	—	0.8	5.7
精神	26	7.7	—	15.4	53.8	19.2	—	—	—	3.8	—

【年齢別】

年齢別にみると、5歳以下で「30歳代」、6歳～17歳で「40歳代」の割合が最も高くなっています。18～20歳未満、20歳代、50歳代で「50歳代」の割合が最も高くなっています。また、30歳代、60歳代、80歳以上で「60歳代」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	介助者（援護者）										
		20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	わからない	無回答	
回答者 (18歳未満)	5歳以下	63	—	3.2	61.9	31.7	—	—	—	—	—	3.2
	6～11歳	176	1.7	1.1	29.5	58.0	7.4	0.6	—	—	—	1.7
	12～17歳	160	—	—	10.6	50.6	25.6	1.9	1.3	—	2.5	7.5
回答者 (18歳以上)	18～20歳未満	11	—	—	—	36.4	63.6	—	—	—	—	—
	20歳代	53	—	3.8	5.7	17.0	50.9	18.9	—	—	1.9	1.9
	30歳代	51	—	—	7.8	7.8	9.8	43.1	19.6	—	9.8	2.0
	40歳代	67	—	1.5	4.5	22.4	10.4	11.9	34.3	7.5	4.5	3.0
	50歳代	70	—	2.9	4.3	4.3	32.9	18.6	7.1	20.0	5.7	4.3
	60歳代	106	—	—	3.8	7.5	9.4	50.0	18.9	6.6	1.9	1.9
	70歳代	144	—	—	1.4	9.0	10.4	13.9	47.2	13.2	2.8	2.1
	80歳以上	167	—	0.6	0.6	3.0	21.0	26.3	18.6	25.7	2.4	1.8

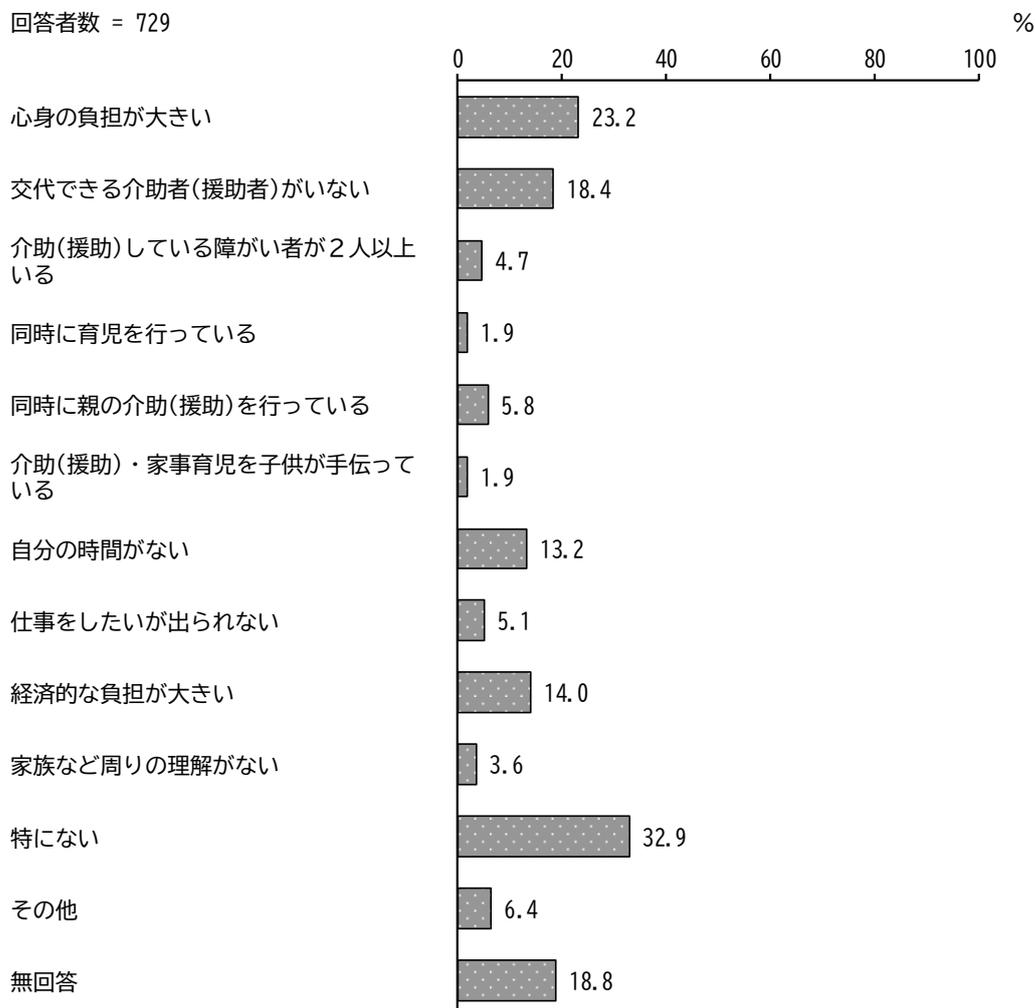
(4) 介助(援助)する上で困っていること(複数回答)

【18歳以上 問12・18歳未満 問11】

18歳以上

「特にない」の割合が32.9%と最も高く、次いで「心身の負担が大きい」の割合が23.2%、「交代できる介助者(援助者)がない」の割合が18.4%となっています。

回答者数 = 729



【手帳種別】

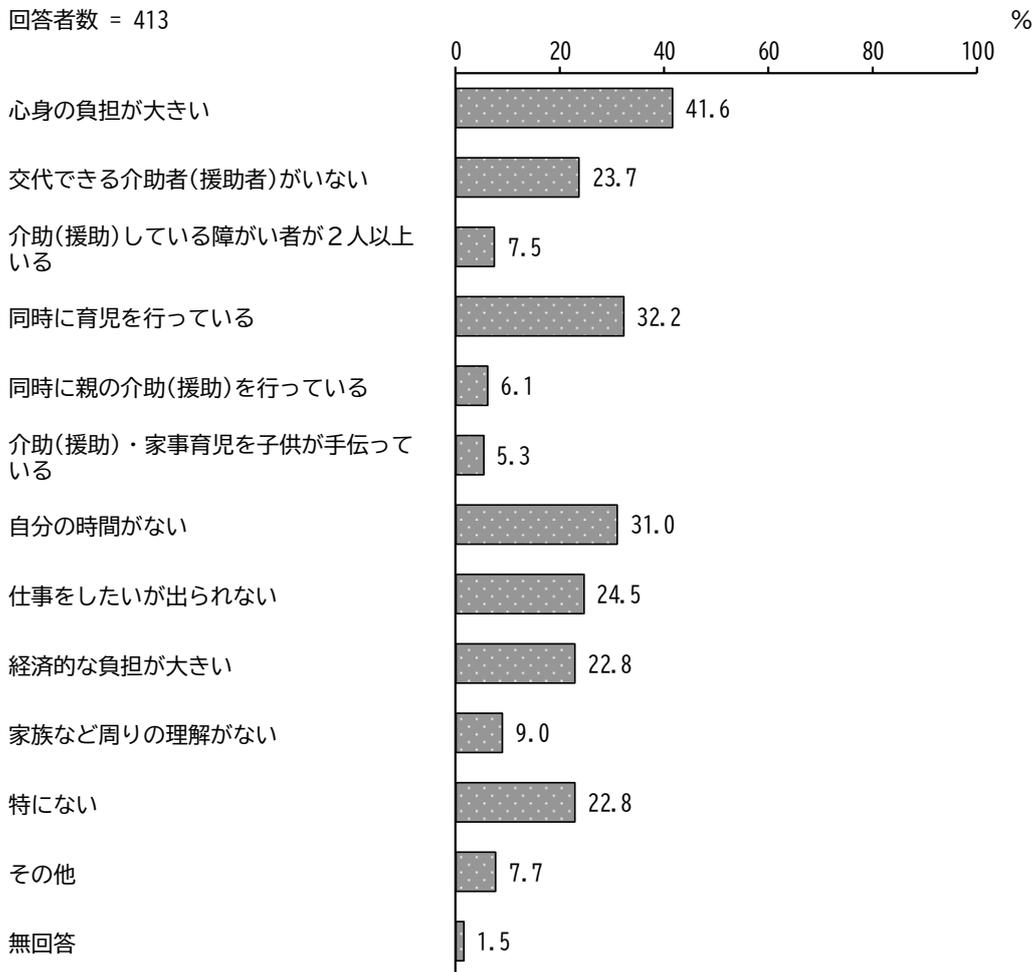
手帳の種別で見ると、身体障害者手帳と療育手帳で「特にない」の割合が最も高くなっています。また、精神障害者保健福祉手帳で「心身の負担が大きい」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	心身の負担が大きい	交代できる介助者(援助者)がない	介助(援助)している障がい者が2人以上いる	同時に育児を行っている	同時に親の介助(援助)を行っている	介助(援助)・家事育児を子供が手伝っている	自分の時間がない	仕事をしたいが出られない	経済的な負担が大きい	家族など周りの理解がない	特にない	その他	無回答
身体	517	21.1	17.2	3.9	0.8	5.0	2.3	11.8	5.2	12.0	2.3	34.8	6.6	20.3
療育	178	29.2	22.5	5.1	0.6	8.4	1.7	19.7	6.7	13.5	1.1	29.8	7.9	12.4
精神	131	25.2	16.8	6.9	7.6	5.3	-	13.0	3.8	19.8	10.7	21.4	6.1	25.2

18歳未満

「心身の負担が大きい」の割合が41.6%と最も高く、次いで「同時に育児を行っている」の割合が32.2%、「自分の時間がない」の割合が31.0%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「心身の負担が大きい」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	心身の負担が大きい	交代できる介助者(援助者)がない	障がい者が2人以上いる	介助(援助)している	同時に育児を行っている	同時に親の介助(援助)を行っている	子供が手伝っている	介助(援助)・家事育児を	自分の時間がない	仕事をしたいが出られない	経済的な負担が大きい	家族など周りの理解がない	特にない	その他	無回答
身体	109	45.0	29.4	5.5	35.8	3.7	5.5	31.2	34.9	25.7	5.5	21.1	10.1	0.9		
療育	363	42.1	24.5	6.6	32.5	6.3	5.0	31.4	25.1	20.1	8.8	22.3	7.7	1.7		
精神	25	56.0	28.0	16.0	28.0	8.0	8.0	44.0	12.0	44.0	16.0	28.0	8.0	—		

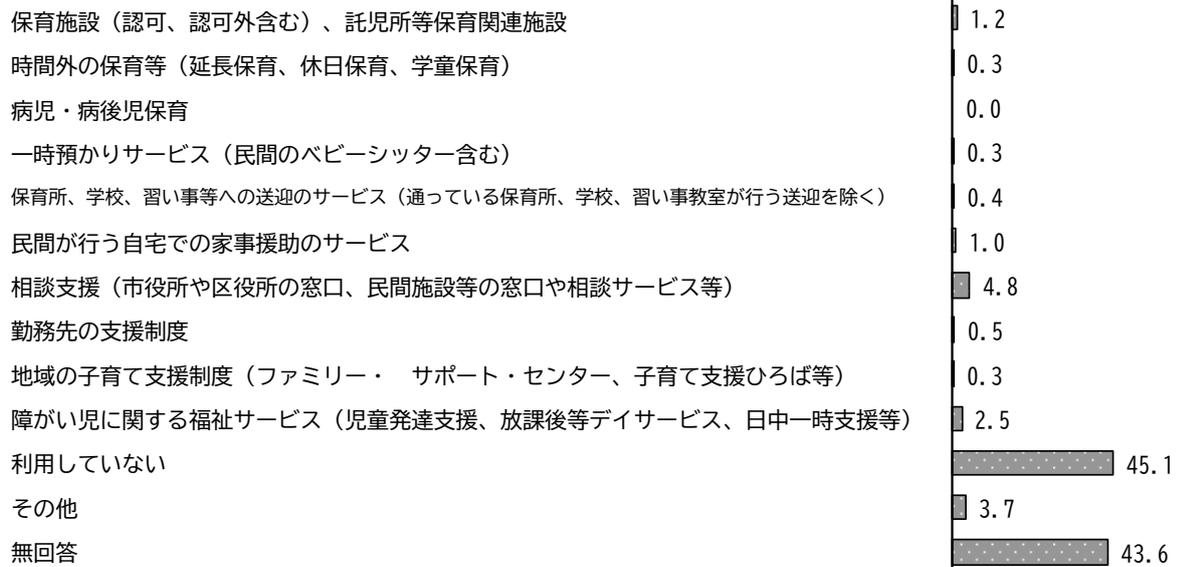
(5) 家族のなかで現在利用している育児や介助(援助)に関する支援制度やサービス  
 (複数回答) 【18歳以上 問13・18歳未満 問12】

①育児に関する支援

18歳以上

「相談支援(市役所や区役所の窓口、民間施設等の窓口や相談サービス等)」の割合が4.8%、「その他」の割合が3.7%、「障がい児に関する福祉サービス(児童発達支援、放課後等デイサービス、日中一時支援等)」の割合が2.5%となっています。一方、「利用していない」の割合は45.1%となっています。

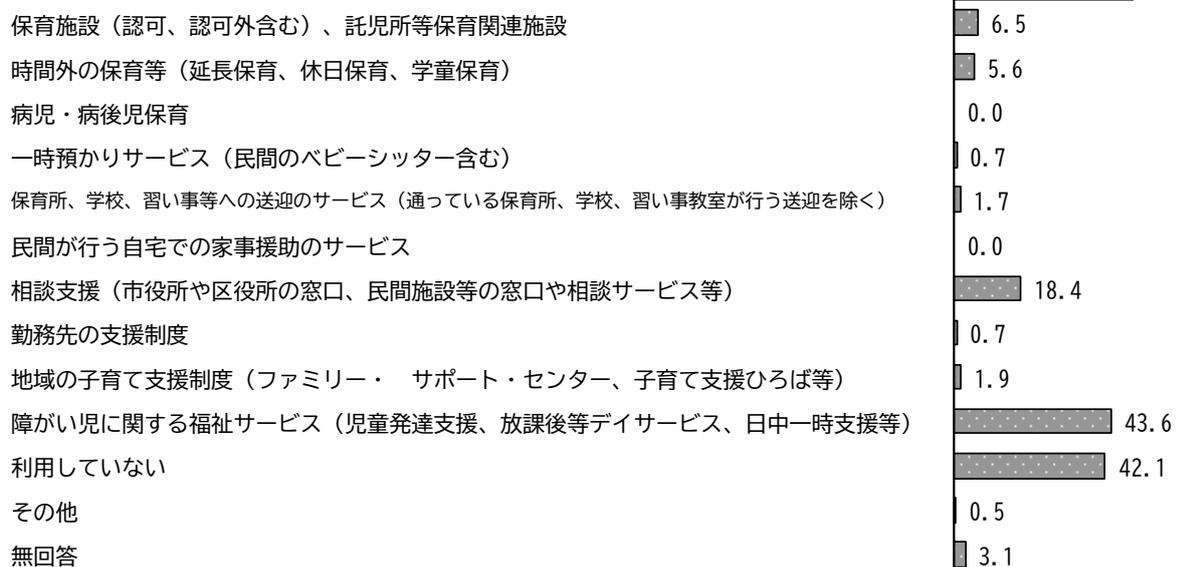
回答者数 = 729



18歳未満

「障がい児に関する福祉サービス(児童発達支援、放課後等デイサービス、日中一時支援等)」の割合が43.6%と最も高く、次いで「利用していない」の割合が42.1%、「相談支援(市役所や区役所の窓口、民間施設等の窓口や相談サービス等)」の割合が18.4%となっています。

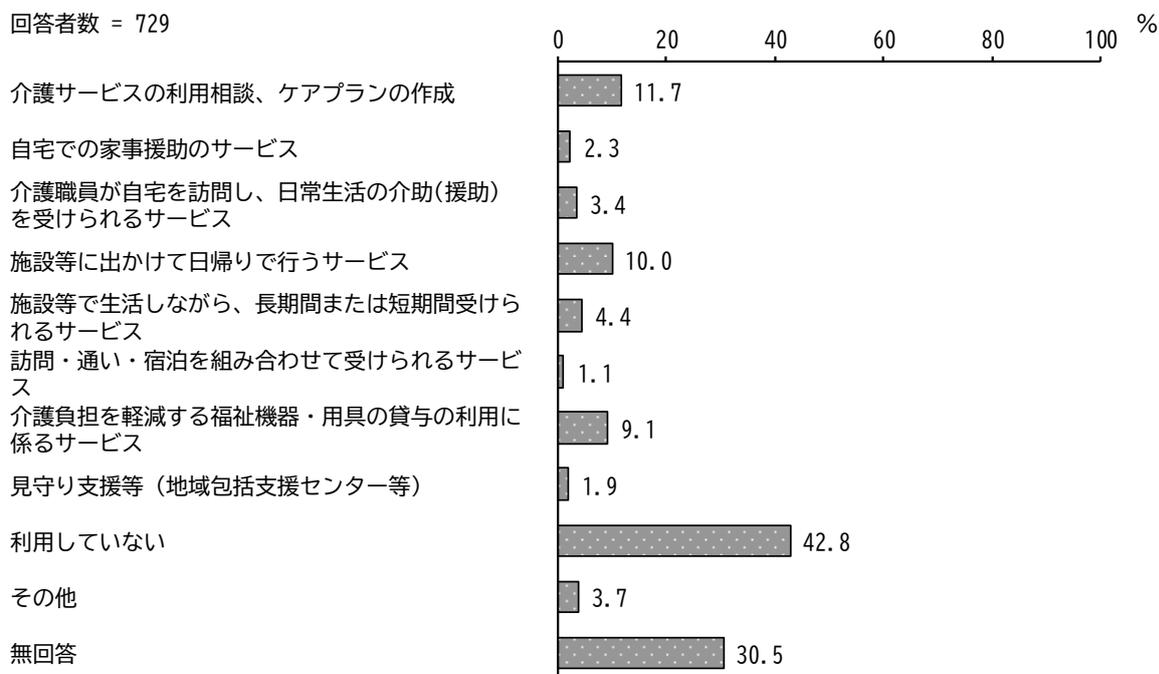
回答者数 = 413



## ②高齢者の介助に関する支援

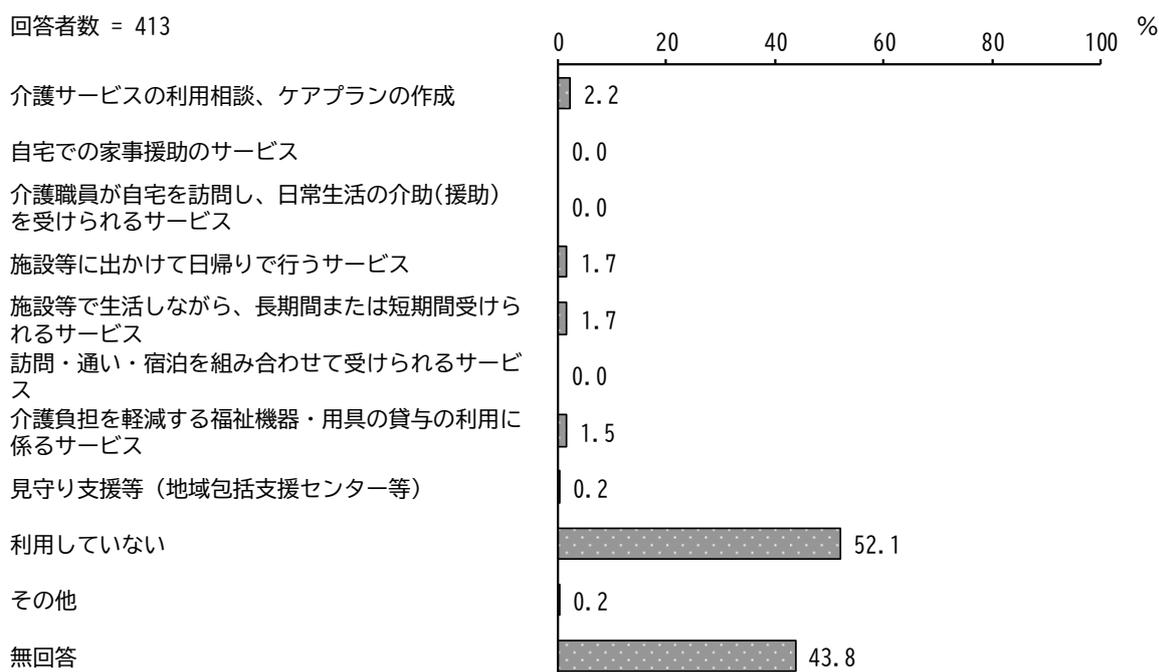
### 18歳以上

「利用していない」が最も高く、利用している中では、「介護サービスの利用相談、ケアプランの作成」の割合が11.7%、「施設等に出かけて日帰りで行うサービス」の割合が10.0%となっています。



### 18歳未満

「利用していない」の割合が52.1%と最も高くなっています。

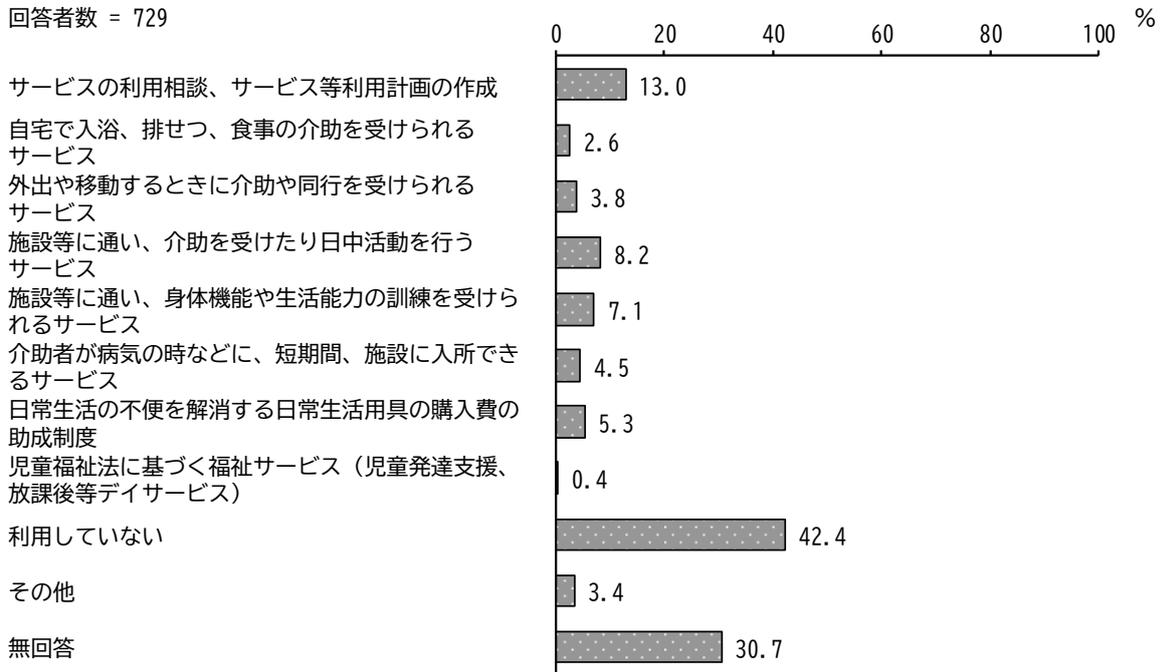


### ③障がいのある人の介助（援助）に関する支援

#### 18歳以上

「利用していない」の割合が42.4%と最も高く、次いで「サービスの利用相談、サービス等利用計画の作成」の割合が13.0%となっています。

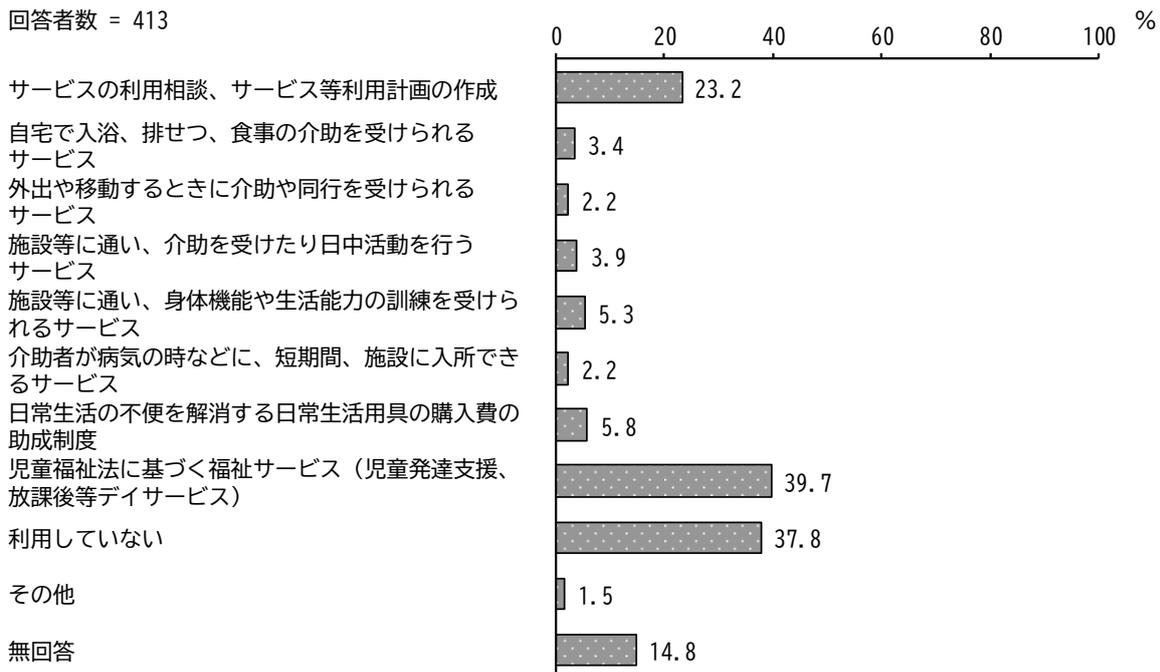
回答者数 = 729



#### 18歳未満

「児童福祉法に基づく福祉サービス（児童発達支援、放課後等デイサービス）」の割合が39.7%と最も高く、次いで「利用していない」の割合が37.8%、「サービスの利用相談、サービス等利用計画の作成」の割合が23.2%となっています。

回答者数 = 413



(6) 介助(援助)について、負担に感じることや必要な支援 (自由記載)

【18歳以上 問14・18歳未満 問12】

**18歳以上**

【負担に感じること】

- ・毎日の食事の用意
- ・家をあげられない、旅行などに行けない
- ・夜中に起こされることがある
- ・交代できる介助者がいない
- ・経済的な負担が大きい
- ・親亡き後が心配である 等

【必要な支援】

- ・家事支援サービス
- ・病院等への送迎
- ・福祉施設への送迎の時の交通費や病院等への通院の交通費
- ・介助者の緊急時にすぐ入れる施設やその他の支援
- ・介助で仕事に行けない人への経済的な支援 等

**18歳未満**

【負担に感じること】

- ・心身の負担が大きい
- ・友達関係が難しいので、身近に遊んでくれる友達がいない
- ・福祉車両などの利用にかかる経済的負担が大きい
- ・中学校卒業後の進路が心配
- ・自分の時間がなく、働きたくても働けない
- ・先行きの見通しの立たない現実への不安感がある 等

【必要な支援】

- ・急な用事で出掛けなければならない時に、預ってくれる所があるとよい
- ・障害福祉サービスの施設を増やしてほしい
- ・休日に、ハイキングや野外活動などを行ってくれる団体があるとよい
- ・補助金の対象を広げてほしい
- ・自閉症の子も通える高校を増やしてもらいたい
- ・発達障がいがあっても健常者と同じ条件で働ける環境があればよい 等

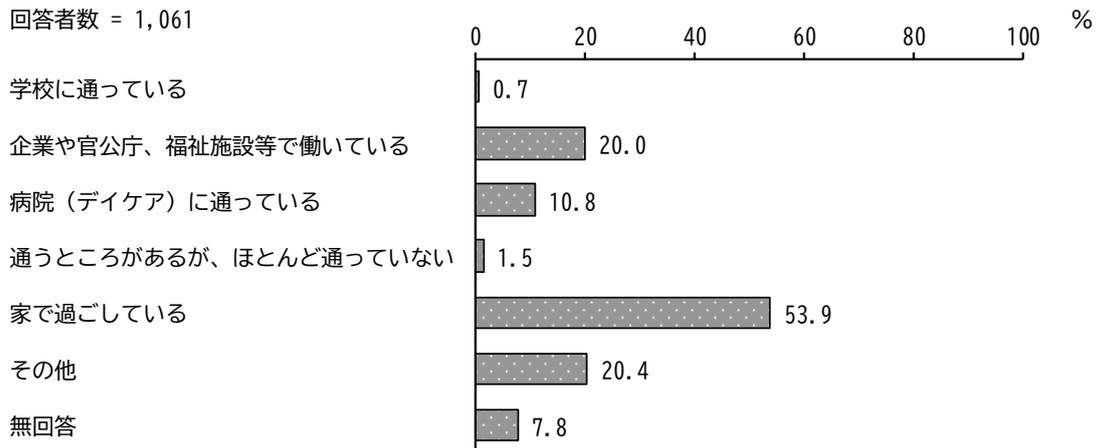
### 3 暮らしについて

#### (1) 日中の過ごし方（複数回答）

【18歳以上 問15】

#### 18歳以上

「家で過ごしている」の割合が53.9%と最も高く、次いで「企業や官公庁、福祉施設等で働いている」の割合が20.0%、「病院（デイケア）に通っている」の割合が10.8%となっています。



#### 【手帳種別】

手帳の種別でみると、身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳で「家で過ごしている」の割合が最も高くなっています。療育手帳で「企業や官公庁、福祉施設等で働いている」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	学校に通っている	企業や官公庁、福祉施設等で働いている	病院（デイケア）に通っている	通うところがあるが、ほとんど通っていない	家で過ごしている	その他	無回答
身体	748	0.4	13.2	12.6	0.4	61.5	18.9	8.6
療育	242	2.5	33.1	8.3	2.5	23.6	28.9	10.3
精神	216	—	28.2	9.7	3.7	49.1	19.4	6.0

【年齢別】

年齢別にみると、20歳未満で「学校に通っている」の割合が最も高くなっています。また、20～40歳代で「企業や官公庁、福祉施設等で働いている」の割合が最も高くなっています。50歳代以上で「家で過ごしている」の割合が最も高くなっています。

単位：％

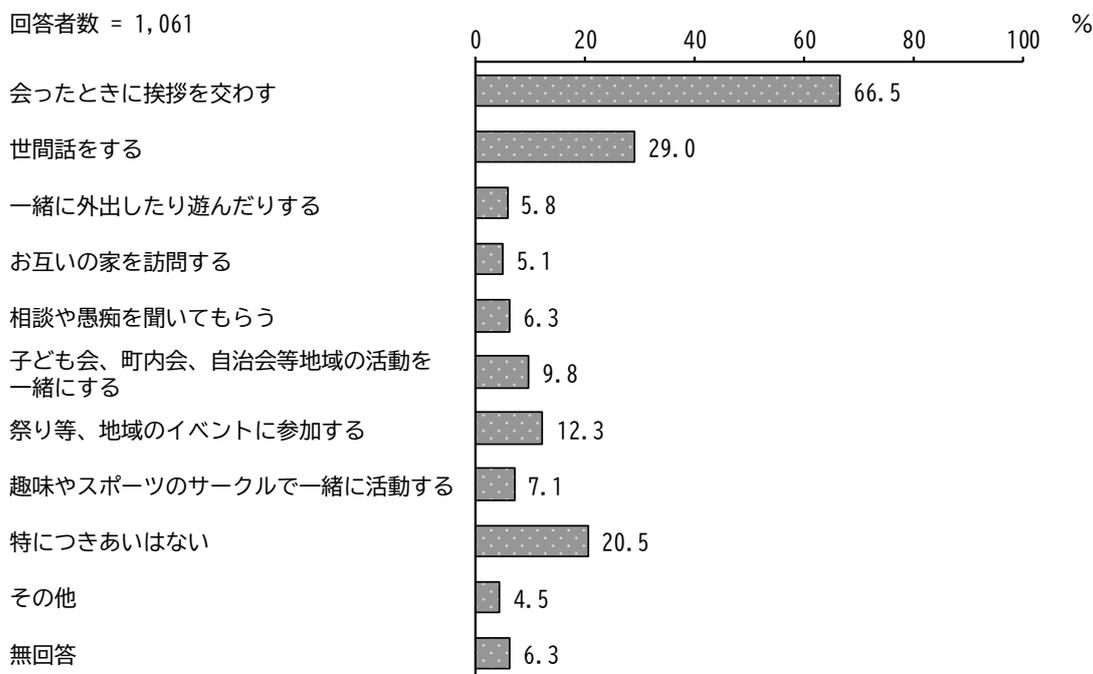
区分	回答者数 (件)	学校に通っている	企業や官公庁、福祉施設 等で働いている	病院(デイケア)に 通っている	通うところがあるが、 ほとんど通っていない	家で過ごしている	その他	無回答
20歳未満	15	40.0	26.7	—	—	13.3	20.0	6.7
20歳代	78	1.3	39.7	7.7	1.3	23.1	30.8	3.8
30歳代	82	—	43.9	6.1	4.9	35.4	20.7	6.1
40歳代	96	—	43.8	3.1	4.2	29.2	19.8	7.3
50歳代	113	—	38.9	12.4	1.8	46.0	15.9	4.4
60歳代	148	—	20.9	8.1	—	54.7	19.6	5.4
70歳代	208	—	4.3	16.3	0.5	69.7	19.2	9.1
80歳以上	224	—	1.3	14.7	0.9	71.0	20.5	10.3

(2) 近隣・地域の人との交流状況（複数回答）

【18歳以上 問16・18歳未満 問14】

18歳以上

「会ったときに挨拶を交わす」の割合が66.5%と最も高く、次いで「世間話をする」の割合が29.0%、「特につきあいはない」の割合が20.5%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「会ったときに挨拶を交わす」の割合が最も高くなっています。

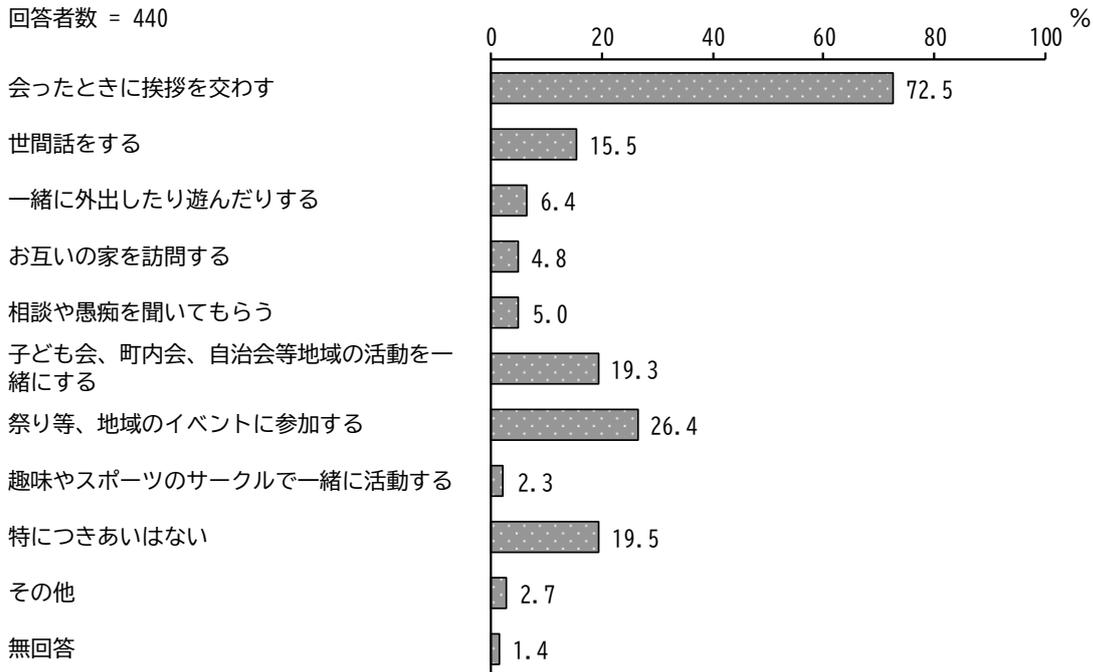
単位：%

区分	回答者数 (件)	会ったときに挨拶を交わす	世間話をする	一緒に外出したり遊んだりする	お互いの家を訪問する	相談や愚痴を聞いてもらう	子ども会、町内会、自治会等地域の活動を一緒にする	祭り等、地域のイベントに参加する	趣味やスポーツのサークルで一緒に活動する	特につきあいはない	その他	無回答
身体	748	70.2	35.8	6.8	6.3	7.4	12.0	13.4	8.4	15.8	4.5	7.2
療育	242	54.5	12.8	2.5	0.8	2.5	3.7	12.8	4.1	28.5	4.5	8.7
精神	216	60.6	15.3	2.3	3.7	5.6	3.2	6.0	2.8	26.9	4.6	6.5

18歳未満

「会ったときに挨拶を交わす」の割合が72.5%と最も高く、次いで「祭り等、地域のイベントに参加する」の割合が26.4%、「特につきあいはない」の割合が19.5%となっています。

回答者数 = 440



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「会ったときに挨拶を交わす」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	会ったときに挨拶を交わす	世間話をする	一緒に外出したり遊んだりする	お互いの家を訪問する	相談や愚痴を聞いてもらう	子ども会、町内会、自治会等地域の活動を一緒にする	祭り等、地域のイベントに参加する	趣味やスポーツのサークルで一緒に活動する	特につきあいはない	その他	無回答
身体	113	70.8	16.8	6.2	4.4	1.8	15.9	24.8	1.8	22.1	6.2	2.7
療育	388	71.6	14.4	6.2	4.9	5.4	17.3	25.0	2.1	20.6	2.3	1.3
精神	26	69.2	11.5	7.7	7.7	3.8	26.9	19.2	—	23.1	—	—

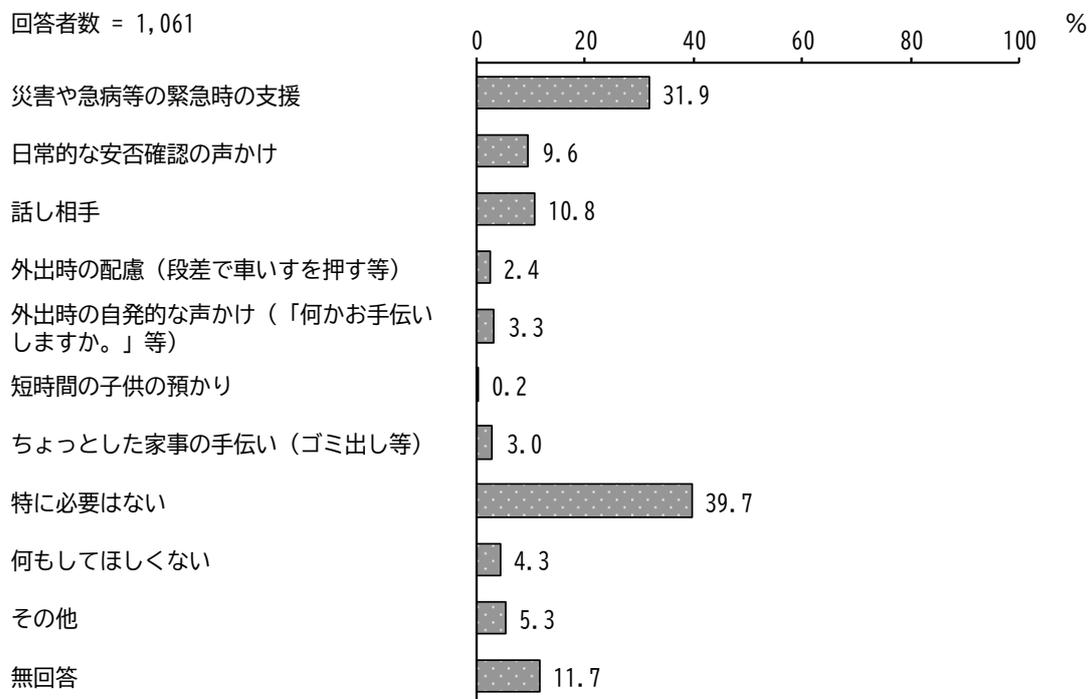
(3) 近隣・地域の人にどのようなことをしてもらいたいですか。

(複数回答)

【18歳以上 問17・18歳未満 問15】

18歳以上

「特に必要はない」の割合が39.7%と最も高く、次いで「災害や急病等の緊急時の支援」の割合が31.9%、「話し相手」の割合が10.8%となっています。



【手帳種別】

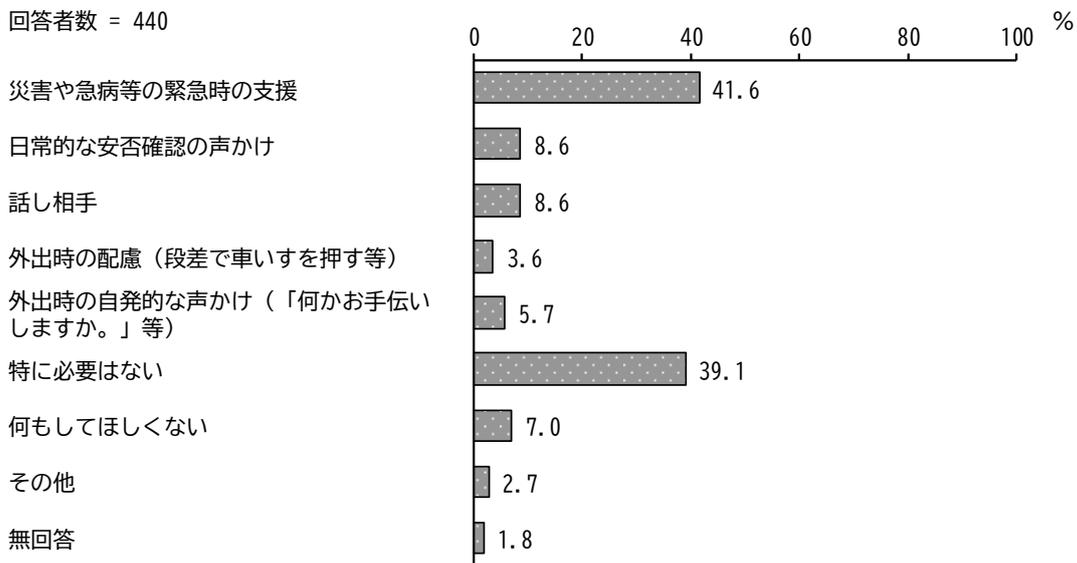
手帳の種別でみると、身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳で「特に必要はない」の割合が最も高くなっています。療育手帳で「災害や急病等の緊急時の支援」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	災害や急病等の緊急時の支援	日常的な安否確認の声かけ	話し相手	外出時の配慮 (段差で車いすを押す等)	外出時の自発的な声かけ (「何かお手伝いしますか。」等)	短時間の子供の預かり	ちょっとした家事の手伝い (ゴミ出し等)	特に必要はない	何もしてほしいくない	その他	無回答
身体	748	30.1	9.2	10.8	2.9	3.2	—	3.1	42.0	2.9	5.5	12.8
療育	242	40.9	10.7	10.7	2.5	5.4	—	2.5	28.5	2.5	5.0	15.7
精神	216	24.5	8.8	12.5	0.5	3.2	0.9	2.8	37.5	11.1	6.9	9.3

18歳未満

「災害や急病等の緊急時の支援」の割合が41.6%と最も高く、次いで「特に必要はない」の割合が39.1%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、身体障害者手帳と療育手帳で「災害や急病等の緊急時の支援」の割合が最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳で「特に必要はない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	災害や急病等の緊急時の支援	日常的な安否確認の声かけ	話し相手	外出時の配慮 (段差で車いすを押す等)	外出時の自発的な声かけ (「何かお手伝いしますか。」等)	特に必要はない	何もしてほしくない	その他	無回答
身体	113	45.1	4.4	7.1	5.3	5.3	31.9	8.8	1.8	4.4
療育	388	41.5	8.8	8.0	3.6	5.7	39.2	7.5	3.1	1.5
精神	26	38.5	11.5	11.5	7.7	7.7	42.3	-	-	-

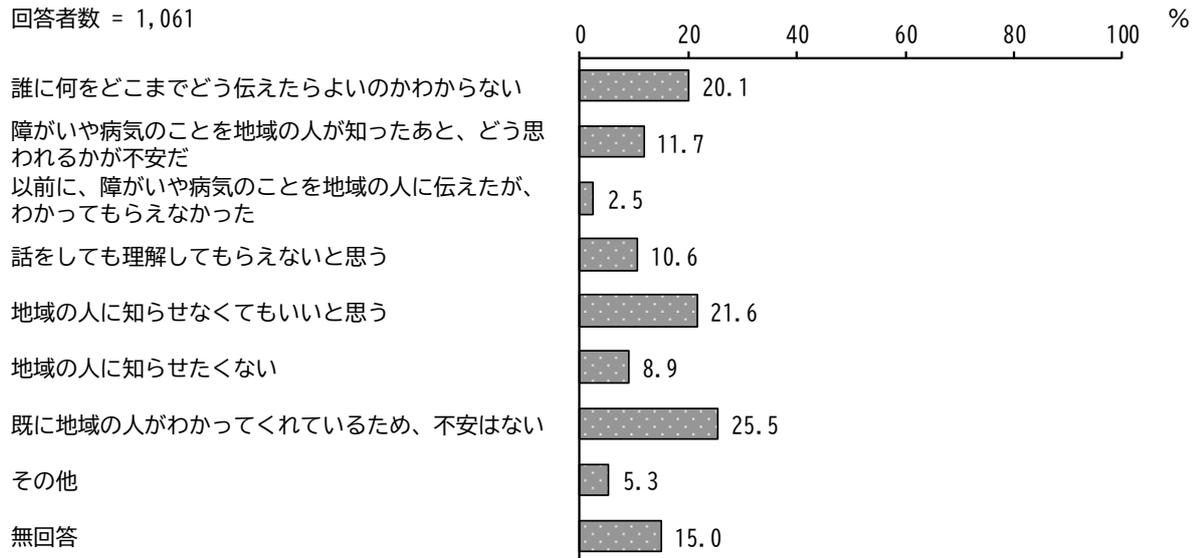
(4) 障がいや病気のことを近隣・地域の人や友達に伝える場合、どんなことが不安ですか。(複数回答)

【18歳以上 問18・18歳未満 問16】

18歳以上

「既に地域の人がわかっているため、不安はない」の割合が25.5%と最も高く、次いで「地域の人に知らせなくてもいいと思う」の割合が21.6%、「誰に何をどこまでどう伝えたらよいかわからない」の割合が20.1%となっています。

回答者数 = 1,061



【手帳種別】

手帳の種別でみると、身体障害者手帳で「既に地域の人がわかっているため、不安はない」の割合が最も高くなっています。療育手帳と精神障害者保健福祉手帳で「誰に何をどこまでどう伝えたらよいかわからない」の割合が最も高くなっています。

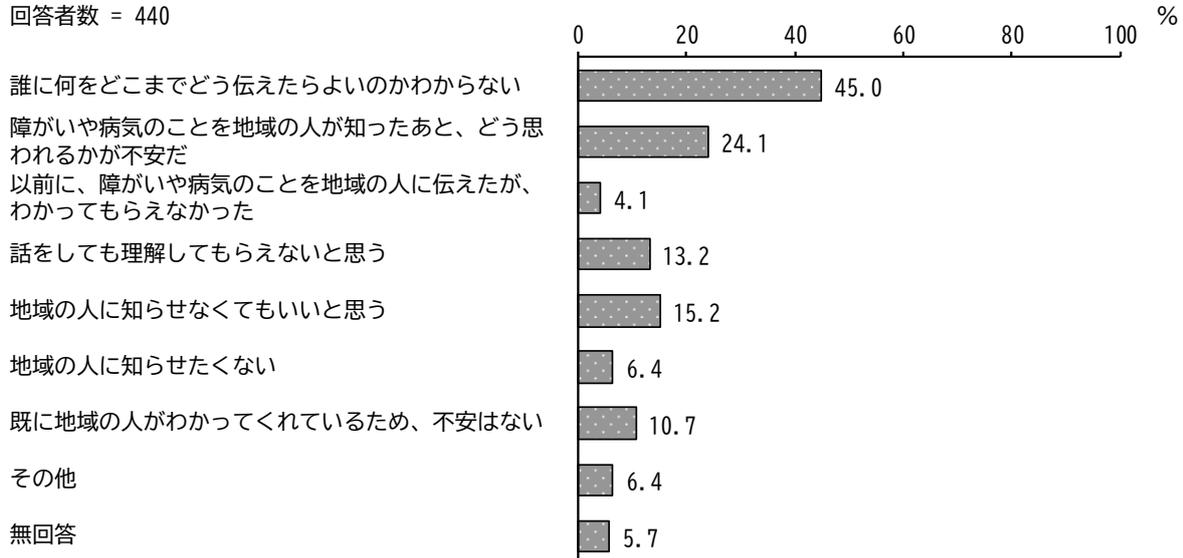
単位：%

区分	回答者数 (件)	誰に何をどこまでどう伝えたらよいかわからない	障がいや病気のことを地域の人を知ったあと、どう思われるかが不安だ	以前に、障がいや病気のことを地域の人に伝えたが、わかってもらえなかった	話をしても理解してもらえないと思う	地域の人に知らせなくてもいいと思う	地域の人に知らせたくない	既に地域の人がわかっているため、不安はない	その他	無回答
身体	748	16.2	7.1	1.9	7.9	23.8	7.0	30.5	4.9	15.8
療育	242	24.0	12.4	2.9	11.2	13.2	7.9	22.3	6.6	19.0
精神	216	30.6	28.7	5.6	20.4	19.9	19.0	7.4	5.1	10.6

18 歳未満

「誰に何をどこまでどう伝えたらよいかわからない」の割合が 45.0%と最も高く、次いで「障がいや病気のことを地域の人を知ったあと、どう思われるかが不安だ」の割合が 24.1%、「地域の人に知らせなくてもいいと思う」の割合が 15.2%となっています。

回答者数 = 440



【手帳種別】

手帳の種別で見ると、身体障害者手帳と療育手帳で「誰に何をどこまでどう伝えたらよいかわからない」の割合が最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳で「障がいや病気のことを地域の人を知ったあと、どう思われるかが不安だ」の割合が最も高くなっています。

単位：%

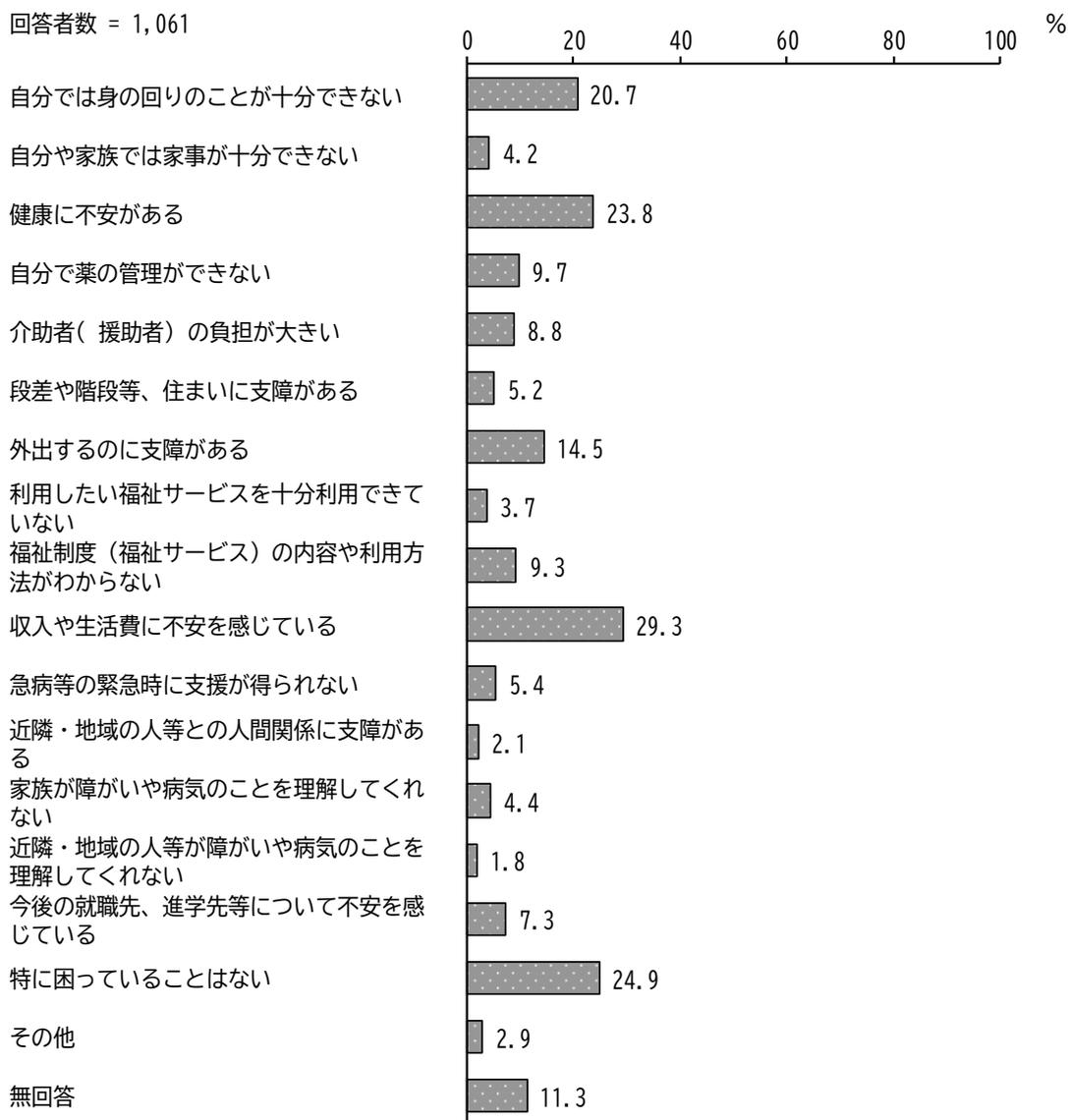
区分	回答者数 (件)	誰に何をどこまでどう伝えたらよいかわからない	障がいや病気のことを地域の人を知ったあと、どう思われるかが不安だ	以前に、障がいや病気のことを地域の人に伝えたが、わかってもらえなかった	話をしても理解してもらえないと思う	地域の人に知らせなくてもいいと思う	地域の人に知らせたくない	既に地域の人がわかってきているため、不安はない	その他	無回答
身体	113	44.2	13.3	1.8	15.0	15.9	4.4	15.0	8.8	7.1
療育	388	46.4	23.7	4.1	12.6	14.4	6.4	10.6	5.9	6.2
精神	26	30.8	46.2	7.7	19.2	11.5	15.4	3.8	11.5	3.8

(5) 日常生活で困っていること（複数回答）

【18歳以上 問19・18歳未満 問17】

18歳以上

「収入や生活費に不安を感じている」の割合が29.3%と最も高く、次いで「特に困っていることはない」の割合が24.9%、「健康に不安がある」の割合が23.8%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると身体障害者手帳で「特に困っていることはない」の割合が最も高くなっています。また、療育手帳で「自分では身の回りのことが十分できない」の割合が最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳で「収入や生活費に不安を感じている」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	自分では身の回りのことが十分できない	自分や家族では家事が十分できない	健康に不安がある	自分で薬の管理ができない	介助者(援助者)の負担が大きい	段差や階段等、住まいに支障がある	外出するのに支障がある	利用したい福祉サービスを十分利用できていない	福祉制度(福祉サービス)の内容や利用方法がわからない
身体	748	19.9	2.9	26.1	7.2	8.7	6.6	16.0	2.5	7.8
療育	242	25.2	2.9	19.4	22.3	10.3	1.2	11.6	7.4	8.7
精神	216	21.3	9.3	21.3	9.3	7.9	3.2	12.0	4.6	16.7

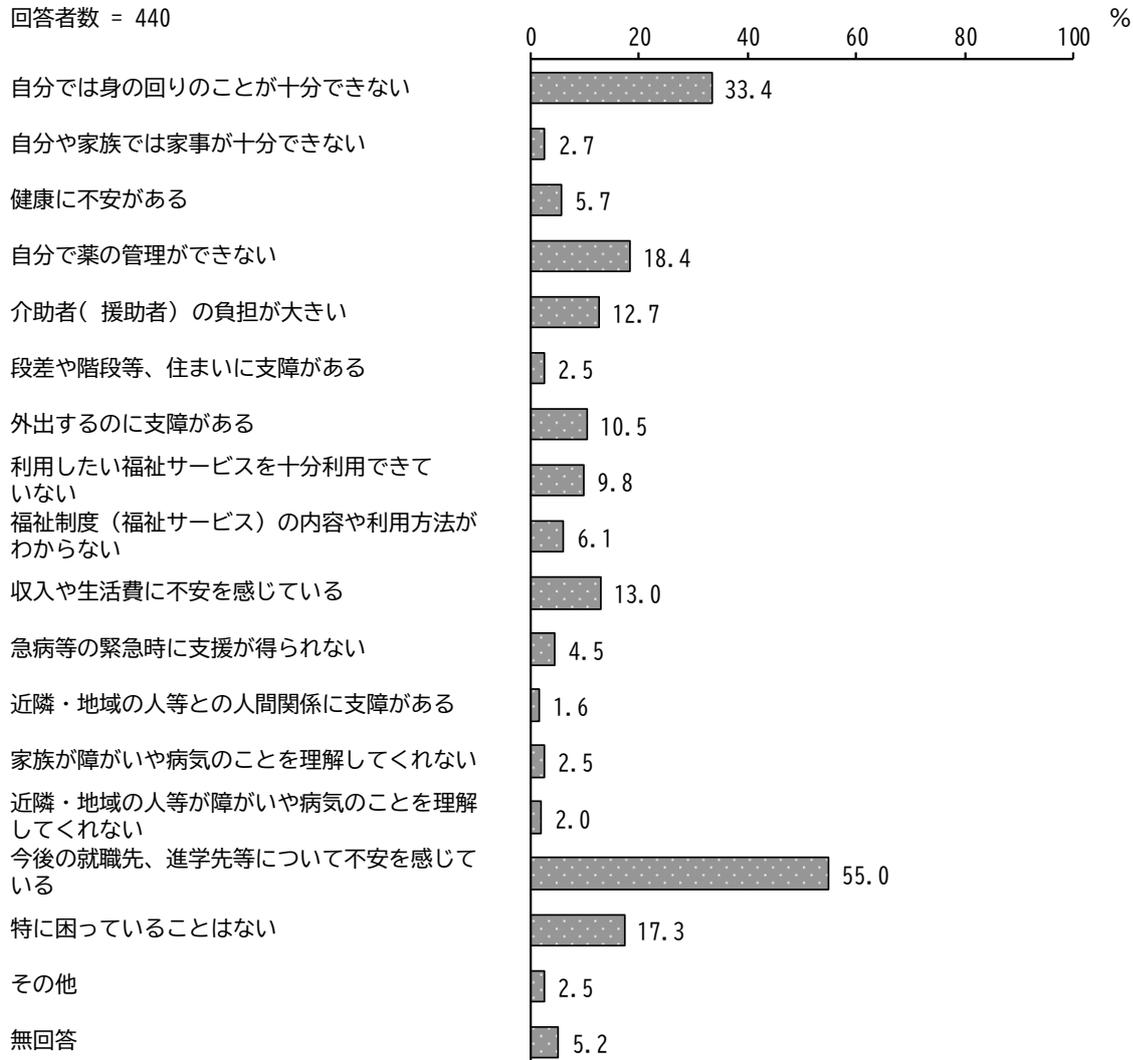
  

区分	回答者数 (件)	収入や生活費に不安を感じている	急病等の緊急時に支援が得られない	近隣・地域の人等との人間関係に支障がある	家族が障がいや病気のことを理解してくれない	近隣・地域の人等が障がいや病気のことを理解してくれない	今後の就職先、進学先等について不安を感じている	特に困っていることはない	その他	無回答
身体	748	23.7	4.4	1.2	2.5	1.2	3.1	28.1	2.7	12.3
療育	242	21.5	5.0	1.2	2.1	2.5	6.6	22.3	3.3	16.1
精神	216	53.7	9.3	6.0	13.9	3.2	19.9	11.6	4.6	7.9

## 18歳未満

「今後の就職先、進学先等について不安を感じている」の割合が 55.0%と最も高く、次いで「自分では身の回りのことが十分できない」の割合が 33.4%、「自分で薬の管理ができない」の割合が 18.4%となっています。

回答者数 = 440



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「今後の就職先、進学先等について不安を感じている」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	自分では身の回りのことが 十分できない	自分や家族では家事が十分 できない	健康に不安がある	自分で薬の管理ができない	介助者(援助者)の負担が 大きい	段差や階段等、住まいに支障 がある	外出するのに支障がある	利用したい福祉サービスを 十分利用できていない	福祉制度(福祉サービス)の 内容や利用方法がわからない
身体	113	38.1	1.8	10.6	16.8	23.0	9.7	9.7	10.6	2.7
療育	388	35.1	2.8	5.2	19.8	13.1	2.6	10.3	10.3	6.2
精神	26	23.1	11.5	3.8	11.5	7.7	3.8	11.5	3.8	15.4

区分	回答者数 (件)	収入や生活費に不安を感じている	急病等の緊急時に支援が得られない	近隣・地域の人等との人間関係に 支障がある	家族が障がいや病氣のことを理解 してくれない	近隣・地域の人等が障がいや病氣の ことを理解してくれない	今後の就職先、進学先等について 不安を感じている	特に困っていることはない	その他	無回答
身体	113	12.4	8.8	0.9	0.9	—	44.2	15.0	1.8	7.1
療育	388	13.7	4.1	1.5	2.6	2.1	56.2	15.7	2.8	5.2
精神	26	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	57.7	19.2	—	7.7

【年齢別】

年齢別にみると、18歳未満の回答者では、5歳以下で「自分では身の回りのことが十分できない」、6歳～17歳で「今後の就職先、進学先等について不安を感じている」の割合が最も高くなっています。18歳以上の回答者では、18～20歳未満で「自分では身の回りのことが十分できない」、20～50歳代で「収入や生活費に不安を感じている」の割合が最も高くなっています。また、60歳代以上で「特に困っていることはない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者 回数 (件)	自分では身の回りのことが十分できない	自分や家族では家事が十分できない	健康に不安がある	自分で薬の管理ができない	介助者(援助者)の負担が大きい	段差や階段等、住まいに支障がある	外出するのに支障がある	利用したい福祉サービスを十分利用できていない	福祉制度(福祉サービス)の内容や利用方法がわからない	収入や生活費に不安を感じている	急病等の緊急時に支援が得られない	近隣・地域の人等との人間関係に支障がある	家族が障がいや病気のことを理解してくれない	近隣・地域の人等が障がいや病気のことを理解してくれない	今後の就職先、進学先等について不安を感じている	特に困っていることはない	その他	無回答	
		回答者(18歳未満)	5歳以下	63	58.7	1.6	7.9	15.9	20.6	3.2	11.1	15.9	7.9	11.1	1.6	—	3.2	—	50.8	7.9
	6～11歳	176	33.5	3.4	5.1	22.7	10.2	1.7	12.5	10.8	4.5	10.8	5.1	0.6	1.1	1.7	55.7	16.5	4.0	5.7
	12～17歳	160	24.4	1.9	5.6	15.6	11.3	1.3	10.0	6.9	8.8	16.9	5.0	3.8	3.1	3.1	61.9	17.5	0.6	4.4
回答者(18歳以上)	18～20歳未満	15	46.7	—	6.7	33.3	13.3	6.7	13.3	20.0	26.7	26.7	—	—	—	13.3	26.7	6.7	6.7	—
	20歳代	78	28.2	3.8	12.8	19.2	16.7	1.3	10.3	9.0	11.5	37.2	6.4	2.6	6.4	1.3	15.4	19.2	2.6	7.7
	30歳代	82	23.2	2.4	14.6	13.4	9.8	—	11.0	8.5	9.8	45.1	4.9	7.3	9.8	1.2	26.8	13.4	3.7	11.0
	40歳代	96	19.8	10.4	14.6	14.6	8.3	5.2	15.6	7.3	10.4	43.8	12.5	4.2	13.5	3.1	14.6	18.8	2.1	8.3
	50歳代	113	16.8	4.4	29.2	8.0	5.3	2.7	14.2	3.5	11.5	43.4	9.7	2.7	8.8	5.3	11.5	16.8	5.3	6.2
	60歳代	148	16.2	6.1	31.1	5.4	6.1	4.7	10.8	2.0	6.8	29.7	4.1	0.7	3.4	1.4	3.4	32.4	3.4	8.8
	70歳代	208	19.7	4.8	26.4	6.3	8.2	6.7	18.8	1.4	8.2	23.1	3.8	0.5	0.5	1.4	—	27.4	0.5	14.9
	80歳以上	224	22.3	1.3	25.9	9.4	10.3	8.5	17.0	1.3	5.8	11.2	2.7	1.3	0.4	—	—	31.7	2.7	15.2

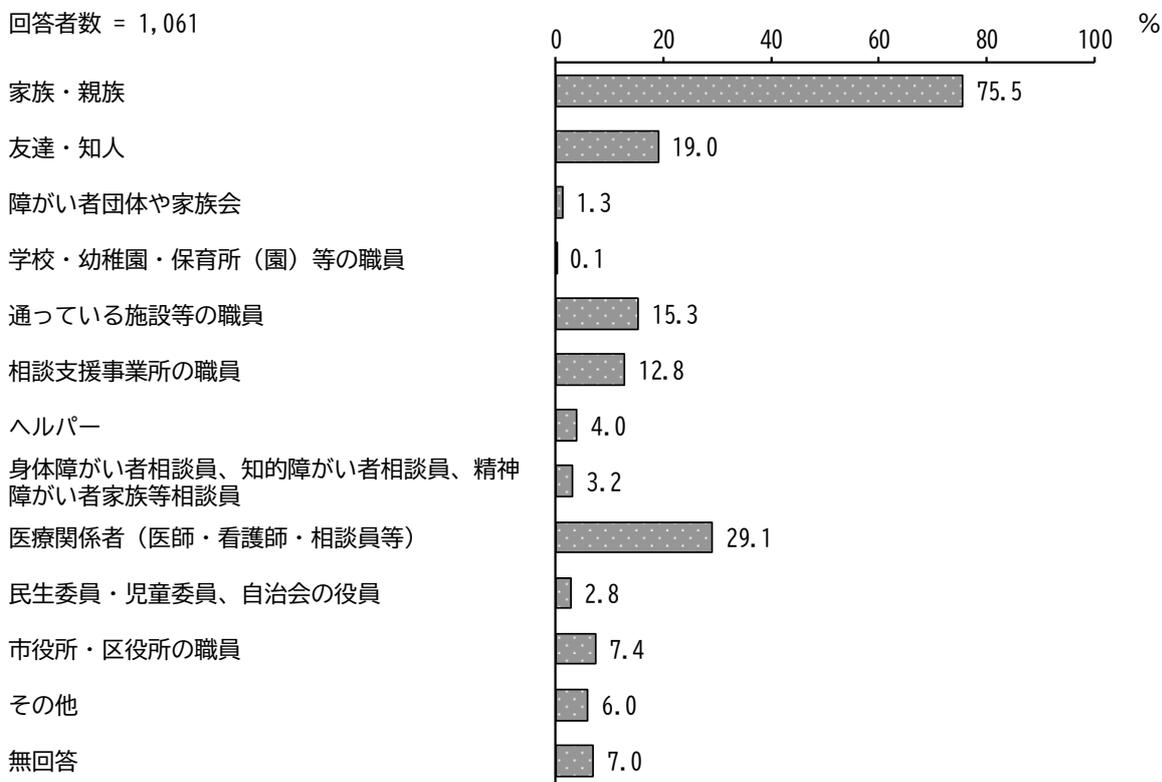
(6) 困ったときに相談する相手（複数回答）

【18歳以上 問20・18歳未満 問18】

18歳以上

「家族・親族」の割合が75.5%と最も高く、次いで「医療関係者（医師・看護師・相談員等）」の割合が29.1%、「友達・知人」の割合が19.0%となっています。

回答者数 = 1,061



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「家族・親族」の割合が最も高くなっています。

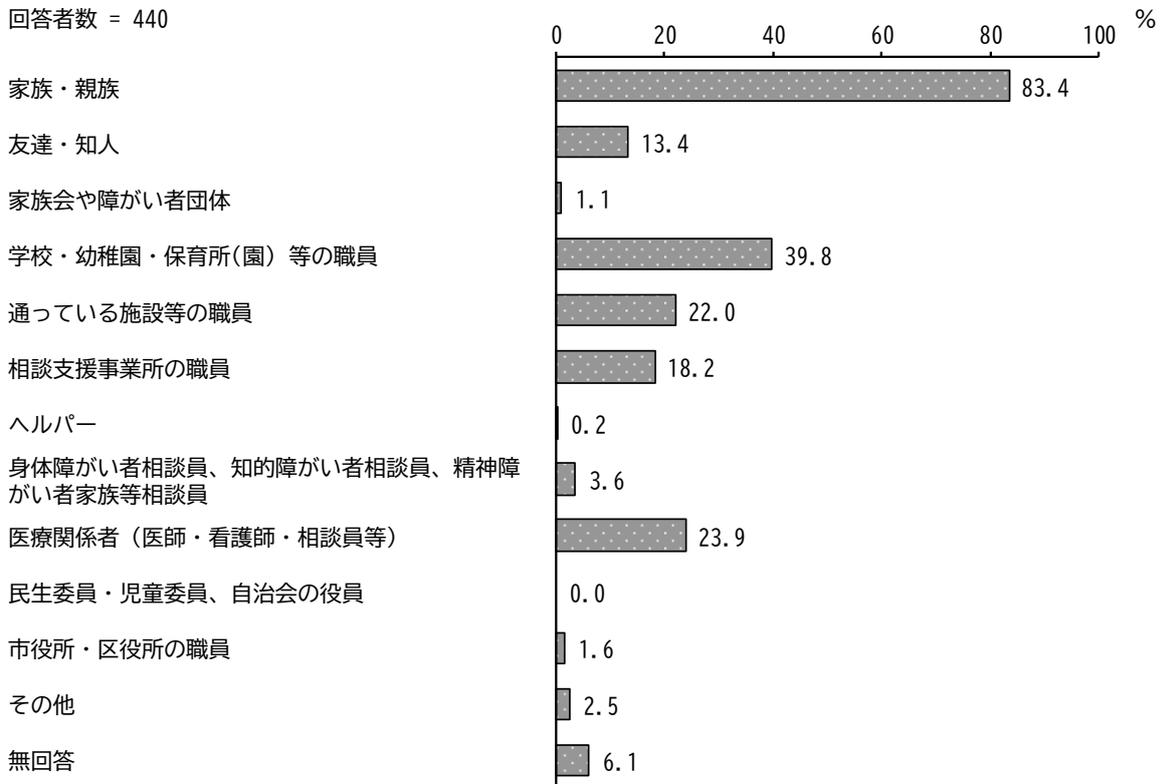
単位：%

区分	回答者数 (件)	家族・親族	友達・知人	障がい者団体や家族会	学校・幼稚園・保育所（園）等の職員	通っている施設等の職員	相談支援事業所の職員	ヘルパー	身体障がい者相談員、知的障がい者相談員、精神障がい者家族等相談員	医療関係者（医師・看護師・相談員等）	民生委員・児童委員、自治会の役員	市役所・区役所の職員	その他	無回答
身体	113	77.9	17.6	0.5	0.1	10.0	8.0	4.5	1.9	28.7	2.8	7.8	4.8	7.1
療育	388	67.8	10.7	2.5	0.4	38.0	29.3	2.9	7.0	21.1	1.2	6.2	8.7	7.4
精神	26	69.4	24.1	2.8	—	17.6	16.2	2.8	7.9	39.8	2.3	12.0	8.8	5.6

18歳未満

「家族・親族」の割合が83.4%と最も高く、次いで「学校・幼稚園・保育所(園)等の職員」の割合が39.8%、「医療関係者(医師・看護師・相談員等)」の割合が23.9%となっています。

回答者数 = 440



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「家族・親族」の割合が最も高くなっています。

単位：%

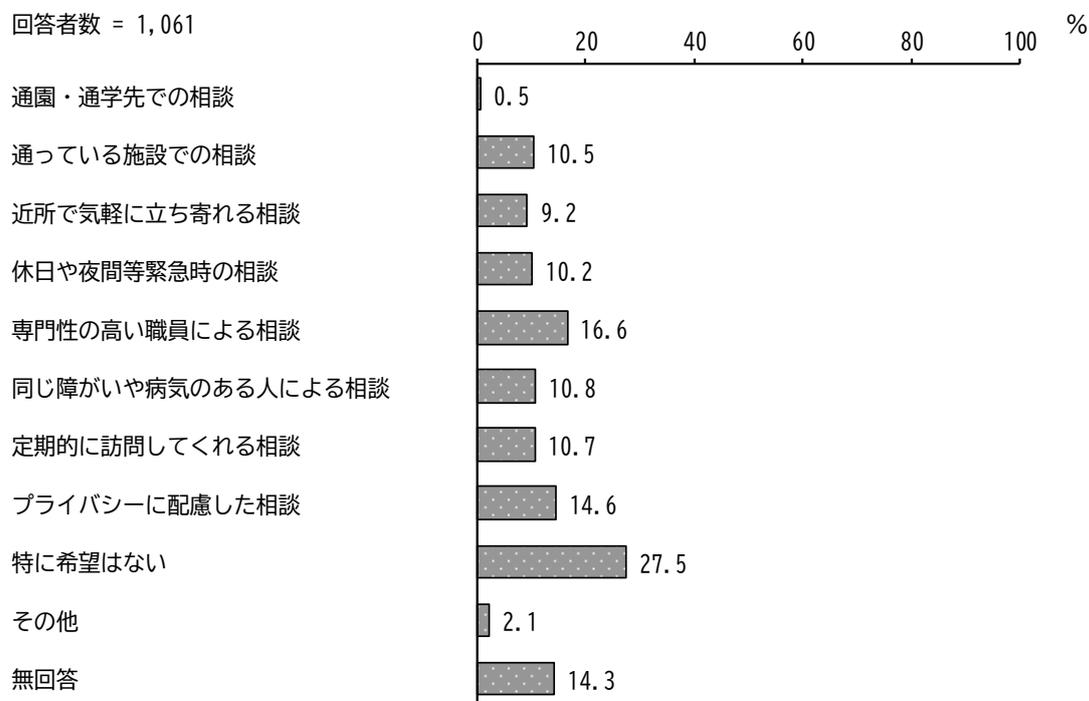
区分	回答者数(件)	家族・親族	友達・知人	家族会や障がい者団体	学校・幼稚園・保育所(園)等の職員	通っている施設等の職員	相談支援事業所の職員	ヘルパー	身体障がい者相談員、知的障がい者相談員、精神障がい者家族等相談員	医療関係者(医師・看護師・相談員等)	民生委員・児童委員、自治会の役員	市役所・区役所の職員	その他	無回答
身体	113	74.3	12.4	1.8	32.7	19.5	22.1	0.9	3.5	36.3	—	1.8	4.4	7.1
療育	388	83.5	12.9	1.3	41.8	23.5	19.3	0.3	4.1	22.4	—	1.5	2.6	6.4
精神	26	88.5	19.2	—	30.8	15.4	3.8	—	—	30.8	—	3.8	—	3.8

(7) 便利だと思う相談体制（複数回答）

【18歳以上 問21・18歳未満 問19】

18歳以上

「特に希望はない」の割合が27.5%と最も高く、次いで「専門性の高い職員による相談」の割合が16.6%、「プライバシーに配慮した相談」の割合が14.6%となっています。



【手帳種別】

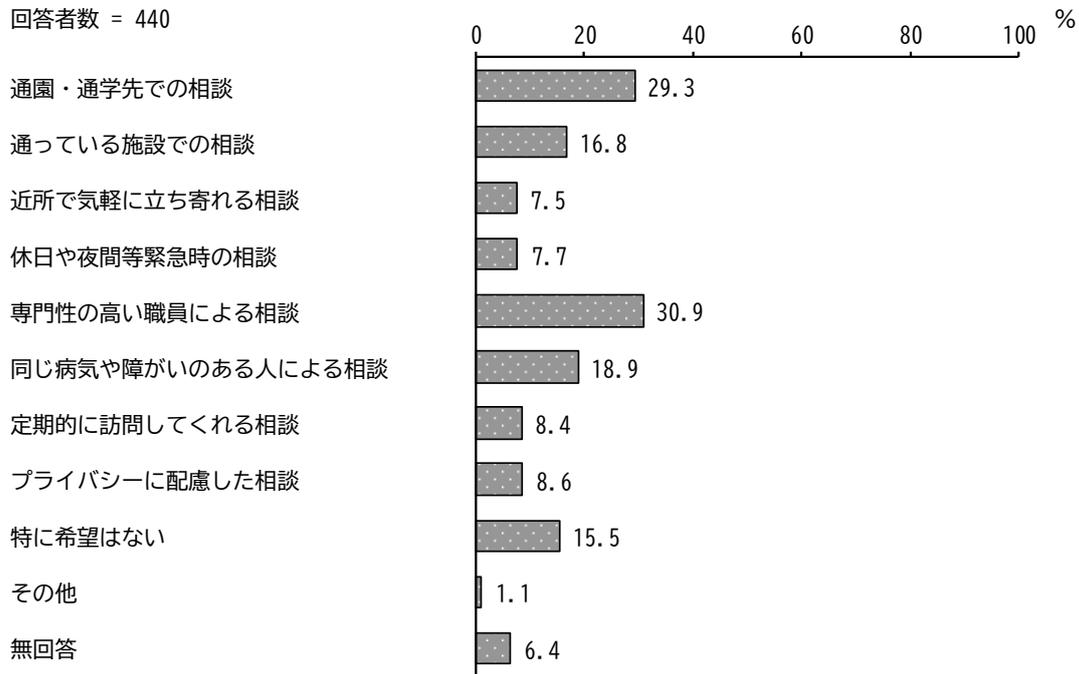
手帳の種別でみると、身体障害者手帳と療育手帳で「特に希望はない」の割合が最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳で「プライバシーに配慮した相談」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	通園・通学先での相談	通っている施設での相談	近所で気軽に立ち寄れる相談	休日や夜間等緊急時の相談	専門性の高い職員による相談	同じ障がいや病気のある人による相談	定期的に訪問してくれる相談	プライバシーに配慮した相談	特に希望はない	その他	無回答
身体	748	0.4	8.0	7.8	8.6	14.6	10.8	10.0	12.6	30.9	2.0	16.0
療育	242	—	20.2	7.9	10.3	17.4	9.5	10.3	12.0	21.1	2.5	18.6
精神	216	0.9	10.6	14.4	13.0	22.2	13.9	13.4	24.1	18.1	3.2	7.4

18歳未満

「専門性の高い職員による相談」の割合が30.9%と最も高く、次いで「通園・通学先での相談」の割合が29.3%、「同じ病気や障がいのある人による相談」の割合が18.9%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別で見ると、身体障害者手帳と療育手帳で「専門性の高い職員による相談」の割合が最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳で「通園・通学先での相談」の割合が最も高くなっています。

単位：%

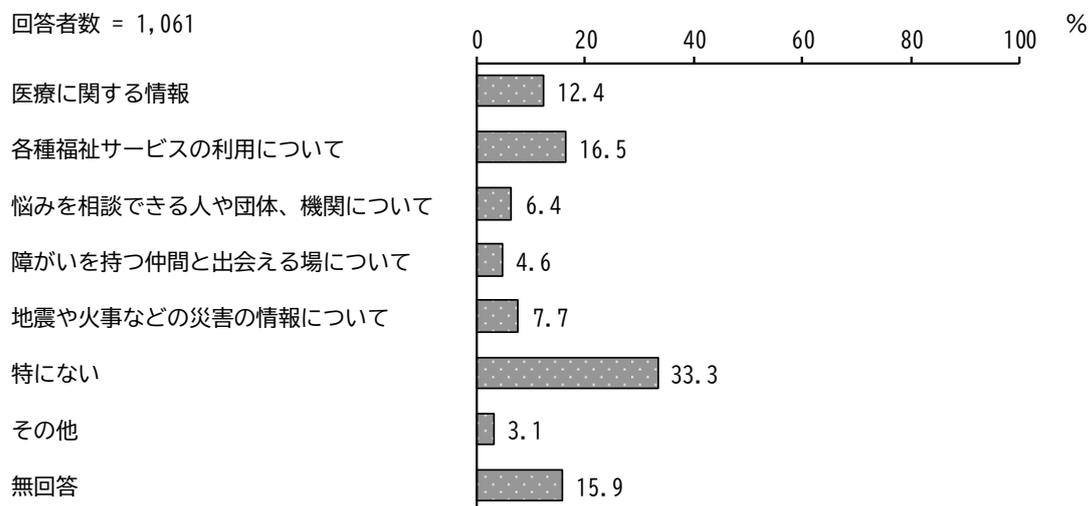
区分	回答者数 (件)	通園・通学先での相談	通っている施設での相談	近所で気軽に立ち寄れる相談	休日や夜間等緊急時の相談	専門性の高い職員による相談	同じ病気や障がいのある人による相談	定期的に訪問してくれる相談	プライバシーに配慮した相談	特に希望はない	その他	無回答
身体	113	20.4	15.9	4.4	11.5	30.1	26.5	8.0	4.4	11.5	0.9	11.5
療育	388	30.4	18.6	7.7	7.5	30.9	17.0	8.2	9.5	15.5	1.0	6.4
精神	26	34.6	7.7	7.7	7.7	23.1	19.2	7.7	—	19.2	3.8	7.7

(8) 現在、知りたい情報は何ですか。(単数回答)

【18歳以上 問22・20歳未満 問1】

18歳以上

「特にない」の割合が33.3%と最も高く、次いで「各種福祉サービスの利用について」の割合が16.5%、「医療に関する情報」の割合が12.4%となっています。



【手帳種別】

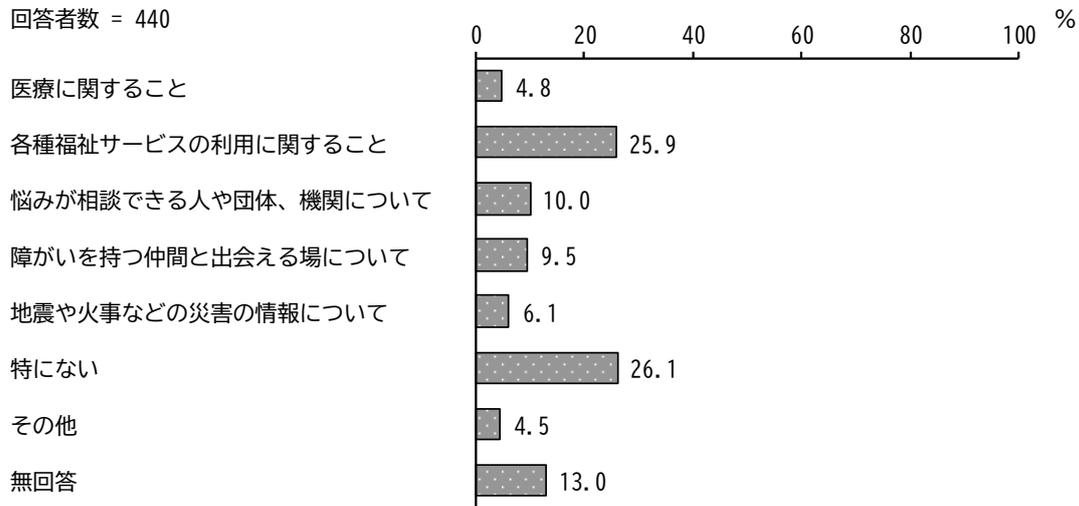
手帳の種別でみると、全ての手帳で「特にない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	医療に関する情報	各種福祉サービスの利用について	悩みを相談できる人や団体、機関について	障がいを持つ仲間と出会える場について	地震や火事などの災害の情報について	特にない	その他	無回答
身体	748	14.3	15.8	4.0	3.1	7.8	35.0	2.5	17.5
療育	242	7.4	16.5	9.1	5.4	9.5	27.3	3.7	21.1
精神	216	10.6	19.4	12.0	12.0	6.5	25.9	4.2	9.3

18歳未満

「特にない」の割合が26.1%と最も高く、次いで「各種福祉サービスの利用に関すること」の割合が25.9%、「悩みが相談できる人や団体、機関について」の割合が10.0%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、身体障害者手帳と療育手帳で「各種福祉サービスの利用に関すること」の割合が最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳で「特にない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

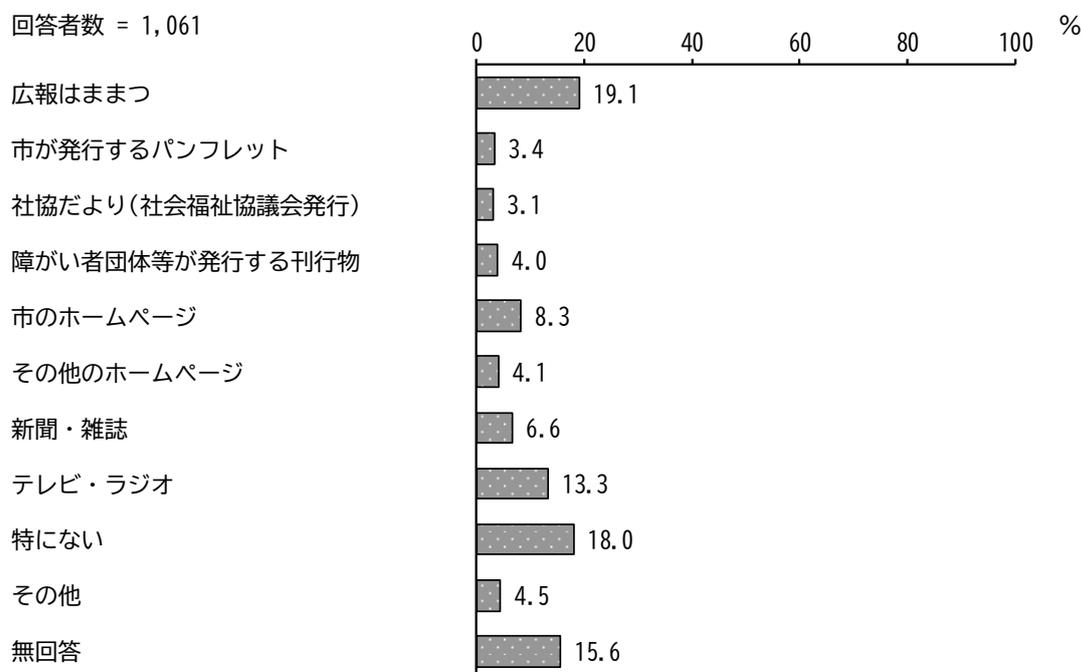
区分	回答者数 (件)	医療に関すること	各種福祉サービスの利用に関すること	悩みが相談できる人や団体、機関について	障がいを持つ仲間と出会える場について	地震や火事などの災害の情報について	特にない	その他	無回答
身体	113	8.0	31.0	5.3	9.7	8.0	22.1	0.9	15.0
療育	388	4.4	26.8	10.6	9.0	5.2	26.0	4.9	13.1
精神	26	7.7	15.4	19.2	3.8	7.7	30.8	-	15.4

(9) どのような方法で情報を入手したいですか。(単数回答)

【18歳以上 問23・18歳未満 問21】

18歳以上

「広報はままつ」の割合が19.1%と最も高く、次いで「特にない」の割合が18.0%、「テレビ・ラジオ」の割合が13.3%となっています。



【手帳種別】

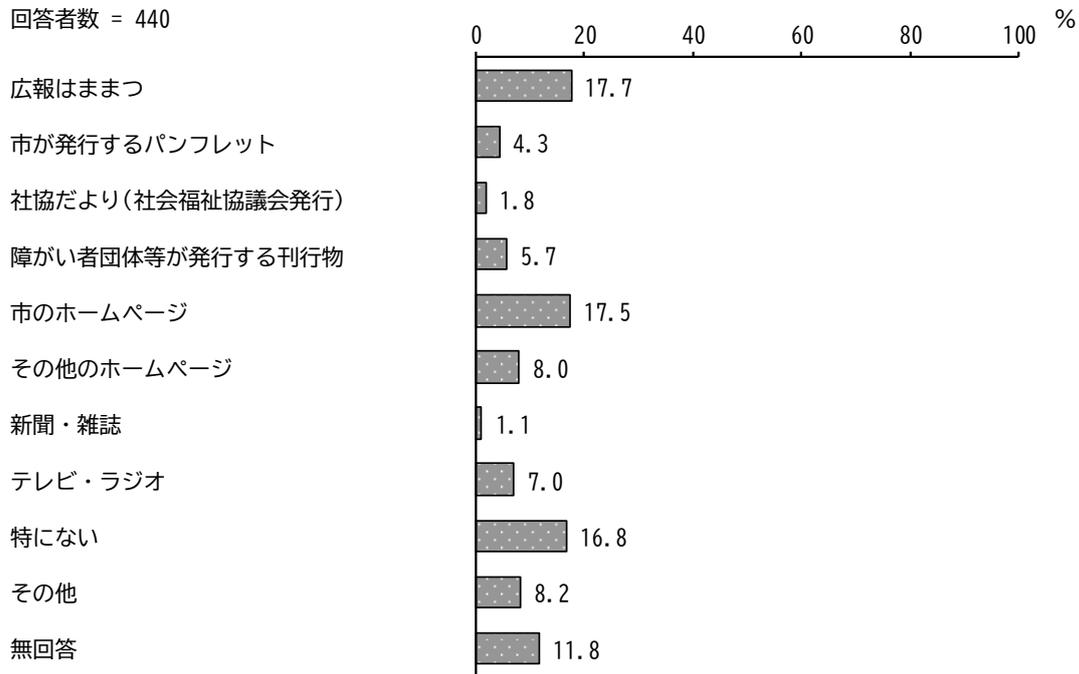
手帳の種別でみると、身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳で「広報はままつ」の割合が最も高くなっています。療育手帳で「特にない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	広報はままつ	市が発行するパンフレット	社協だより(社会福祉協議会発行)	障がい者団体等が発行する刊行物	市のホームページ	その他のホームページ	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	特にない	その他	無回答
身体	748	21.0	2.9	3.1	3.1	7.1	2.9	7.4	14.2	17.0	4.3	17.1
療育	242	14.9	3.3	5.4	4.5	6.6	2.1	4.1	12.8	20.7	6.6	19.0
精神	216	15.3	4.6	2.3	6.9	13.0	8.3	5.6	10.2	14.4	5.6	13.9

18歳未満

「広報はままつ」の割合が17.7%と最も高く、次いで「市のホームページ」の割合が17.5%、「特にない」の割合が16.8%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別で見ると、身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳で「市のホームページ」の割合が最も高くなっています。療育手帳で「広報はままつ」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	広報はままつ	市が発行するパンフレット	社協だより(社会福祉協議会発行)	障がい者団体等が発行する刊行物	市のホームページ	その他のホームページ	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	特にない	その他	無回答
身体	113	20.4	5.3	0.9	5.3	21.2	7.1	0.9	4.4	18.6	5.3	10.6
療育	388	18.3	4.9	1.8	5.9	16.8	7.0	1.3	7.7	16.2	7.7	12.4
精神	26	11.5	3.8	7.7	—	19.2	7.7	—	3.8	15.4	15.4	15.4

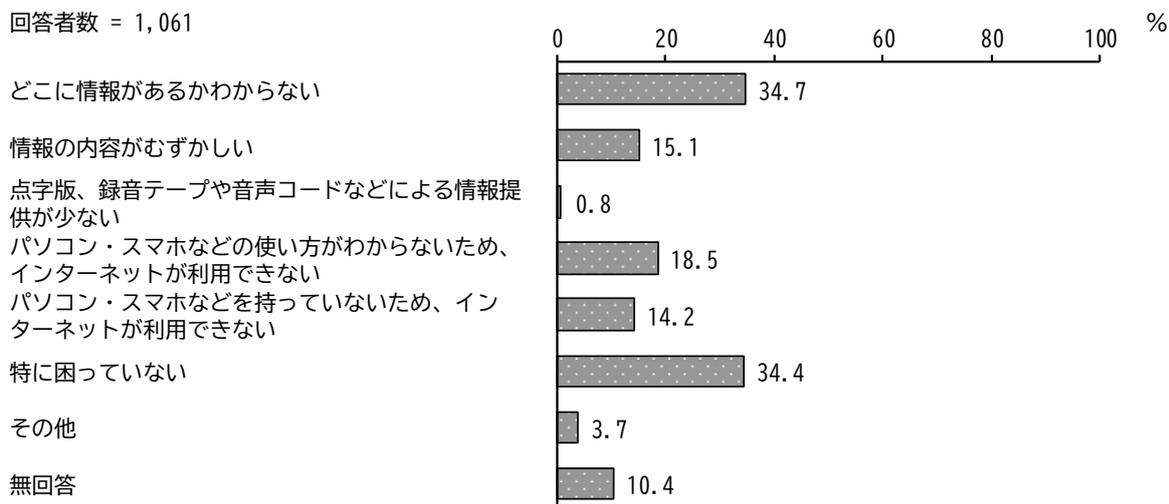
(10) 福祉に関する情報の入手について、困っていること（複数回答）

【18歳以上 問24・18歳未満 問22】

18歳以上

「どこに情報があるかわからない」の割合が34.7%と最も高く、次いで「特にない」の割合が34.4%、「パソコン・スマホなどの使い方がわからないため、インターネットが利用できない」の割合が18.5%となっています。

回答者数 = 1,061



【手帳種別】

手帳の種別でみると、身体障害者手帳で「特にない」の割合が最も高くなっています。療育手帳と精神障害者保健福祉手帳で「どこに情報があるかわからない」の割合が最も高くなっています。

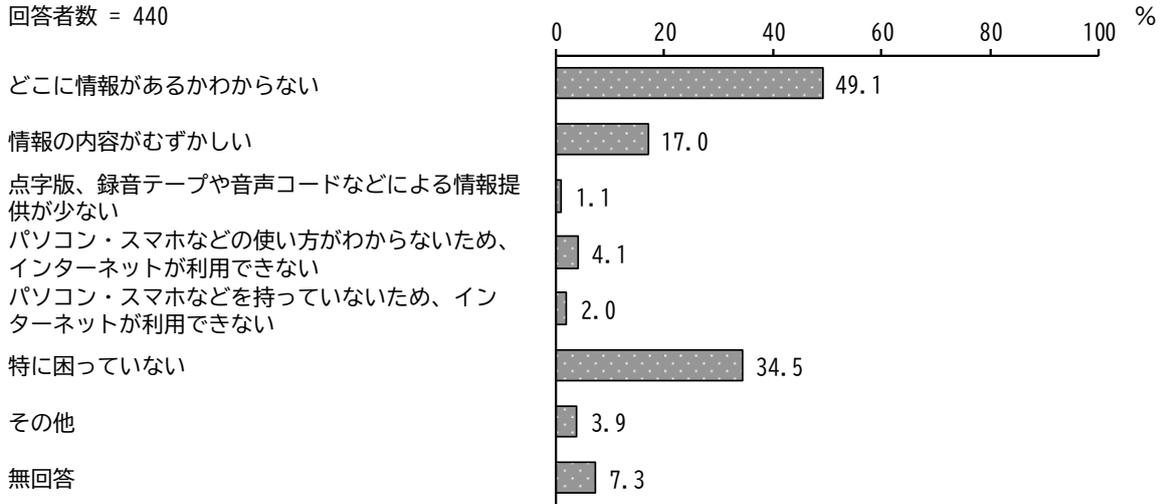
単位：%

区分	回答者数 (件)	どこに情報があるかわからない	情報の内容がむずかしい	点字版、録音テープや音声コードなどによる情報提供が少ない	パソコン・スマホなどの使い方がわからないため、インターネットが利用できない	パソコン・スマホなどを持っていないため、インターネットが利用できない	特にない	その他	無回答
身体	748	33.2	11.1	0.9	20.2	16.0	34.8	3.9	11.6
療育	242	33.9	20.2	0.8	19.0	11.2	29.8	5.0	13.6
精神	216	43.1	24.5	0.5	13.4	13.0	28.2	4.2	7.4

18歳未満

「どこに情報があるかわからない」の割合が49.1%と最も高く、次いで「特に困っていない」の割合が34.5%、「情報の内容がむずかしい」の割合が17.0%となっています。

回答者数 = 440



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「どこに情報があるかわからない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

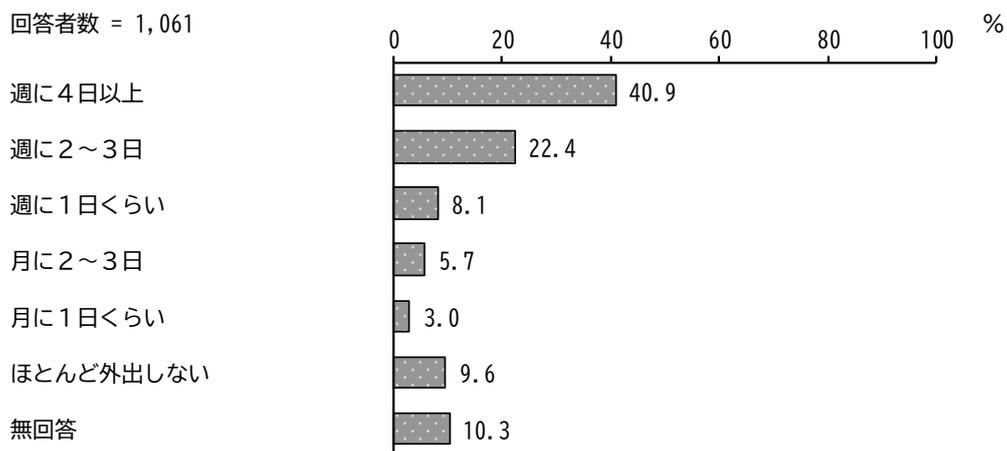
区分	回答者数 (件)	どこに情報があるかわからない	情報の内容がむずかしい	点字版、録音テープや音声コードなどによる情報提供が少ない	パソコン・スマホなどの使い方がわからないため、インターネットが利用できない	パソコン・スマホを持っていないため、インターネットが利用できない	特に困っていない	その他	無回答
身体	113	47.8	15.9	3.5	3.5	1.8	38.1	1.8	8.0
療育	388	49.2	17.8	0.8	4.4	2.3	33.2	4.1	7.7
精神	26	46.2	34.6	3.8	3.8	-	34.6	3.8	7.7

(11) どのくらいの頻度で外出していますか。(単数回答)

【18歳以上 問25・18歳未満 問23】

18歳以上

「週に4日以上」の割合が40.9%と最も高く、次いで「週に2～3日」の割合が22.4%となっています。



【手帳種別】

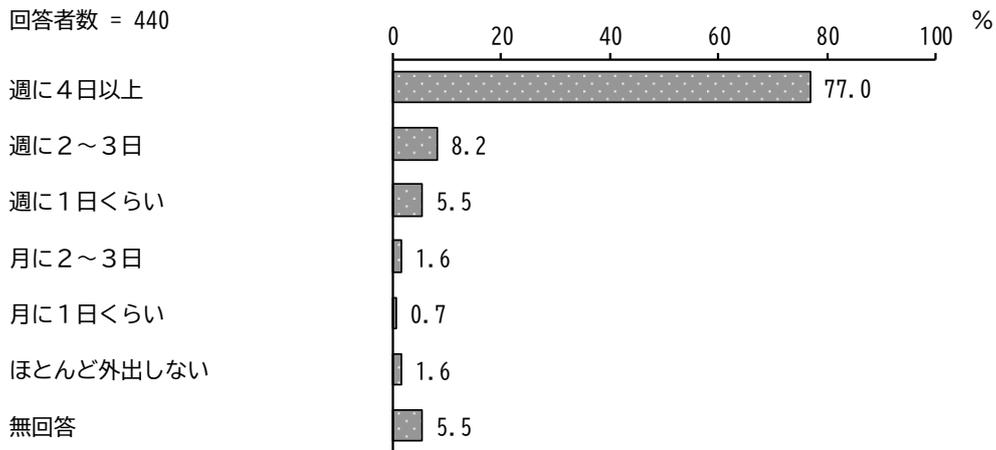
手帳の種別でみると、全ての手帳で「週に4日以上」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	週に4日以上	週に2～3日	週に1日くらい	月に2～3日	月に1日くらい	ほとんど外出しない	無回答
身体	748	35.0	24.1	9.1	6.7	3.6	10.6	11.0
療育	242	50.0	12.4	6.2	4.1	4.5	11.6	11.2
精神	216	49.1	24.5	6.0	3.2	0.5	7.9	8.8

18歳未満

「週に4日以上」の割合が77.0%と最も高くなっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「週に4日以上」の割合が最も高くなっています。

単位：%

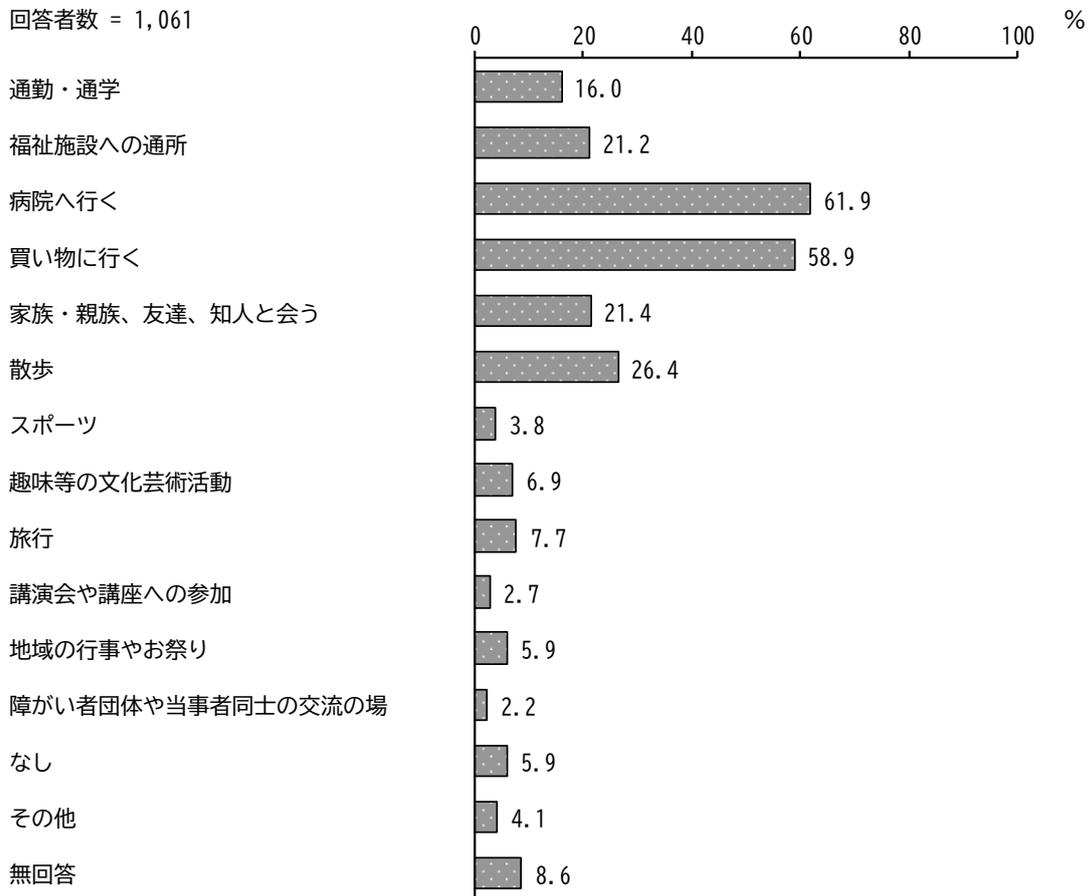
区分	回答者数 (件)	週に 4日 以上	週に 2~ 3日	週に 1日 くらい	月に 2~ 3日	月に 1日 くらい	ほとん ど外 出し ない	無 回 答
身体	113	80.5	7.1	5.3	—	1.8	0.9	4.4
療育	388	76.8	8.0	5.7	1.5	0.5	1.5	5.9
精神	26	73.1	11.5	3.8	3.8	—	3.8	3.8

(12) 最近どのような外出や社会参加をしましたか。(複数回答)

【18歳以上 問26・18歳未満 問24】

18歳以上

「病院へ行く」の割合が61.9%と最も高く、次いで「買い物に行く」の割合が58.9%、「散歩」の割合が26.4%となっています。



【手帳種別】

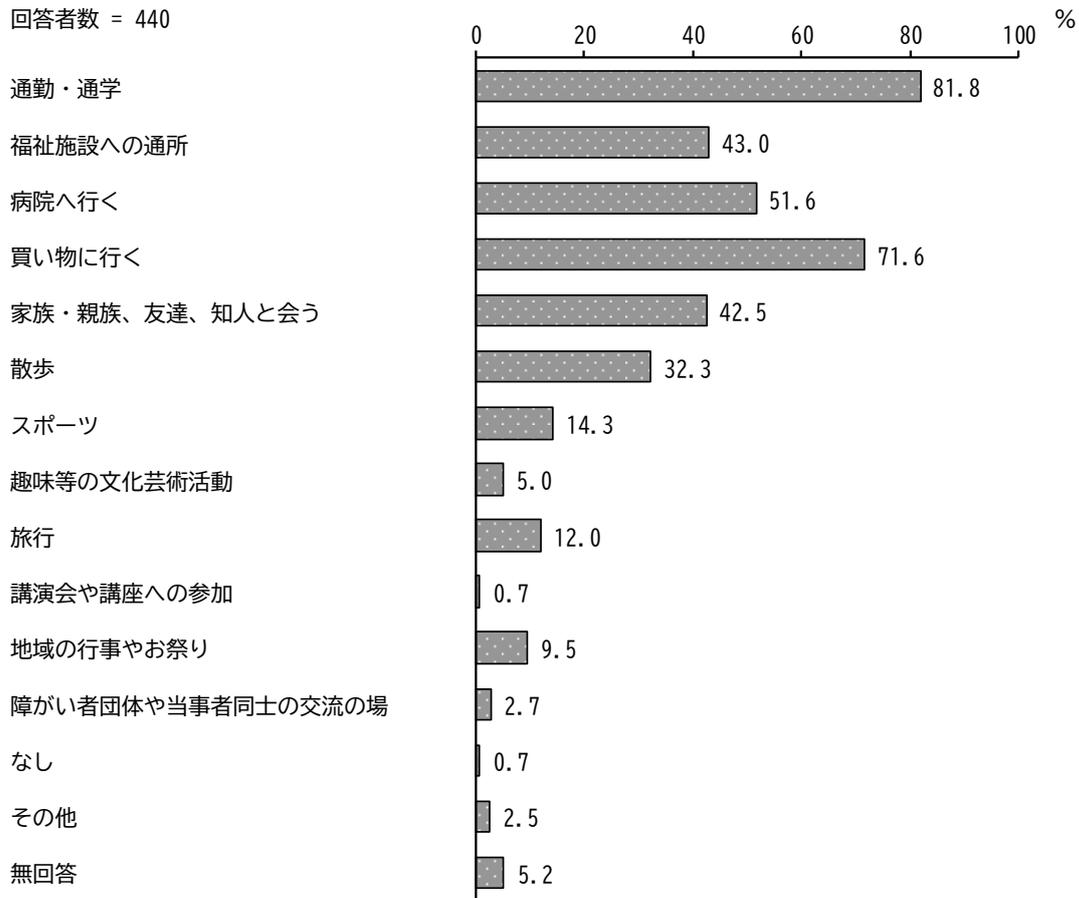
手帳の種別でみると、身体障害者手帳で「病院へ行く」の割合が最も高くなっています。療育手帳と精神障害者保健福祉手帳で「買い物に行く」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	通勤・通学	福祉施設への通所	病院へ行く	買い物に行く	家族・親族、友達、知人と会う	散歩	スポーツ	趣味等の文化芸術活動	旅行	講演会や講座への参加	地域の行事やお祭り	障がい者団体や当事者同士の交流の場	なし	その他	無回答
身体	748	11.4	16.7	63.5	55.6	20.5	27.3	3.7	6.7	7.0	3.2	7.0	1.2	6.7	4.1	9.6
療育	242	19.8	41.3	46.7	50.8	16.9	22.7	3.3	5.8	10.7	1.2	5.4	2.9	6.2	4.5	9.5
精神	216	25.0	20.4	66.7	68.1	25.9	24.1	3.7	7.9	5.6	2.3	3.2	4.2	5.6	5.1	7.9

18歳未満

「通勤・通学」の割合が81.8%と最も高く、次いで「買い物に行く」の割合が71.6%、「病院へ行く」の割合が51.6%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「通勤・通学」の割合が最も高くなっています。

単位：%

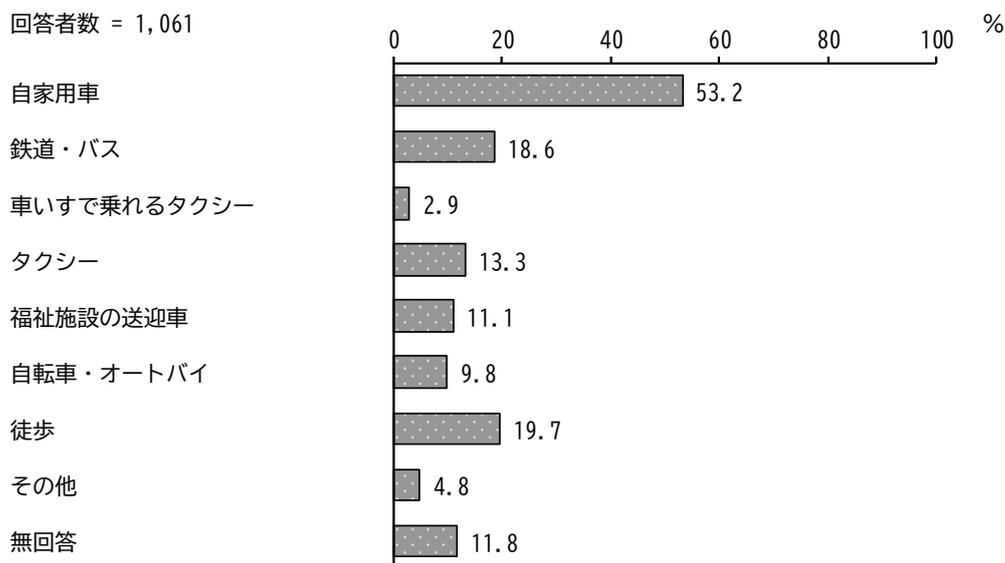
区分	回答者数 (件)	通勤・通学	福祉施設への通所	病院へ行く	買い物に行く	家族・親族、友達、知人と会う	散歩	スポーツ	趣味等の文化芸術活動	旅行	講演会や講座への参加	地域の行事やお祭り	障がい者団体や当事者同士の交流の場	なし	その他	無回答
身体	113	75.2	45.1	66.4	64.6	39.8	37.2	10.6	2.7	13.3	1.8	8.0	5.3	1.8	1.8	4.4
療育	388	81.7	45.4	50.5	71.4	41.2	32.5	14.2	4.4	11.6	0.3	8.5	2.3	0.8	2.8	5.7
精神	26	84.6	23.1	46.2	57.7	42.3	15.4	15.4	11.5	3.8	—	11.5	3.8	—	—	3.8

(13) 外出時の移動手段について (複数回答)

【18歳以上 問27・18歳未満 問25】

18歳以上

「自家用車」の割合が53.2%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が19.7%、「鉄道・バス」の割合が18.6%となっています。



【手帳種別】

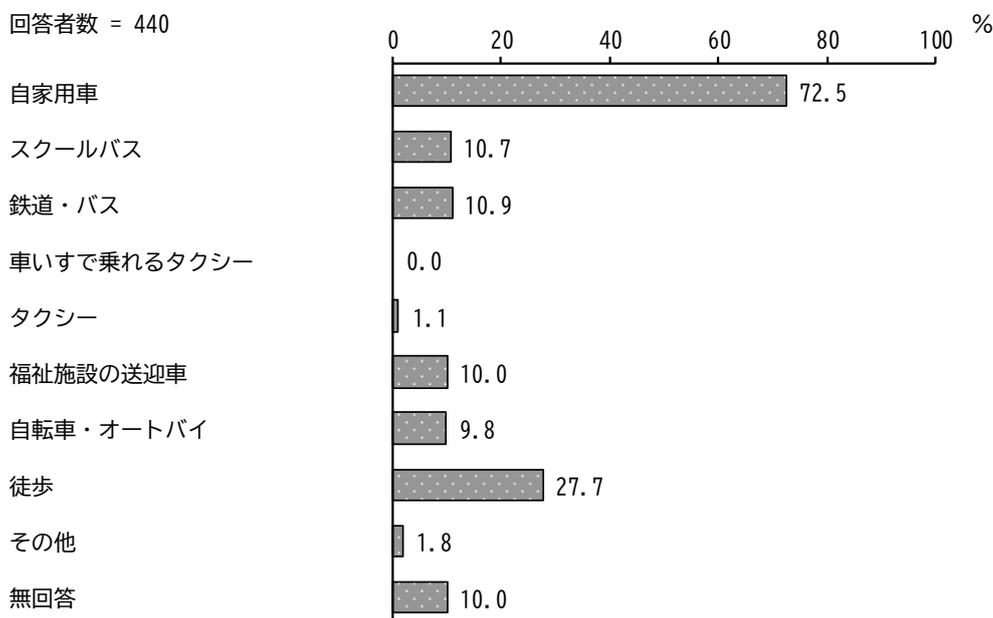
手帳の種別でみると、全ての手帳で「自家用車」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	自家用車	鉄道・バス	車いすで乗れるタクシー	タクシー	福祉施設の送迎車	自転車・オートバイ	徒歩	その他	無回答
身体	748	55.9	13.4	3.9	16.4	11.0	7.0	16.4	5.1	13.0
療育	242	45.0	25.2	2.5	6.2	17.8	9.5	20.7	4.5	13.6
精神	216	44.9	29.2	2.3	8.3	3.7	19.0	28.2	5.1	10.2

18歳未満

「自家用車」の割合が72.5%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が27.7%、「鉄道・バス」の割合が10.9%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「自家用車」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	自家用車	スクールバス	鉄道・バス	車いすで乗れるタクシー	タクシー	福祉施設の送迎車	自転車・オートバイ	徒歩	その他	無回答
身体	113	78.8	11.5	5.3	—	1.8	6.2	3.5	15.0	2.7	8.8
療育	388	72.9	11.3	10.8	—	1.0	10.3	9.3	27.6	1.3	10.3
精神	26	69.2	—	23.1	—	3.8	11.5	15.4	30.8	7.7	7.7

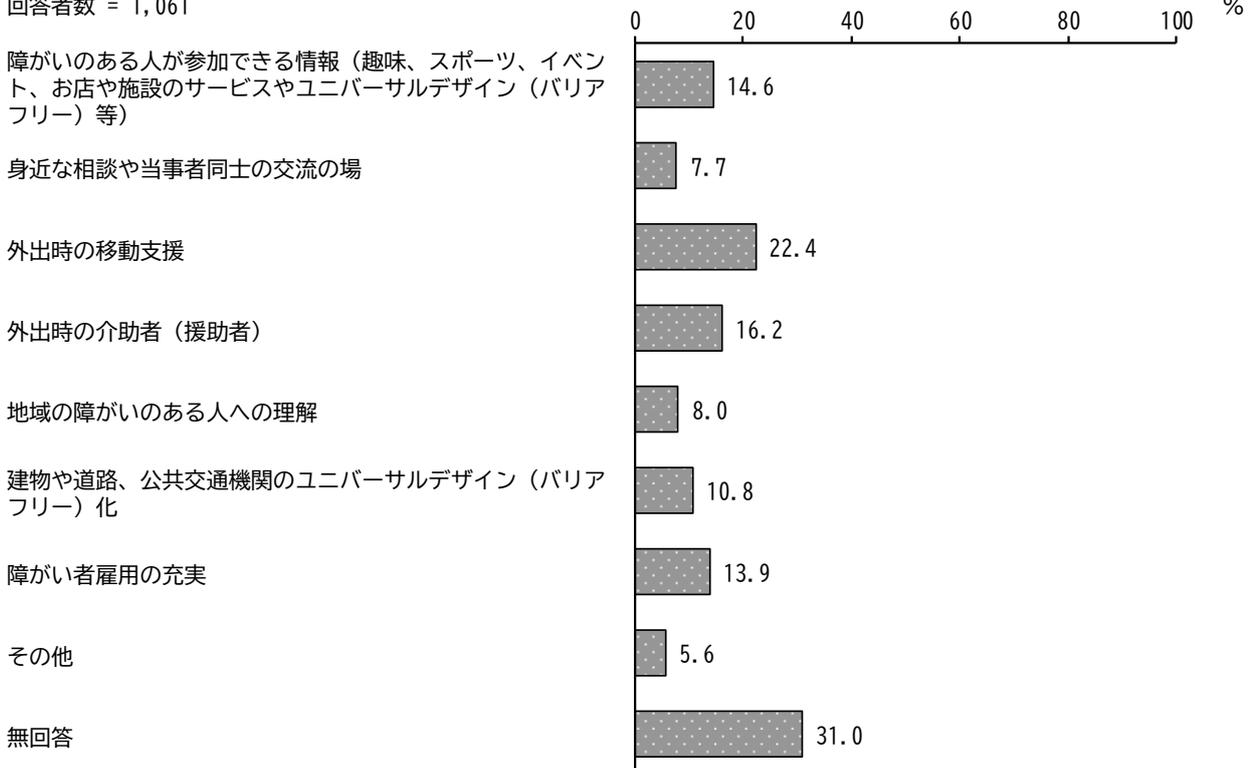
(14) 外出や社会参加をするにあたって必要なもの（複数回答）

【18歳以上 問28・18歳未満 問26】

18歳以上

「外出時の移動支援」の割合が22.4%と最も高く、次いで「外出時の介助者（援助者）」の割合が16.2%、「障がいのある人が参加できる情報（趣味、スポーツ、イベント、お店や施設のサービスやユニバーサルデザイン（バリアフリー）等）」の割合が14.6%となっています。

回答者数 = 1,061



【手帳種別】

手帳の種別でみると、身体障害者手帳で「外出時の移動支援」の割合が最も高くなっています。また、療育手帳で「外出時の介助者（援助者）」の割合が最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳で「障がい者雇用の充実」の割合が最も高くなっています。

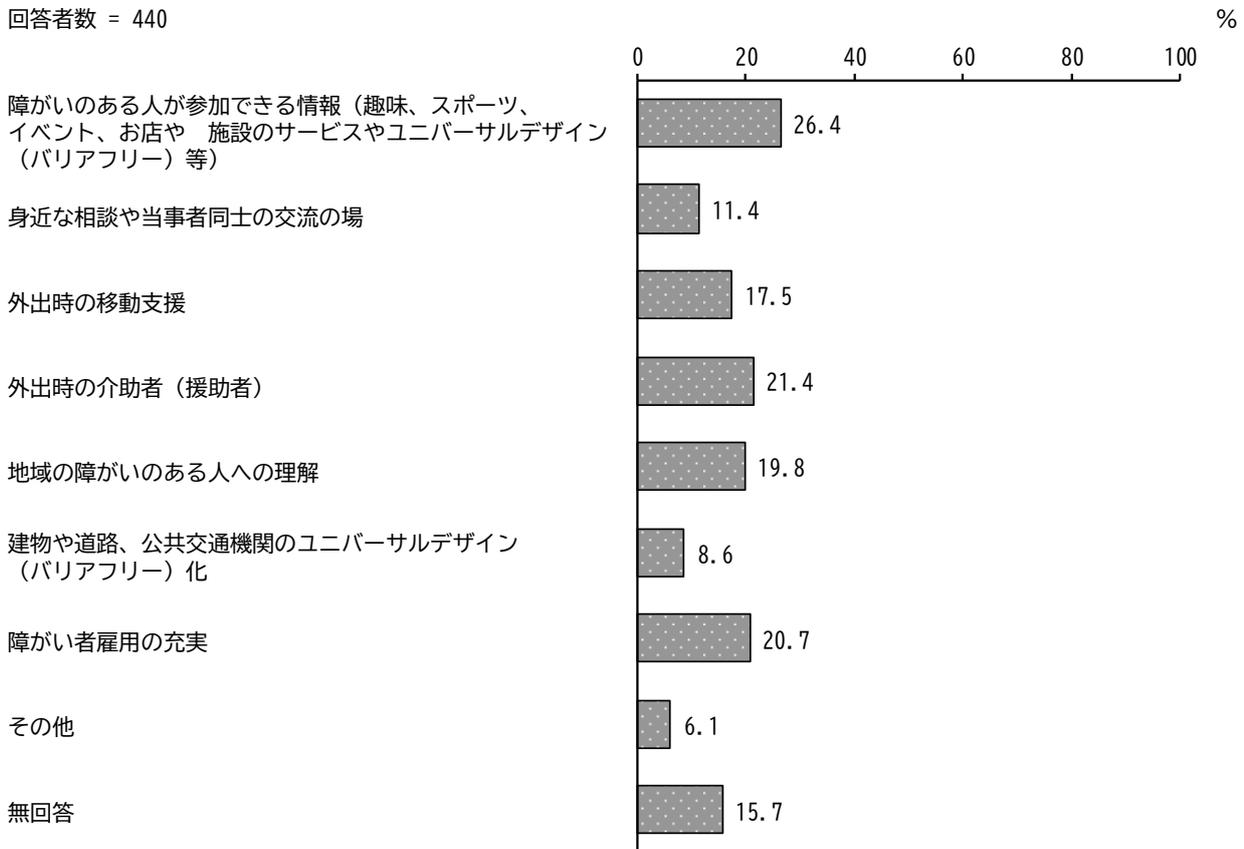
単位：%

区分	回答者数 (件)	障がいのある人が参加できる情報	身近な相談や当事者同士の交流の場	外出時の移動支援	外出時の介助者（援助者）	地域の障がいのある人への理解	建物や道路、公共交通機関のユニバーサルデザイン（バリアフリー）化	障がい者雇用の充実	その他	無回答
身体	748	13.6	6.7	23.3	15.5	5.9	14.2	8.8	5.2	34.6
療育	242	16.9	7.4	19.0	22.3	10.3	7.4	11.2	5.0	31.0
精神	216	17.1	12.0	23.6	11.6	14.4	4.2	30.6	7.9	19.9

18歳未満

「障がいのある人が参加できる情報（趣味、スポーツ、イベント、お店や施設のサービスやユニバーサルデザイン（バリアフリー）等）」の割合が26.4%と最も高く、次いで「外出時の介助者（援助者）」の割合が21.4%、「障がい者雇用の充実」の割合が20.7%となっています。

回答者数 = 440



【手帳種別】

手帳の種別でみると、身体障害者手帳と療育手帳で「障がいのある人が参加できる情報（趣味、スポーツ、イベント、お店や施設のサービスやユニバーサルデザイン（バリアフリー）等）」の割合が最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳で「障がい者雇用の充実」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	障がいのある人が参加できる情報	身近な相談や当事者同士の交流の場	外出時の移動支援	外出時の介助者（援助者）	地域の障がいのある人への理解	建物や道路、公共交通機関のユニバーサルデザイン（バリアフリー）化	障がい者雇用の充実	その他	無回答
身体	113	26.5	8.8	19.5	24.8	11.5	24.8	12.4	8.8	15.0
療育	388	27.6	10.8	18.0	22.2	20.9	7.0	20.4	4.9	16.0
精神	26	19.2	11.5	11.5	7.7	19.2	3.8	30.8	19.2	7.7

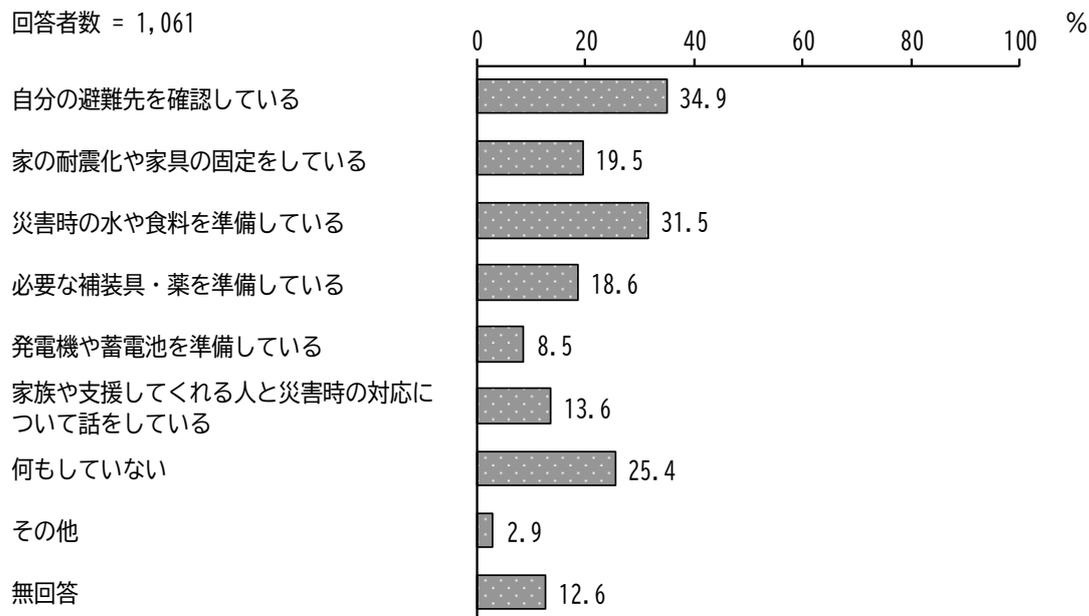
## 4 災害対策について

(1) 災害発生時の備えをしていますか。(複数回答)

【18歳以上 問29・18歳未満 問27】

18歳以上

「自分の避難先を確認している」の割合が34.9%と最も高く、次いで「災害時の水や食料を準備している」の割合が31.5%、「何もしていない」の割合が25.4%となっています。



【手帳種別】

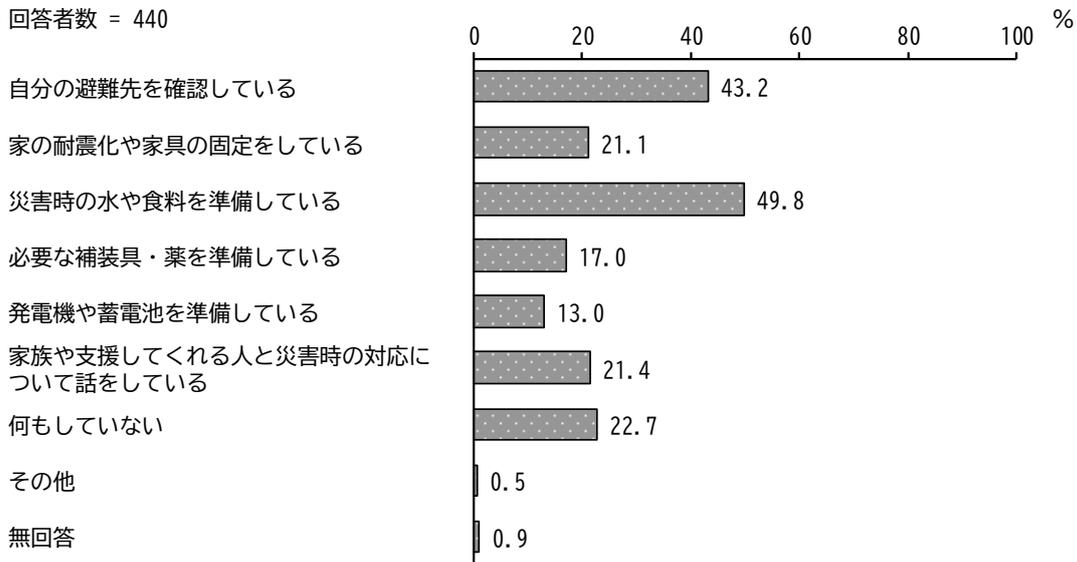
手帳の種別で見ると、身体障害者手帳と療育手帳で「自分の避難先を確認している」の割合が最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳で「何もしていない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	自分の避難先を確認している	家の耐震化や家具の固定をしている	災害時の水や食料を準備している	必要な補装具・薬を準備している	発電機や蓄電池を準備している	家族や支援してくれる人と災害時の対応について話をしている	何もしていない	その他	無回答
身体	748	35.8	21.7	33.2	20.9	9.4	13.4	20.9	3.1	14.0
療育	242	33.5	15.7	33.1	14.5	11.2	18.2	24.0	4.5	16.5
精神	216	29.2	12.0	23.6	13.4	4.6	8.3	38.0	3.7	10.6

18歳未満

「災害時の水や食料を準備している」の割合が49.8%と最も高く、次いで「自分の避難先を確認している」の割合が43.2%、「何もしていない」の割合が22.7%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「災害時の水や食料を準備している」の割合が最も高くなっています。

単位：%

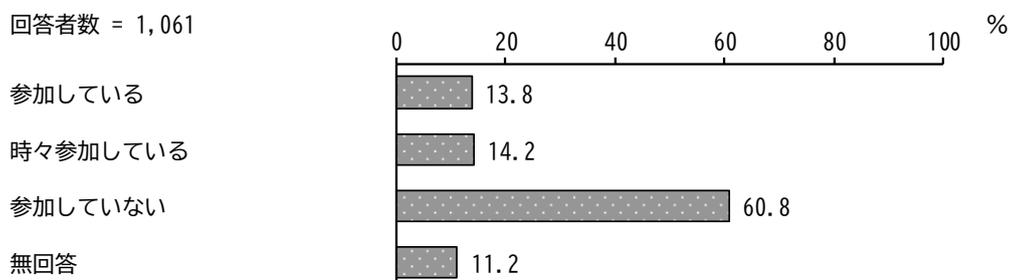
区分	回答者数 (件)	自分の避難先を確認している	家の耐震化や家具の固定をしている	災害時の水や食料を準備している	必要な補装具・薬を準備している	発電機や蓄電池を準備している	家族や支援してくれる人と災害時の対応について話をしている	何もしていない	その他	無回答
身体	113	42.5	24.8	55.8	27.4	19.5	29.2	10.6	—	0.9
療育	388	42.8	20.9	48.5	16.0	12.4	20.1	23.2	0.5	0.8
精神	26	38.5	11.5	46.2	7.7	15.4	19.2	38.5	—	—

(2) お住まいの地域の避難訓練に参加していますか。(単数回答)

【18歳以上 問30・18歳未満 問28】

18歳以上

「参加していない」の割合が60.8%と最も高く、次いで「時々参加している」の割合が14.2%、「参加している」の割合が13.8%となっています。



【手帳種別】

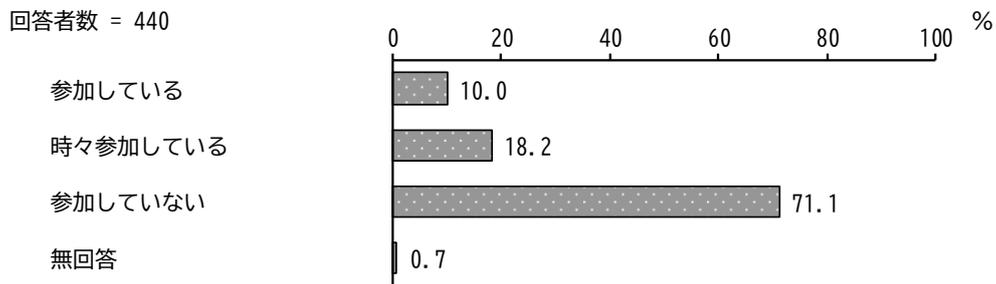
手帳の種別でみると、全ての手帳で「参加していない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	参加している	時々参加している	参加していない	無回答
身体	748	14.8	16.2	56.1	12.8
療育	242	14.0	14.0	58.3	13.6
精神	216	11.1	8.3	71.8	8.8

**18歳未満**

「参加していない」の割合が71.1%と最も高く、次いで「時々参加している」の割合が18.2%、「参加している」の割合が10.0%となっています。



**【手帳種別】**

手帳の種別でみると、全ての手帳で「参加していない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

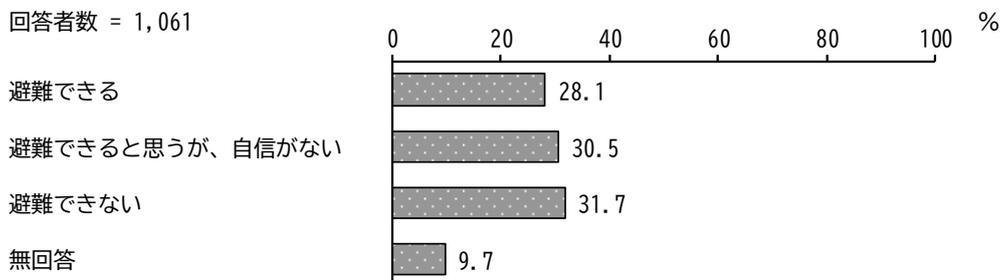
区分	回答者数 (件)	参加している	時々参加している	参加していない	無回答
身体	113	8.0	14.2	77.0	0.9
療育	388	10.3	19.1	70.1	0.5
精神	26	11.5	7.7	80.8	—

(3) 災害発生時に1人で避難できますか。(単数回答)

【18歳以上 問31・18歳未満 問29】

18歳以上

「避難できない」の割合が31.7%と最も高く、次いで「避難できると思うが、自信がない」の割合が30.5%、「避難できる」の割合が28.1%となっています。



【手帳種別】

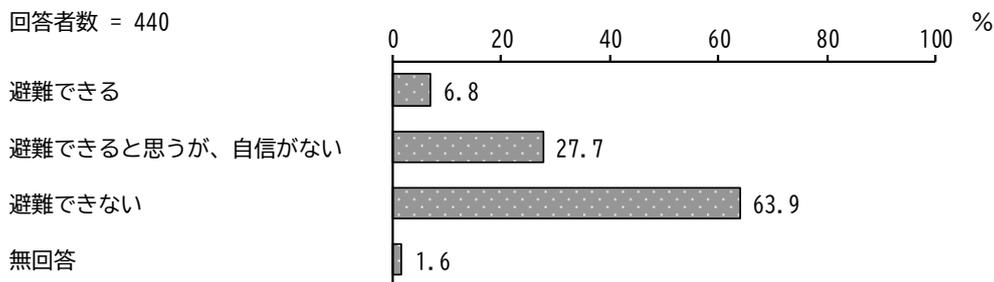
手帳の種別でみると、身体障害者手帳と療育手帳で「避難できない」の割合が最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳で「避難できると思うが、自信がない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	避難できる	避難できると思うが、自信がない	避難できない	無回答
身体	748	28.7	27.5	33.0	10.7
療育	242	17.8	24.0	47.9	10.3
精神	216	31.0	42.1	18.1	8.8

18歳未満

「避難できない」の割合が63.9%と最も高く、次いで「避難できると思うが、自信がない」の割合が27.7%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別で見ると、身体障害者手帳と療育手帳で「避難できない」の割合が最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳で「避難できると思うが、自信がない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

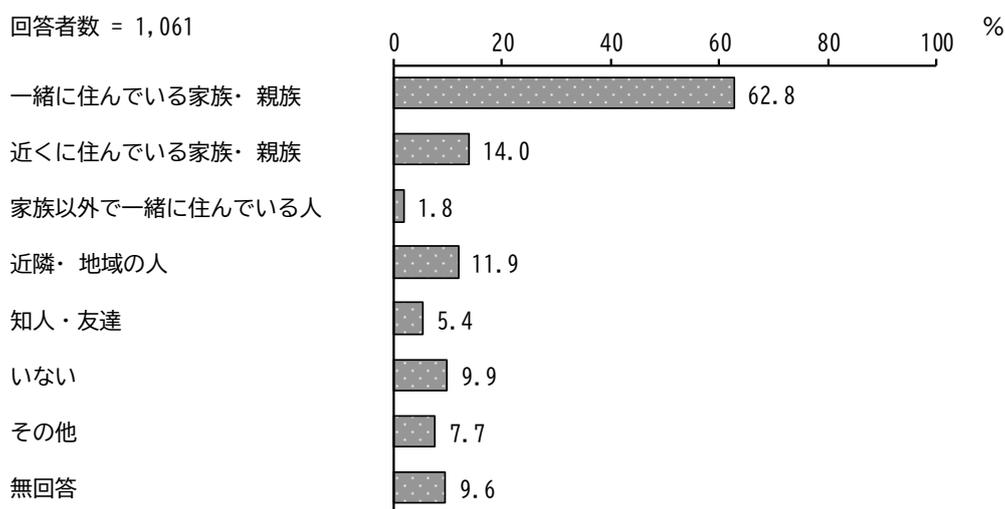
区分	回答者数 (件)	避難できる	避難できると思うが、 自信がない	避難できない	無回答
身体	113	5.3	21.2	72.6	0.9
療育	388	5.7	25.3	67.5	1.5
精神	26	23.1	50.0	26.9	—

(4) 災害発生時に避難を支援してくれる人はいますか。(複数回答)

【18歳以上 問32・18歳未満 問30】

18歳以上

「一緒に住んでいる家族・親族」の割合が62.8%と最も高く、次いで「近くに住んでいる家族・親族」の割合が14.0%、「近隣・地域の人」の割合が11.9%となっています。



【手帳種別】

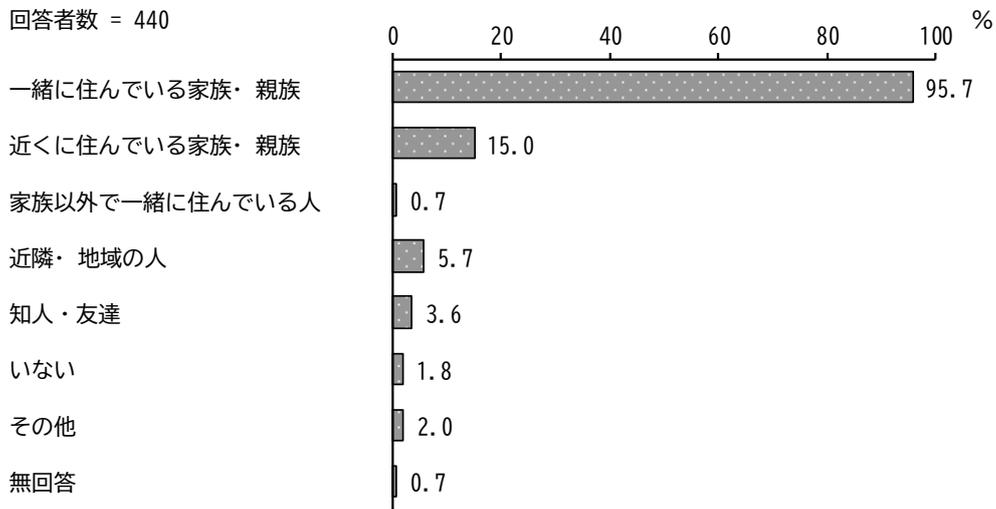
手帳の種別でみると、全ての手帳で「一緒に住んでいる家族・親族」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	一緒に住んでいる家族・親族	近くに住んでいる家族・親族	家族以外で一緒に住んでいる人	近隣・地域の人	知人・友達	いない	その他	無回答
身体	748	63.8	15.4	1.3	12.8	5.5	8.6	6.0	10.6
療育	242	63.6	10.3	4.1	9.5	2.5	4.1	16.5	11.6
精神	216	54.2	14.4	0.9	7.4	6.9	20.8	7.4	7.9

18歳未満

「一緒に住んでいる家族・親族」の割合が95.7%と最も高く、次いで「近くに住んでいる家族・親族」の割合が15.0%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「一緒に住んでいる家族・親族」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	一緒に住んでいる家族・親族	近くに住んでいる家族・親族	家族以外で一緒に住んでいる人	近隣・地域の人	知人・友達	いない	その他	無回答
身体	113	96.5	11.5	—	3.5	2.7	0.9	1.8	1.8
療育	388	95.6	15.2	0.8	5.9	3.9	1.8	2.3	0.5
精神	26	96.2	15.4	—	—	—	3.8	—	—

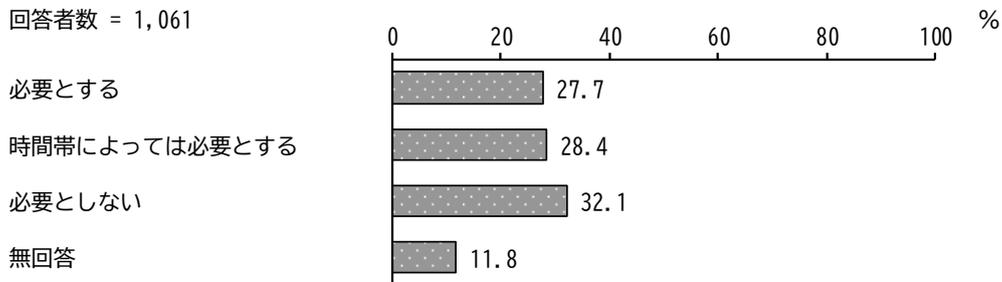
(5) 災害発生時に近隣・地域の人による避難の支援を必要としますか。

(単数回答)

【18歳以上 問33・18歳未満 問31】

18歳以上

「必要としない」の割合が32.1%と最も高く、次いで「時間帯によっては必要とする」の割合が28.4%、「必要とする」の割合が27.7%となっています。



【手帳種別】

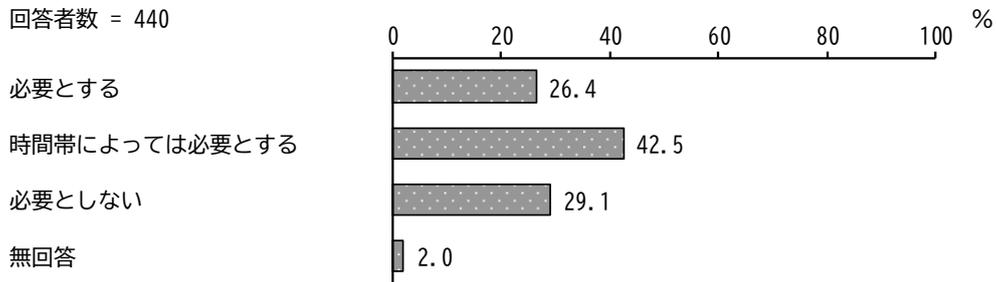
手帳の種別でみると、身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳で「必要としない」の割合が最も高くなっています。療育手帳で「必要とする」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	必要とする	時間帯によっては必要とする	必要としない	無回答
身体	748	27.9	27.5	31.3	13.2
療育	242	33.1	32.2	20.7	14.0
精神	216	25.5	25.0	40.3	9.3

**18歳未満**

「時間帯によっては必要とする」の割合が42.5%と最も高く、次いで「必要としない」の割合が29.1%、「必要とする」の割合が26.4%となっています。



**【手帳種別】**

手帳の種別でみると、全ての手帳で「時間帯によっては必要とする」の割合が最も高くなっています。

単位：%

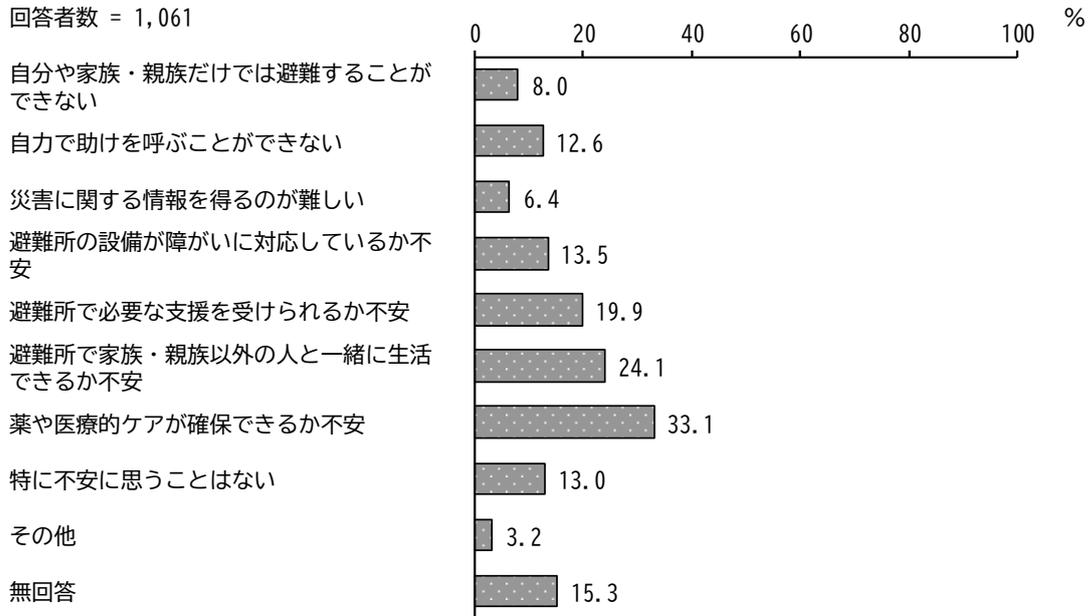
区分	回答者数 (件)	必要とする	時間帯によっては必要とする	必要としない	無回答
身体	113	29.2	40.7	27.4	2.7
療育	388	27.1	42.5	28.4	2.1
精神	26	11.5	57.7	30.8	—

(6) 災害発生時に不安に思うことはありますか。(複数回答)

【18歳以上 問34・18歳未満 問32】

18歳以上

「薬や医療的ケアが確保できるか不安」の割合が33.1%と最も高く、次いで「避難所で家族・親族以外の人と一緒に生活できるか不安」の割合が24.1%、「避難所で必要な支援を受けられるか不安」の割合が19.9%となっています。



【手帳種別】

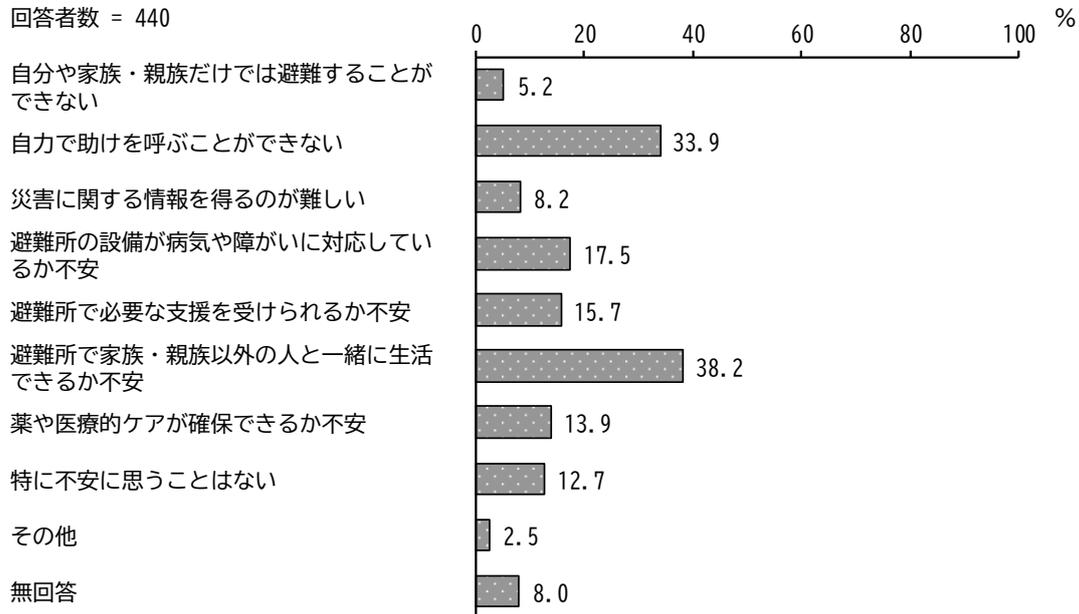
手帳の種別で見ると、身体障害者手帳で「薬や医療的ケアが確保できるか不安」の割合が最も高くなっています。療育手帳と精神障害者保健福祉手帳で「避難所で家族・親族以外の人と一緒に生活できるか不安」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	自分や家族・親族だけでは避難することができない	自力で助けを呼ぶことができない	災害に関する情報を得るのが難しい	避難所の設備が病気や障がいに対応しているか不安	避難所で必要な支援を受けられるか不安	避難所で家族・親族以外の人と一緒に生活できるか不安	薬や医療的ケアが確保できるか不安	特に不安に思うことはない	その他	無回答
身体	748	8.7	11.8	5.9	15.6	19.8	18.4	33.7	13.9	3.1	15.9
療育	242	8.7	20.2	8.3	12.8	17.8	28.9	26.4	9.1	3.3	19.4
精神	216	4.6	7.9	6.0	7.4	19.0	38.9	38.4	12.0	5.6	12.0

18歳未満

「避難所で家族・親族以外の人と一緒に生活できるか不安」の割合が38.2%と最も高く、次いで「自力で助けを呼ぶことができない」の割合が33.9%、「避難所の設備が病気や障がいに対応しているか不安」の割合が17.5%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別で見ると、身体障害者手帳で「薬や医療的ケアが確保できるか不安」の割合が最も高くなっています。療育手帳と精神障害者保健福祉手帳で「避難所で家族・親族以外の人と一緒に生活できるか不安」の割合が最も高くなっています。

単位：%

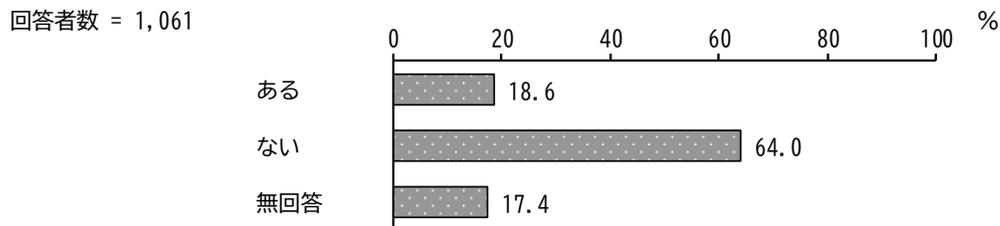
区分	回答者数 (件)	自分や家族・親族だけでは避難することができない	自力で助けを呼ぶことができない	災害に関する情報を得るのが難しい	避難所の設備が病気や障がいに対応しているか不安	避難所で必要な支援を受けられるか不安	避難所で家族・親族以外の人と一緒に生活できるか不安	薬や医療的ケアが確保できるか不安	特に不安に思うことはない	その他	無回答
身体	113	8.8	27.4	2.7	27.4	17.7	20.4	34.5	10.6	0.9	9.7
療育	388	5.2	36.3	9.0	16.5	14.9	40.2	11.1	12.4	2.3	8.2
精神	26	7.7	19.2	—	19.2	15.4	26.9	19.2	19.2	3.8	7.7

## 5 障がいのある人に対する理解や権利擁護について

(1) 障がいがあることを理由とした嫌な思いや配慮に欠ける対応の経験 (単数回答)  
【18歳以上 問35・18歳未満 問33】

### 18歳以上

「ある」の割合が18.6%、「ない」の割合が64.0%となっています。

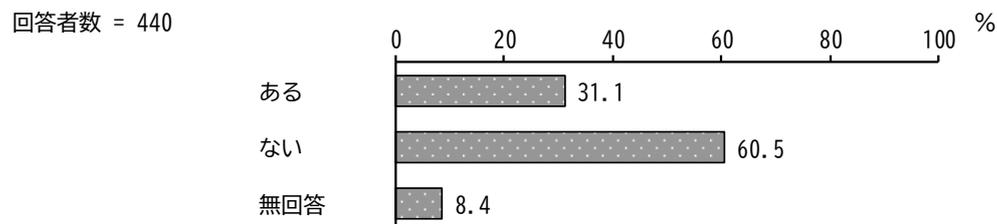


#### 【「ある」の内容 (抜粋)】

- ・杖歩行の時にバスに乗っても席をゆずってくれなかった
- ・同じぐらいの働いていても給与が少ない
- ・送迎車を待っている時に「障害者はこれだからいやだ、きらい」と言われた
- ・うつ病をなまけもの病などといわれる。しんどくても明るいふりをしないといけない
- ・上司からパワハラを受け、早期退職に追い込まれた。さらに差別待遇を受けた 等

### 18歳未満

「ある」の割合が31.1%、「ない」の割合が60.5%となっています。



#### 【「ある」の内容 (抜粋)】

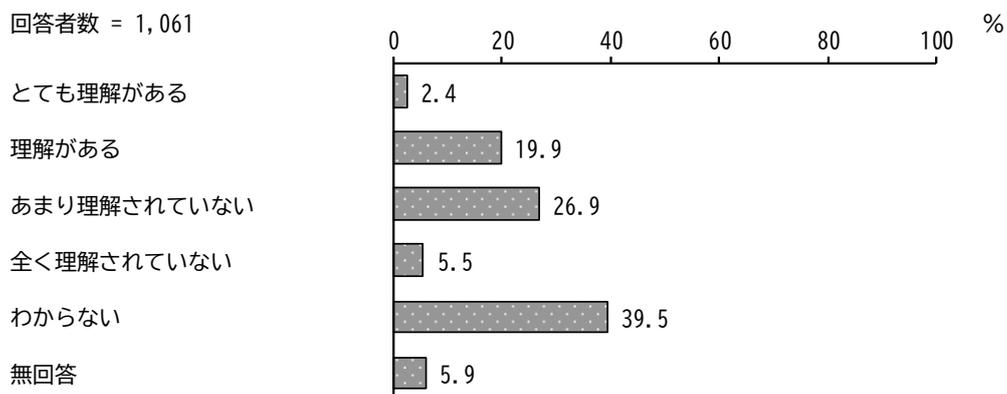
- ・学童で他の子と同じように行動できないことで、対応に困る子として扱われている
- ・周りの人の目が気になる
- ・外出先で、バリアフリー対応ではない所があると、バギーで入ることが難しかったり、無理して入ろうとしても他人に迷惑がられたり、悲しくなる
- ・支援者の方と性格が合わないと嫌われてしまう
- ・外出先で大きな声で話していたら他人に嫌なことを言われた事がある 等

(2) 市民の障がいのある人に対する理解について（単数回答）

【18歳以上 問36・18歳未満 問34】

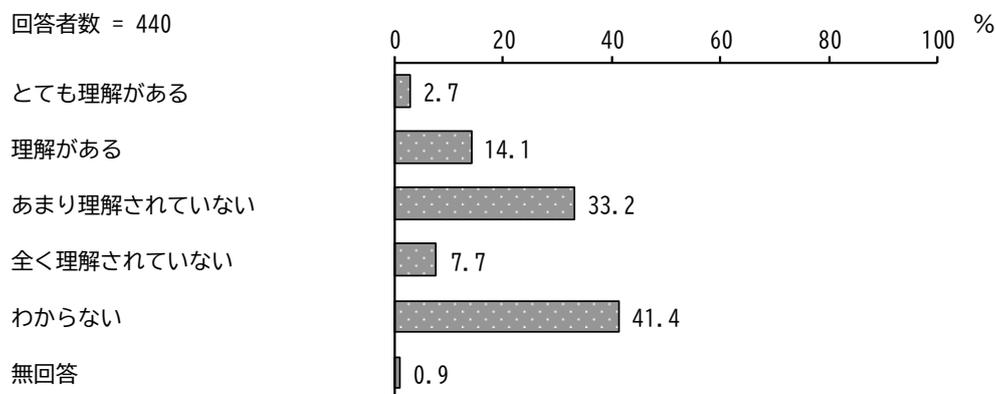
18歳以上

「わからない」の割合が39.5%と最も高く、次いで「あまり理解されていない」の割合が26.9%、「理解がある」の割合が19.9%となっています。



18歳未満

「わからない」の割合が41.4%と最も高く、次いで「あまり理解されていない」の割合が33.2%、「理解がある」の割合が14.1%となっています。

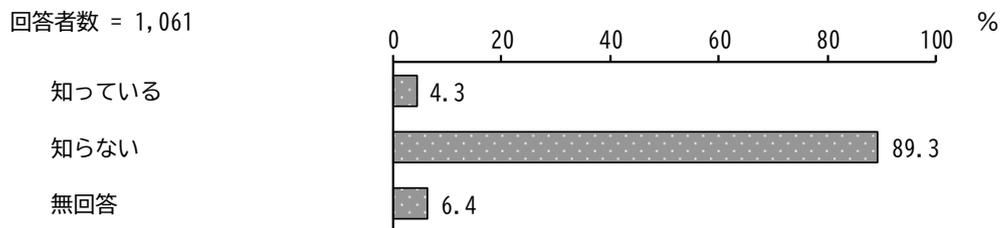


(3)「浜松市手話言語の推進に関する条例」について（単数回答）

【18歳以上 問37・18歳未満 問35】

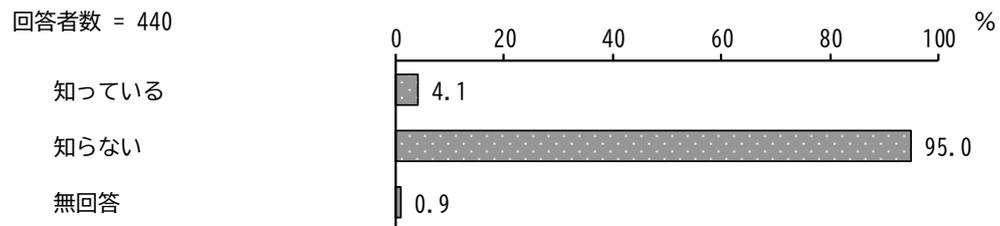
18歳以上

「知っている」の割合が4.3%、「知らない」の割合が89.3%となっています。



18歳未満

「知っている」の割合が4.1%、「知らない」の割合が95.0%となっています。

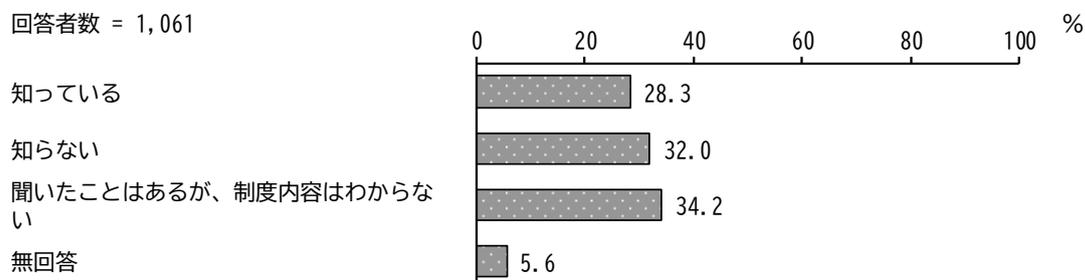


(4) 成年後見制度について (単数回答)

【18歳以上 問38・18歳未満 問36】

18歳以上

「聞いたことはあるが、制度内容はわからない」の割合が34.2%と最も高く、次いで「知らない」の割合が32.0%、「知っている」の割合が28.3%となっています。



【手帳種別】

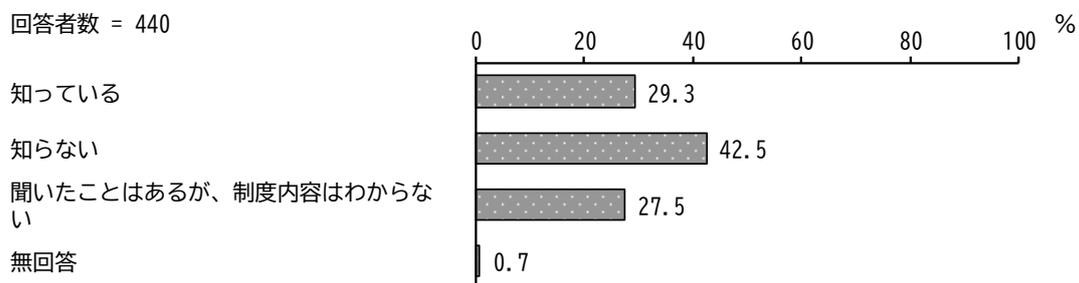
手帳の種別でみると、身体障害者手帳で「聞いたことはあるが、制度内容はわからない」の割合が高くなっています。療育手帳と精神障害者保健福祉手帳で「知らない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	知っている	知らない	聞いたことはあるが、 制度内容はわからない	無回答
身体	748	29.3	28.5	36.1	6.1
療育	242	27.7	38.0	29.3	5.0
精神	216	25.0	38.9	31.0	5.1

18歳未満

「知らない」の割合が42.5%と最も高く、次いで「知っている」の割合が29.3%、「聞いたことはあるが、制度内容はわからない」の割合が27.5%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、身体障害者手帳で「知っている」の割合が高くなっています。療育手帳と精神障害者保健福祉手帳で「知らない」の割合が高くなっています。

単位：%

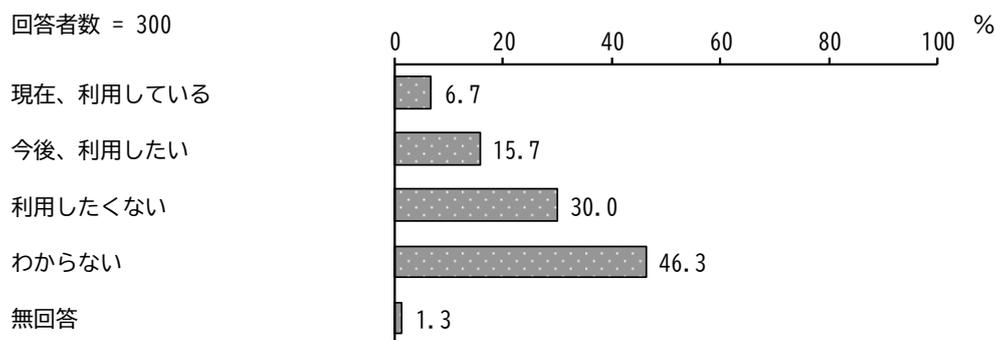
区分	回答者数 (件)	知っている	知らない	聞いたことはあるが、 制度内容はわからない	無回答
身体	113	35.4	30.1	32.7	1.8
療育	388	30.9	40.2	28.4	0.5
精神	26	7.7	80.8	11.5	—

(5) 成年後見制度の利用について (単数回答)

【18歳以上 問38-1・18歳未満 問36-1】

18歳以上

成年後見制度を知っている人(300人)のうち、制度の利用について「わからない」の割合が46.3%と最も高く、次いで「利用したくない」の割合が30.0%、「今後、利用したい」の割合が15.7%となっています。



【手帳種別】

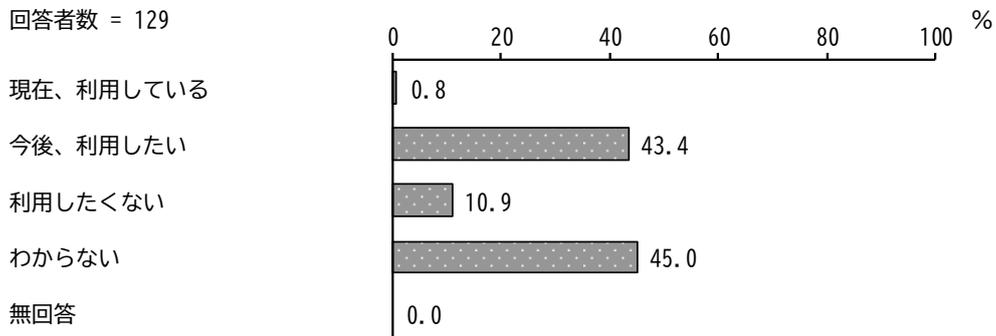
手帳の種別で見ると、身体障害者手帳と療育手帳で「わからない」の割合が高くなっています。精神障害者保健福祉手帳で「利用したくない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	現在、 利用している	今後、 利用したい	利用したくない	わからない	無回答
身体	219	5.9	13.7	29.7	49.3	1.4
療育	67	16.4	20.9	19.4	41.8	1.5
精神	54	9.3	14.8	44.4	29.6	1.9

18歳未満

成年後見制度を知っている人（129人）のうち、「わからない」の割合が45.0%と最も高く、次いで「今後、利用したい」の割合が43.4%、「利用したくない」の割合が10.9%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、身体障害者手帳で「今後、利用したい」の割合が最も高くなっています。療育手帳で「わからない」の割合が最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳では、「利用したくない」と「わからない」がそれぞれ1人ずつとなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	現在、利用している	今後、利用したい	利用したくない	わからない	無回答
身体	40	—	50.0	17.5	32.5	—
療育	120	0.8	42.5	10.0	46.7	—
精神	2	—	—	50.0	50.0	—

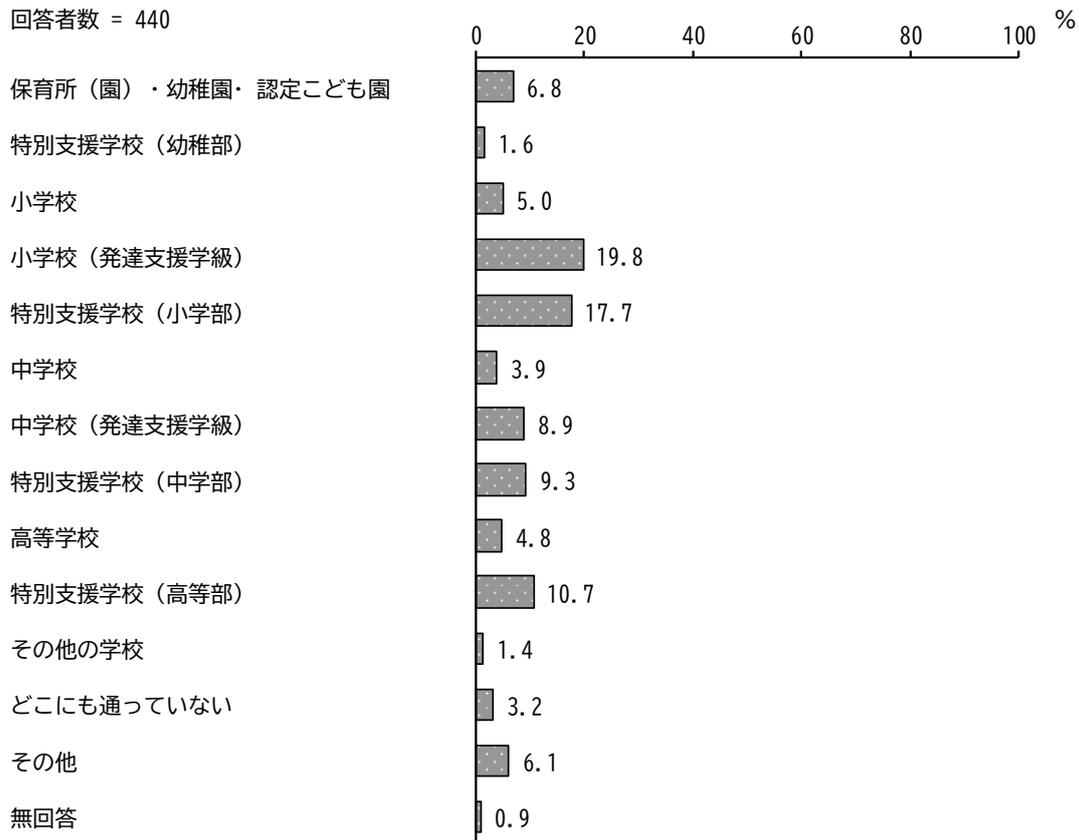
## 6 療育・教育について

(1) どの学校・学級等に通っていますか。(単数回答)

【18歳未満 問37】

18歳未満

「小学校（発達支援学級）」の割合が19.8%と最も高く、次いで「特別支援学校（小学部）」の割合が17.7%、「特別支援学校（高等部）」の割合が10.7%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、身体障害者手帳で「特別支援学校（小学部）」の割合が最も高くなっています。また、療育手帳で「小学校（発達支援学級）」の割合が最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳で「中学校（発達支援学級）」の割合が最も高くなっています。

単位：％

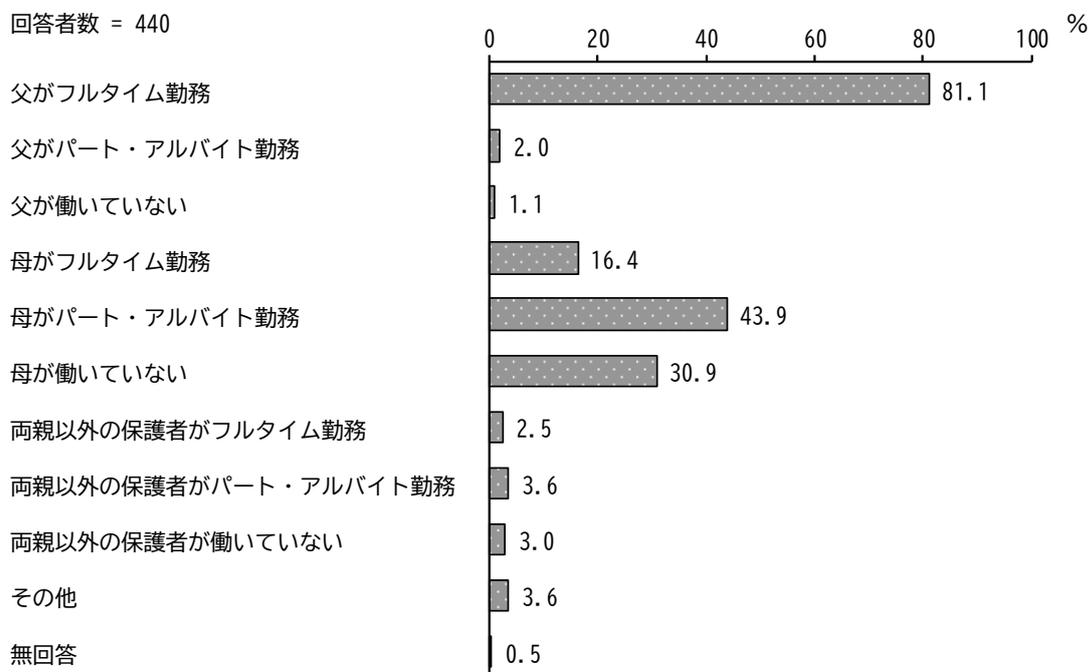
区分	回答者数 (件)	保育所（園）・幼稚園・認定こども園	特別支援学校（幼稚部）	小学校	小学校（発達支援学級）	特別支援学校（小学部）	中学校	中学校（発達支援学級）	特別支援学校（中学部）	高等学校	特別支援学校（高等部）	その他の学校	どこにも通っていない	その他	無回答
身体	113	6.2	3.5	8.0	5.3	28.3	6.2	0.9	11.5	5.3	6.2	—	8.0	8.0	2.7
療育	388	6.7	1.5	2.8	21.1	18.8	3.1	8.5	10.3	4.1	11.9	1.5	2.1	6.4	1.0
精神	26	7.7	—	11.5	19.2	—	3.8	23.1	—	11.5	11.5	—	3.8	7.7	—

(2) 保護者やご家族の方の就労状況（複数回答）

【18歳未満 問38】

18歳未満

「父がフルタイム勤務」の割合が81.1%と最も高く、次いで「母がパート・アルバイト勤務」の割合が43.9%、「母が働いていない」の割合が30.9%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「父がフルタイム勤務」の割合が最も高くなっています。

単位：%

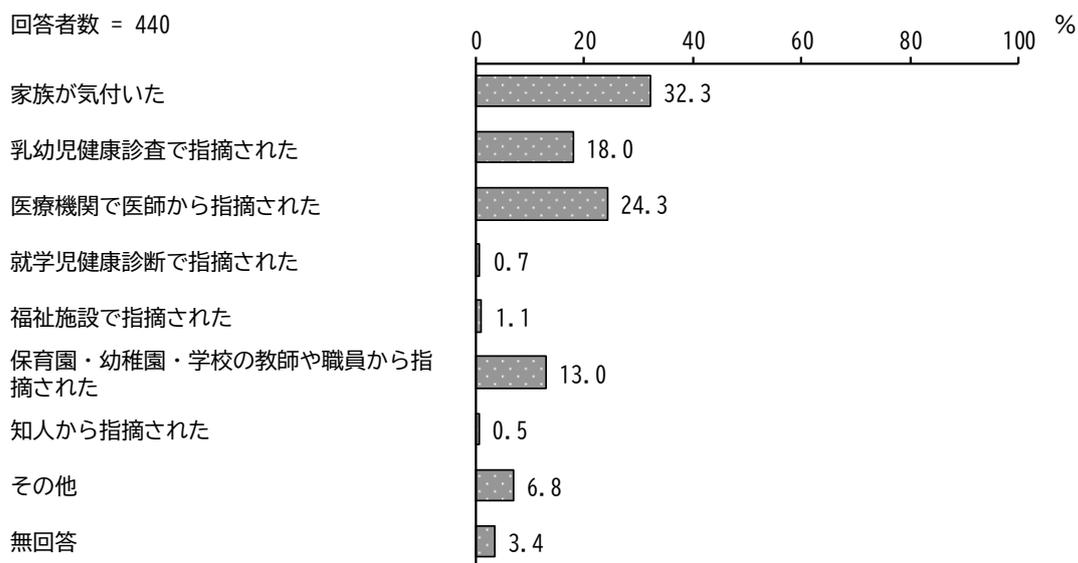
区分	回答者数 (件)	父がフルタイム勤務	父がパート・アルバイト勤務	父が働いていない	母がフルタイム勤務	母がパート・アルバイト勤務	母が働いていない	両親以外の保護者がフルタイム勤務	両親以外の保護者がパート・アルバイト勤務	両親以外の保護者が働いていない	その他	無回答
身体	113	82.3	3.5	—	12.4	46.9	35.4	0.9	—	1.8	2.7	—
療育	388	81.4	2.1	1.3	16.2	43.3	30.7	2.3	3.6	3.1	3.9	0.3
精神	26	65.4	3.8	—	23.1	38.5	34.6	3.8	3.8	3.8	—	3.8

(3) 発達の不安や障がいに気付いたきっかけは何ですか。(単数回答)

【18歳未満 問39】

18歳未満

「家族が気付いた」の割合が32.3%と最も高く、次いで「医療機関で医師から指摘された」の割合が24.3%、「乳幼児健康診査で指摘された」の割合が18.0%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別で見ると、身体障害者手帳で「医療機関で医師から指摘された」の割合が最も高くなっています。療育手帳と精神障害者保健福祉手帳で「家族が気付いた」の割合が最も高くなっています。

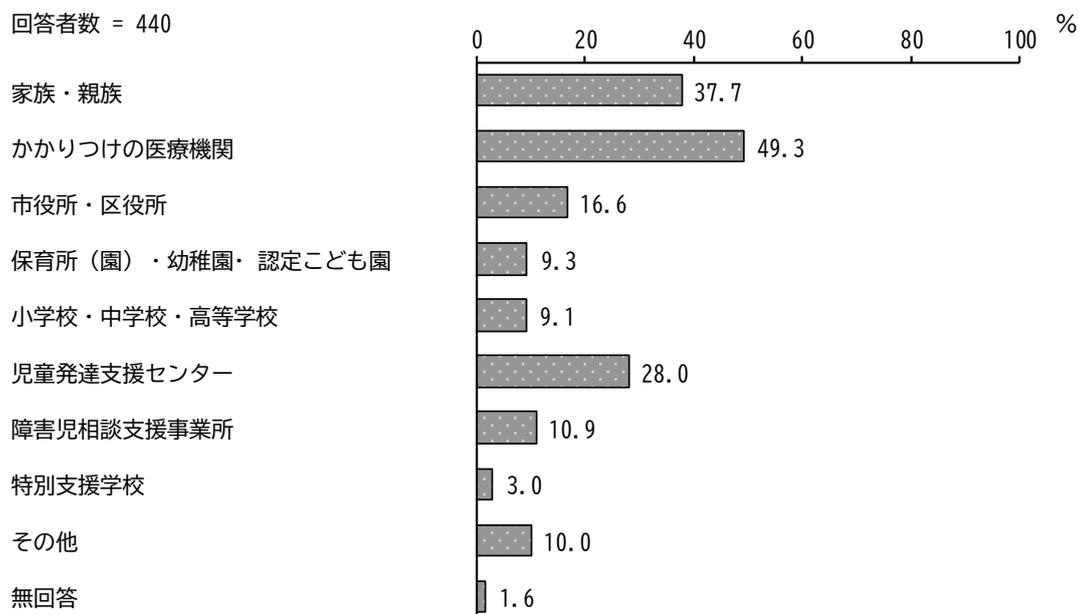
単位：%

区分	回答者数 (件)	家族が気付いた	乳幼児健康診査で指摘された	医療機関で医師から指摘された	就学児健康診断で指摘された	福祉施設で指摘された	保育園・幼稚園・学校の教師や職員から指摘された	知人から指摘された	その他	無回答
身体	113	24.8	10.6	41.6	—	—	5.3	0.9	15.0	1.8
療育	388	32.2	18.0	23.7	0.8	1.3	13.1	0.5	7.0	3.4
精神	26	38.5	11.5	19.2	3.8	—	19.2	—	3.8	3.8

(4) 発達の不安や障がいに気付いたとき誰に（どこに）相談しましたか。（複数回答）  
【18歳未満 問40】

18歳未満

「かかりつけの医療機関」の割合が49.3%と最も高く、次いで「家族・親族」の割合が37.7%、「児童発達支援センター」の割合が28.0%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「かかりつけの医療機関」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	家族・親族	かかりつけの医療機関	市役所・区役所	保育所(園)・幼稚園・認定こども園	小学校・中学校・高等学校	児童発達支援センター	障害児相談支援事業所	特別支援学校	その他	無回答
身体	113	35.4	69.0	15.0	3.5	2.7	15.0	11.5	5.3	10.6	1.8
療育	388	38.9	47.7	17.5	9.8	9.3	30.2	11.9	2.8	9.0	1.3
精神	26	15.4	57.7	15.4	3.8	15.4	19.2	3.8	—	11.5	3.8

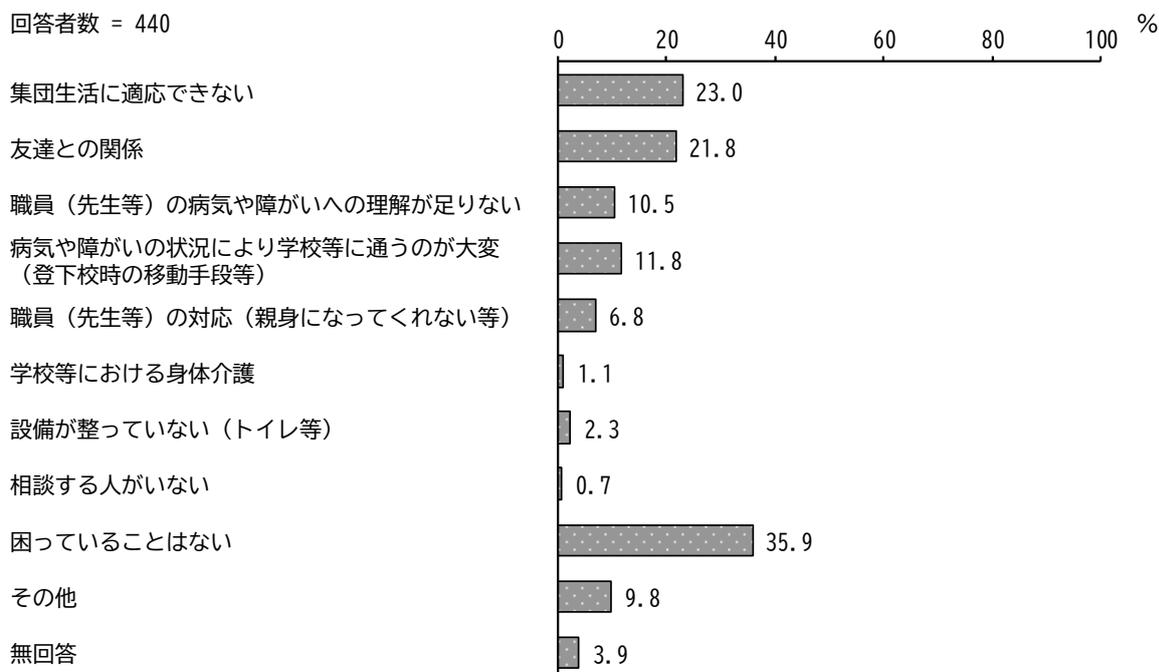
(5) 保育所(園)・幼稚園、学校等に通うなかで、困っていることは何ですか。(複数回答)

【18歳未満 問41】

18歳未満

「困っていることはない」の割合が35.9%と最も高く、次いで「集団生活に適応できない」の割合が23.0%、「友達との関係」の割合が21.8%となっています。

回答者数 = 440



【手帳種別】

手帳の種別でみると、身体障害者手帳と療育手帳で「困っていることはない」の割合が最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳で「集団生活に適応できない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	集団生活に適応できない	友達との関係	職員(先生等)の病気や障がいへの理解が足りない	病気や障がいの状況により学校等に通うのが大変(登下校時の移動手段等)	職員(先生等)の対応(親身になってくれない等)	学校等における身体介護	設備が整っていない(トイレ等)	相談する人がいない	困っていることはない	その他	無回答
身体	113	8.8	7.1	9.7	21.2	6.2	2.7	1.8	0.9	41.6	16.8	4.4
療育	388	22.7	23.2	10.1	12.1	7.0	1.3	2.3	0.8	34.5	9.5	4.1
精神	26	53.8	23.1	11.5	11.5	3.8	—	—	—	30.8	3.8	—

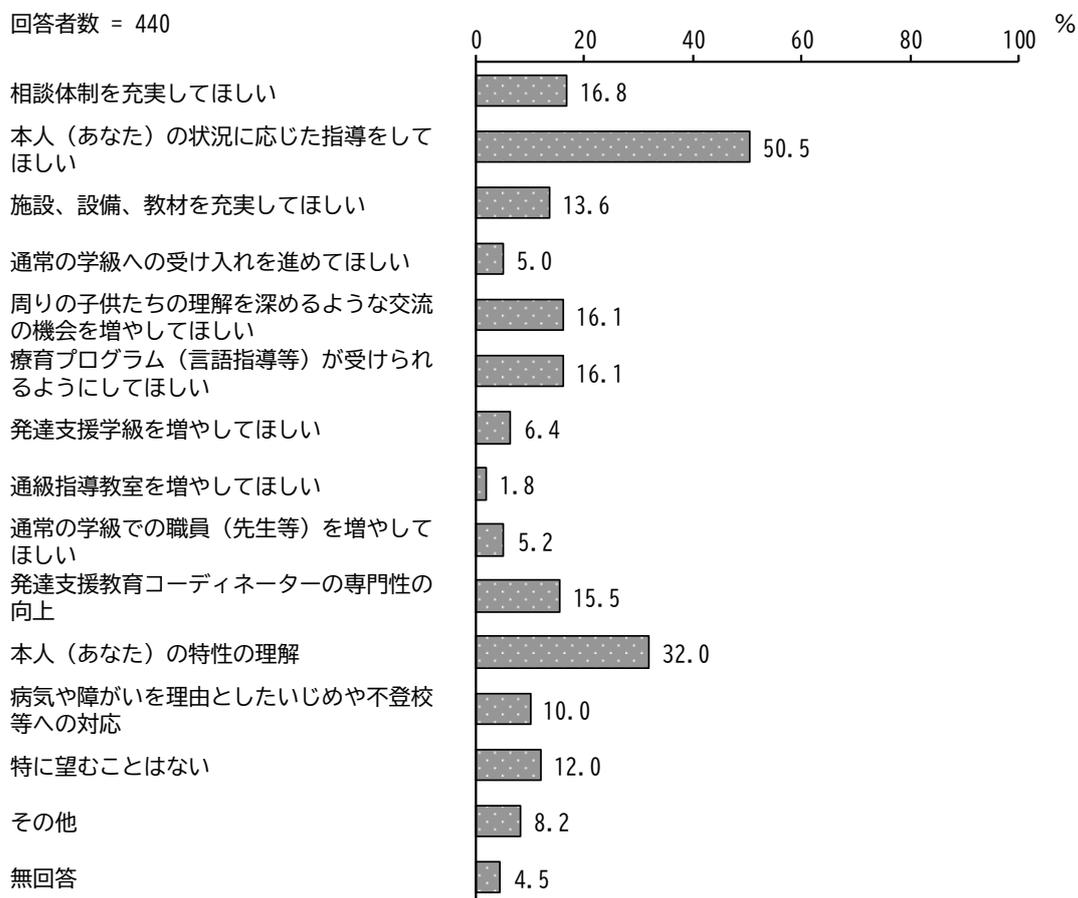
(6) 保育所(園)・幼稚園、学校等に望むことは何ですか。(複数回答)

【18歳未満 問42】

18歳未満

「本人の状況に応じた指導をしてほしい」の割合が50.5%と最も高く、次いで「本人の特性の理解」の割合が32.0%、「相談体制を充実してほしい」の割合が16.8%となっています。

回答者数 = 440



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「本人の状況に応じた指導をしてほしい」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	相談体制を充実してほしい	本人（あなた）の状況に応じた指導をしてほしい	施設、設備、教材を充実してほしい	通常の学級への受け入れを進めてほしい	周りの子供たちの理解を深めるような交流の機会を増やしてほしい	療育プログラム（言語指導等）が受けられるようにしてほしい	発達支援学級を増やしてほしい	通級指導教室を増やしてほしい
身体	113	16.8	39.8	22.1	1.8	14.2	10.6	4.4	—
療育	388	16.8	51.8	12.4	5.4	16.5	17.3	6.7	2.1
精神	26	26.9	42.3	11.5	7.7	11.5	7.7	7.7	3.8

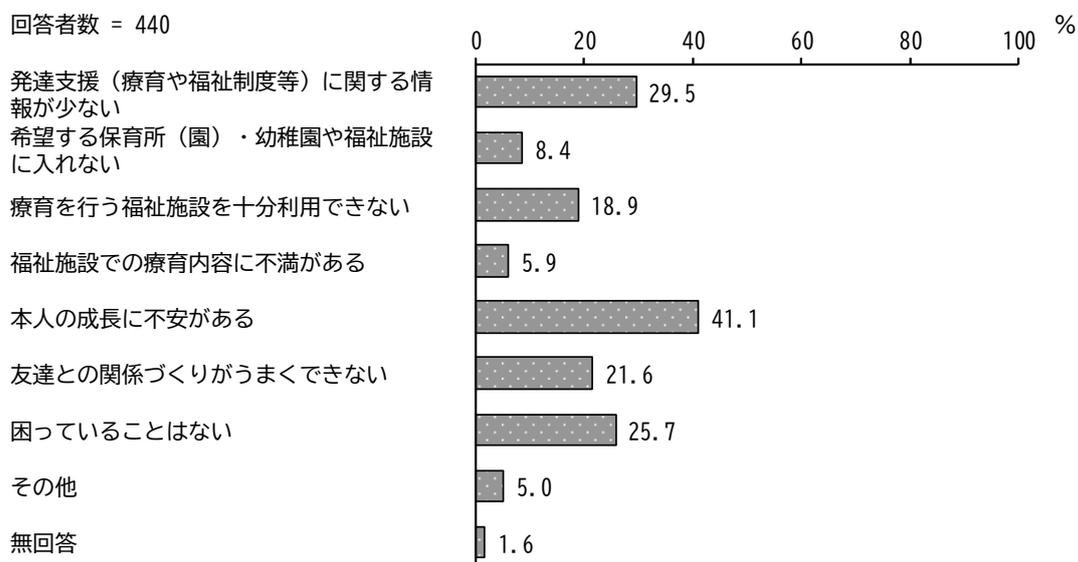
区分	回答者数 (件)	通常の学級での職員（先生等）を増やしてほしい	発達支援教育コーディネーターの専門性の向上	本人（あなた）の特性の理解	病気や障がいや理由としたいじめや不登校等への対応	特に望むことはない	その他	無回答
身体	113	4.4	8.0	29.2	8.8	15.9	11.5	4.4
療育	388	4.9	16.5	32.7	9.8	11.9	8.0	4.4
精神	26	7.7	11.5	26.9	19.2	7.7	7.7	7.7

(7) 発達に関する支援について困っていること（複数回答）

【18歳未満 問43】

18歳未満

「本人の成長に不安がある」の割合が41.1%と最も高く、次いで「発達支援（療育や福祉制度等）に関する情報が少ない」の割合が29.5%、「困っていることはない」の割合が25.7%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別で見ると、身体障害者手帳で「困っていることはない」の割合が最も高くなっています。療育手帳と精神障害者保健福祉手帳で「本人の成長に不安がある」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	発達支援（療育や福祉制度等）に関する情報が少ない	希望する保育所（園）・幼稚園や福祉施設に入れない	療育を行う福祉施設を十分利用できない	福祉施設での療育内容に不満がある	本人の成長に不安がある	友達との関係づくりがうまくできない	困っていることはない	その他	無回答
身体	113	25.7	8.8	19.5	6.2	27.4	5.3	37.2	2.7	4.4
療育	388	30.9	9.0	19.6	5.9	41.8	21.9	23.2	4.9	1.5
精神	26	26.9	11.5	19.2	11.5	46.2	42.3	26.9	7.7	—

## 7 学習について

(1) あなたは、地域で開催される講座に通ったことがありますか。

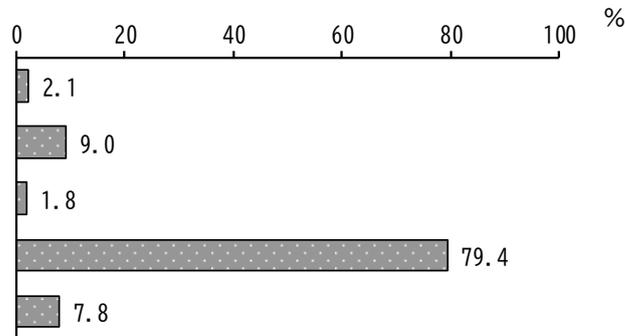
【18歳以上 問39】

18歳以上

「通っていない」の割合が79.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,061

現在通っている



以前通ったことがある

通いたい通えていない

通っていない

無回答

【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「通っていない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	現在通っている	以前通ったことがある	通いたい通えていない	通っていない	無回答
身体	748	2.3	9.8	1.7	77.3	9.0
療育	242	0.4	4.5	0.8	86.0	8.3
精神	216	2.8	6.5	2.8	80.6	7.4

(2) 地域で開催される講座に通うなかで、困っていることは何ですか。

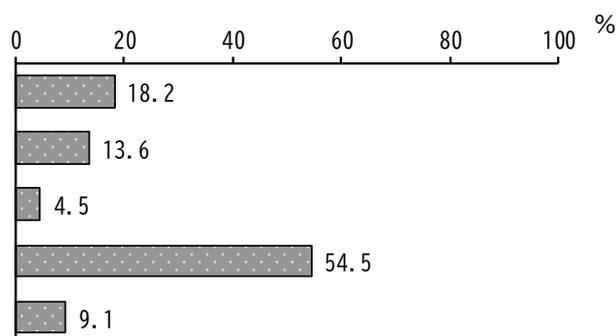
【18歳以上 問40】

18歳以上

現在通っている人 (22人) のうち、「困っていることはない」の割合が54.5%と最も高く、次いで「会場までの移動が難しい」の割合が18.2%、「講座中の支援が必要」の割合が13.6%となっています。

回答者数 = 22

会場までの移動が難しい



講座中の支援が必要

会場の設備が整っていない

困っていることはない

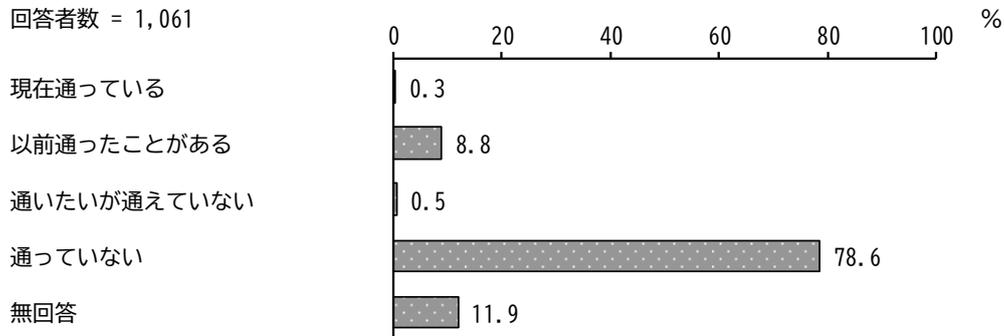
無回答

(3) あなたは、大学や専門学校に通っていますか。

【18歳以上 問41】

18歳以上

「通っていない」の割合が78.6%と最も高くなっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「通っていない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

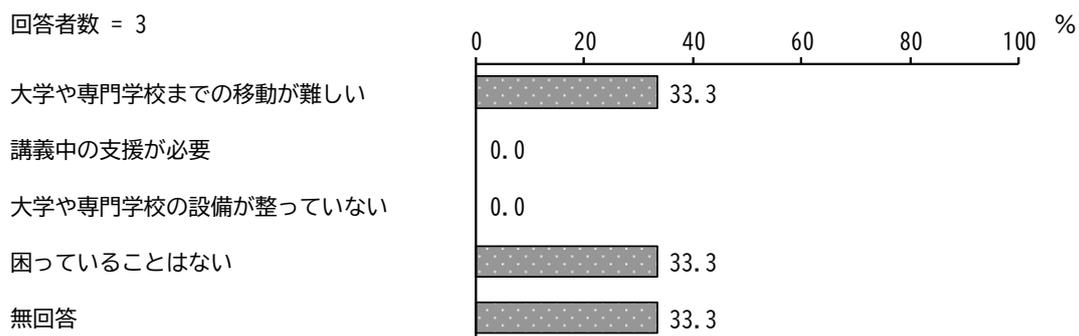
区分	回答者数 (件)	現在通っている	以前通ったことがある	通いたいが通えていない	通っていない	無回答
身体	748	0.4	6.8	0.1	78.3	14.3
療育	242	0.4	2.1	—	88.4	9.1
精神	216	—	20.8	1.9	69.9	7.4

(4) 大学や専門学校に通うなかで、困っていることは何ですか。

【18歳以上 問42】

18歳以上

現在通っている人（3人）のうち、困っていることは「大学や専門学校までの移動が難しい」となっています。



## 8 障害福祉サービス等の利用について

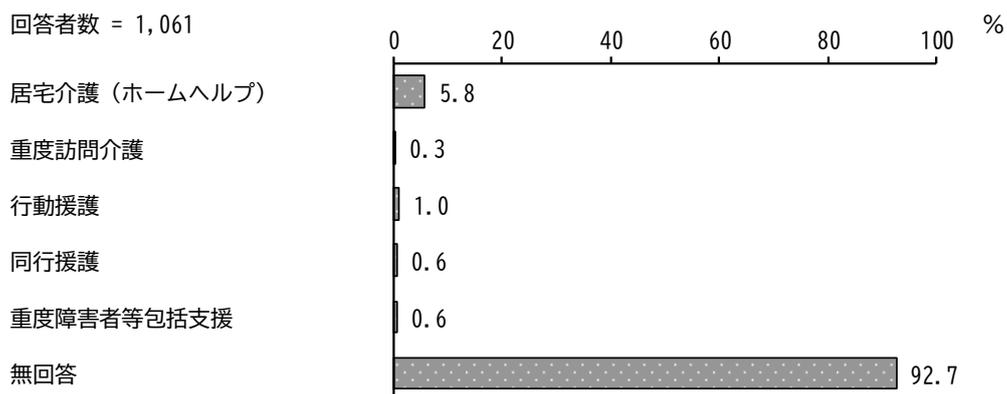
### (1) 訪問系サービスの利用状況

【18歳以上 問43】

#### ①現在、利用している

18歳以上

訪問系サービスの利用者のうち、「居宅介護（ホームヘルプ）」の割合が5.8%と最も高くなっています。



#### 【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「居宅介護（ホームヘルプ）」の割合が高くなっています。

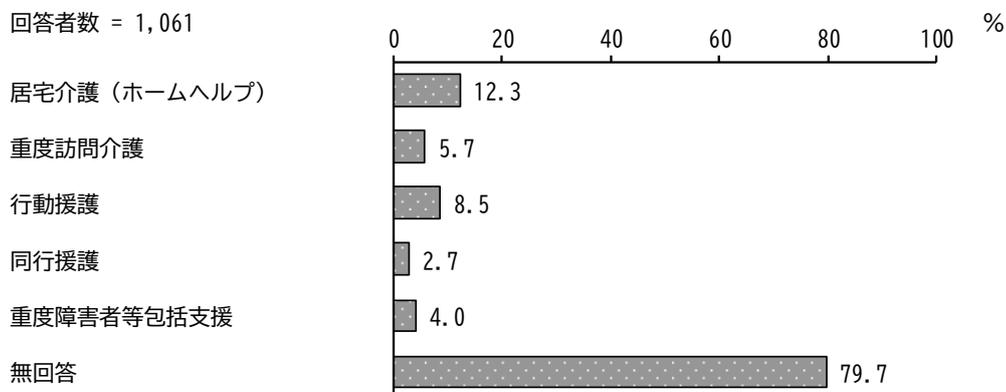
単位：%

区分	回答者数 (件)	居宅介護 (ホームヘルプ)	重度訪問介護	行動援護	同行援護	重度障害者等包括支援	無回答
身体	748	6.0	0.4	1.2	0.8	0.7	92.4
療育	242	6.6	0.4	1.7	0.4	1.2	90.9
精神	216	6.5	—	0.9	—	—	93.1

②今後、利用したい（3年以内）

18歳以上

今後利用したいサービスのうち、「居宅介護（ホームヘルプ）」の割合が12.3%と最も高くなっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳で「居宅介護（ホームヘルプ）」の割合が最も高く、療育手帳で「行動援護」の割合が最も高くなっています。

単位：%

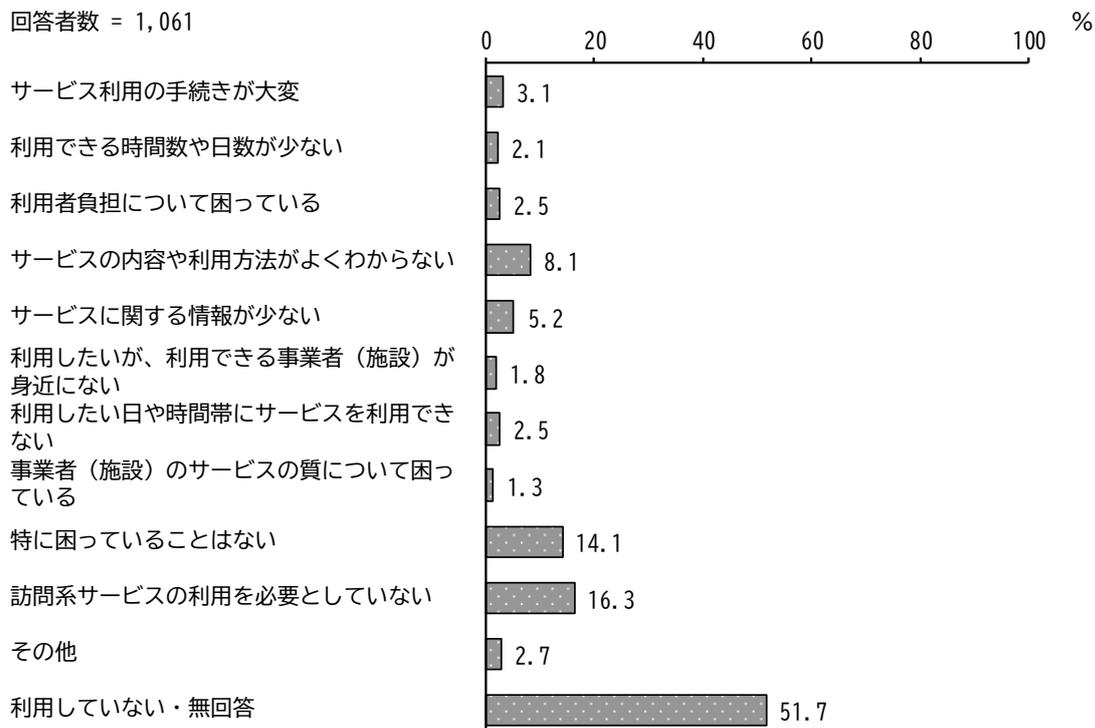
区分	回答者数 (件)	居宅介護 (ホームヘルプ)	重度訪問介護	行動援護	同行援護	重度障害者等包括支援	無回答
身体	748	13.6	6.7	8.4	3.5	5.1	78.7
療育	242	11.2	6.6	12.0	3.7	4.5	78.1
精神	216	10.6	4.2	7.4	1.9	2.8	81.9

(2) 訪問系サービスの利用に関して困っていること（複数回答）

【18歳以上 問44】

18歳以上

訪問系サービスの利用者のうち、「訪問系サービスの利用を必要としていない」の割合が16.3%と最も高く、次いで「特に困っていることはない」の割合が14.1%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳で「訪問系サービスの利用を必要としていない」の割合が最も高く、療育手帳で「特に困っていることはない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	サービス利用の手続きが大変	利用できる時間数や日数が少ない	利用者負担について困っている	サービスの内容や利用方法がよくわからない	サービスに関する情報が少ない	利用したいが、利用できる事業者(施設)が身近にない
身体	748	3.5	1.9	2.5	7.8	5.7	1.5
療育	242	3.7	3.7	2.9	8.3	5.0	2.5
精神	216	3.7	2.3	3.2	9.3	4.2	1.4

区分	回答者数 (件)	利用したい日や時間帯にサービスを利用できない	事業者(施設)のサービスの質について困っている	特に困っていることはない	訪問系サービスの利用を必要としていない	その他	無回答
身体	748	2.7	1.3	15.0	15.4	2.9	51.6
療育	242	4.5	1.2	14.9	11.2	3.3	52.9
精神	216	0.9	1.9	14.4	21.8	3.2	45.8

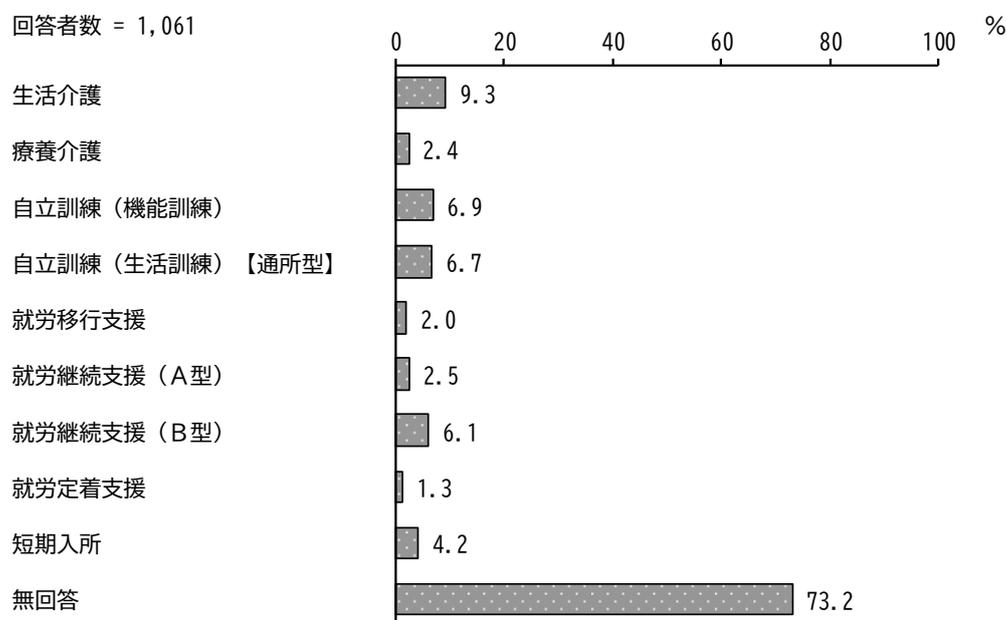
### (3) 日中活動系サービスの利用状況

【18歳以上 問45】

#### ①現在、利用している

18歳以上

日中活動系サービスの利用者のうち、「生活介護」の割合が9.3%と最も高くなっています。



#### 【手帳種別】

手帳の種別で見ると、身体障害者手帳、療育手帳では「生活介護」、「自立訓練(機能訓練)」の割合が最も高く、精神障害者保健福祉手帳では「就労継続支援(B型)」の割合が最も高くなっています。

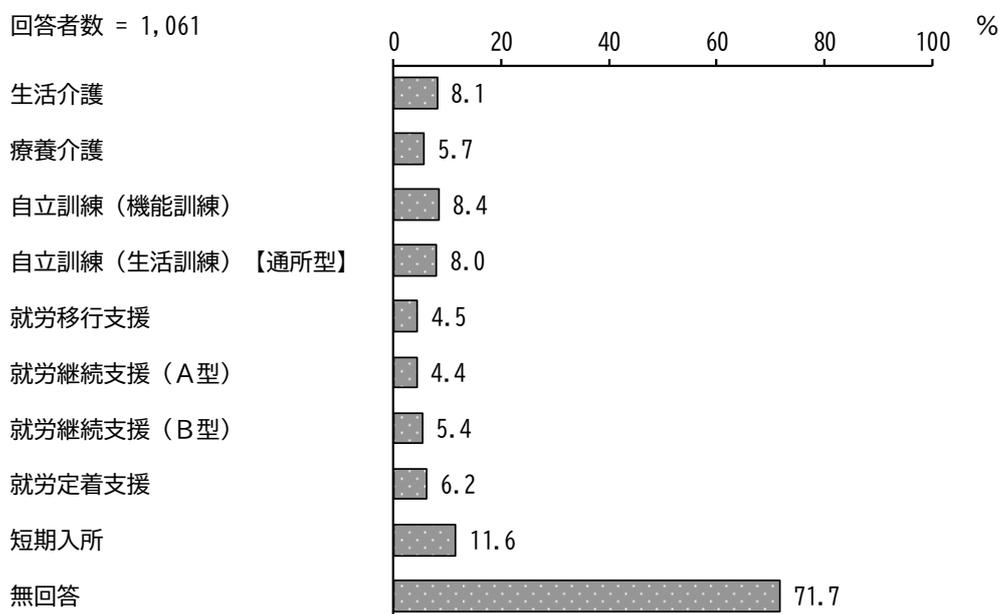
単位：%

区分	回答者数(件)	生活介護	療養介護	自立訓練(機能訓練)	自立訓練(生活訓練)【通所型】	就労移行支援	就労継続支援(A型)	就労継続支援(B型)	就労定着支援	短期入所	無回答
身体	748	7.9	3.1	7.9	7.5	0.7	1.1	1.9	0.4	3.6	79.5
療育	242	25.2	3.7	7.9	9.1	2.9	4.1	16.5	2.1	11.2	47.5
精神	216	4.6	1.4	4.2	3.7	5.6	8.3	9.7	4.2	2.8	70.4

②今後、利用したい（3年以内）

18歳以上

今後利用したいサービスのうち、「短期入所」の割合が11.6%と最も高くなっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、身体障害者手帳と療育手帳で「短期入所」の割合が最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳で「就労定着支援」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	生活介護	療養介護	自立訓練 (機能訓練)	自立訓練 (生活訓練) 【通所型】	就労移行支援	就労継続支援 (A型)	就労継続支援 (B型)	就労定着支援	短期入所	無回答
身体	748	8.7	6.0	9.2	8.6	2.5	2.7	2.5	3.1	11.5	75.1
療育	242	12.4	5.4	6.2	7.9	7.9	7.4	9.5	8.7	15.7	63.6
精神	216	4.2	5.1	7.9	6.9	8.8	8.8	9.7	16.7	7.4	66.2

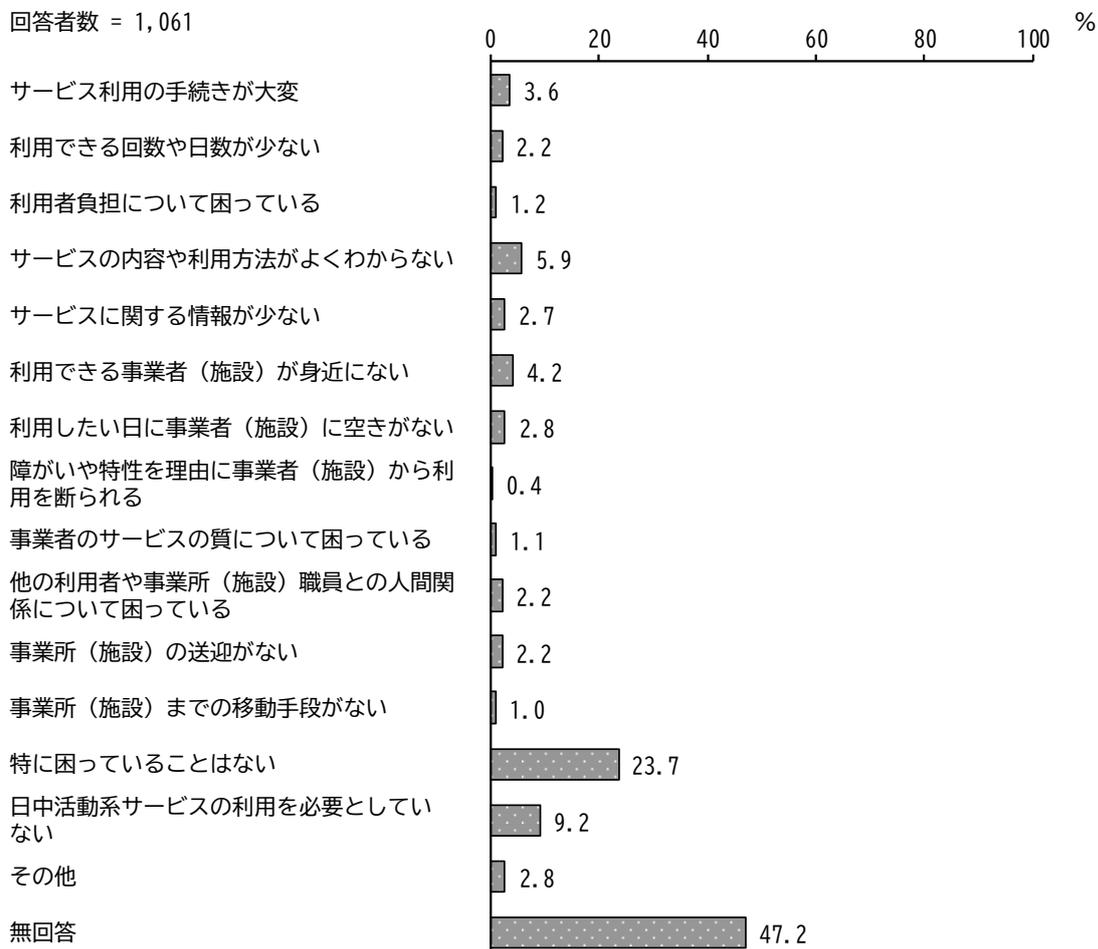
(4) 日中活動系サービスの利用に関して困っていること (複数回答)

【18歳以上 問46】

18歳以上

「特に困っていることはない」の割合が23.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,061



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「特に困っていることはない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	サービス利用の手続きが大変	利用できる回数や日数が少ない	利用者負担について困っている	サービスの内容や利用方法がよくわからない	サービスに関する情報が少ない	利用できる事業者（施設）が身近にない	利用したい日に事業者（施設）に空きがない	障がいや特性を理由に事業者（施設）から利用を断られる	事業者のサービスの質について困っている	他の利用者や事業所（施設）職員の人間関係について困っている	事業所（施設）の送迎がない	事業所（施設）までの移動手段がない	特に困っていることはない	日中活動系サービスの利用を必要としていない	その他	無回答
身体	748	3.1	2.1	1.3	5.3	2.5	3.6	2.8	0.3	0.9	0.8	1.3	0.8	21.0	8.8	2.7	52.8
療育	242	4.1	3.3	0.8	6.6	2.5	6.6	5.0	-	1.7	3.3	5.8	1.2	31.4	3.7	4.1	36.0
精神	216	3.7	1.4	0.9	7.9	3.7	5.6	3.2	0.9	1.9	4.6	3.7	1.9	24.5	13.0	4.2	37.0

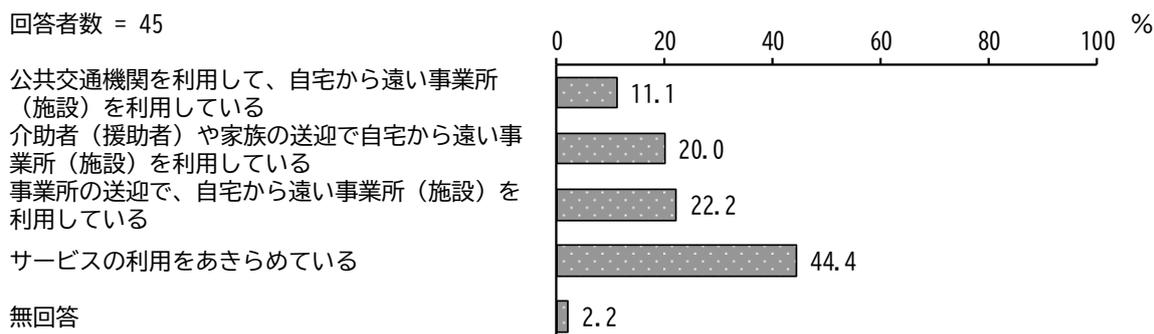
(5) 日中活動系サービスの事業者（施設）が身近にないときのサービスの利用について（単数回答）

【18歳以上 問46(1)・18歳未満 問45(1)】

18歳以上

日中活動系サービスの利用にあたって、事業者（施設）が身近になく困っている人（45人）の内、「サービスの利用をあきらめている」の割合が44.4%と最も高く、次いで「事業所の送迎で、自宅から遠い事業所（施設）を利用している」の割合が22.2%、「介助者（援助者）や家族の送迎で自宅から遠い事業所（施設）を利用している」の割合が20.0%となっています。

回答者数 = 45



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「サービスの利用をあきらめている」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	公共交通機関を利用して、自宅から遠い事業所（施設）を利用している	介助者（援助者）や家族の送迎で自宅から遠い事業所（施設）を利用している	事業所の送迎で、自宅から遠い事業所（施設）を利用している	サービスの利用をあきらめている	無回答
身体	27	7.4	22.2	25.9	44.4	—
療育	16	18.8	25.0	25.0	31.3	—
精神	12	16.7	8.3	—	66.7	8.3

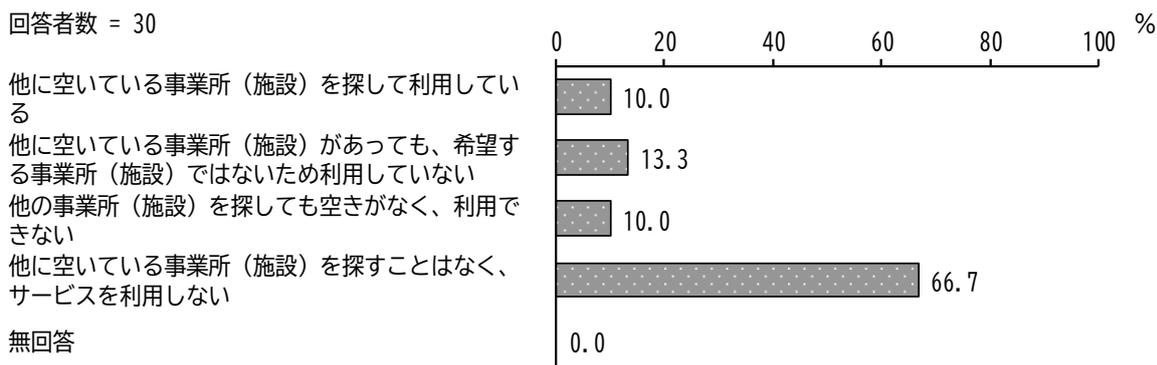
(6) 利用したい日に事業者（施設）に空きがないときのサービスの利用についてお答えください。(単数回答)

【18歳以上 問46-2】

18歳以上

日中活動系サービスの利用にあたって、利用したい日に事業者（施設）に空きがなく困っている人（30人）の内、「他に空いている事業所（施設）を探すことはなく、サービスを利用しない」の割合が66.7%と最も高く、次いで「他に空いている事業所（施設）があっても、希望する事業所（施設）ではないため利用していない」の割合が13.3%となっています。

回答者数 = 30



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「他に空いている事業所（施設）を探すことはなく、サービスを利用しない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

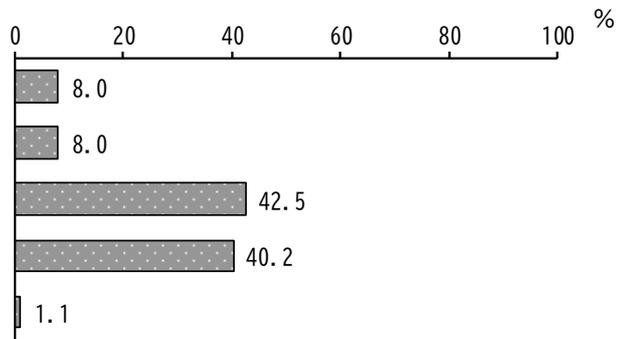
区分	回答者数 (件)	他に空いている事業所（施設）を探して利用している	他に空いている事業所（施設）があっても、希望する事業所（施設）ではないため利用していない	他の事業所（施設）を探しても空きがなく、利用できない	他に空いている事業所（施設）を探すことはなく、サービスを利用しない	無回答
身体	21	14.3	9.5	14.3	61.9	-
療育	12	16.7	16.7	16.7	50.0	-
精神	7	14.3	-	-	85.7	-

18歳未満

利用したい日に事業者（施設）に空きがなく困っている人（87人）の内、「他の事業所（施設）を探しても空きがなく、利用できない」の割合が42.5%と最も高く、次いで「他に空いている事業所（施設）を探すことはなく、サービスの利用をあきらめている」の割合が40.2%となっています。

回答者数 = 87

他に空いている事業所（施設）を探して利用している  
 他に空いている事業所（施設）があっても、希望する事業所（施設）ではないため利用していない  
 他の事業所（施設）を探しても空きがなく、利用できない  
 他に空いている事業所（施設）を探すことはなく、サービスの利用をあきらめている  
 無回答



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「他の事業所（施設）を探しても空きがなく、利用できない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	他に空いている事業所（施設）を探して利用している	他に空いている事業所（施設）があっても、希望する事業所（施設）ではないため利用していない	他の事業所（施設）を探しても空きがなく、利用できない	他に空いている事業所（施設）を探すことはなく、サービスの利用をあきらめている	無回答
身体	25	8.0	8.0	48.0	36.0	—
療育	82	8.5	8.5	42.7	39.0	1.2
精神	2	—	—	50.0	50.0	—

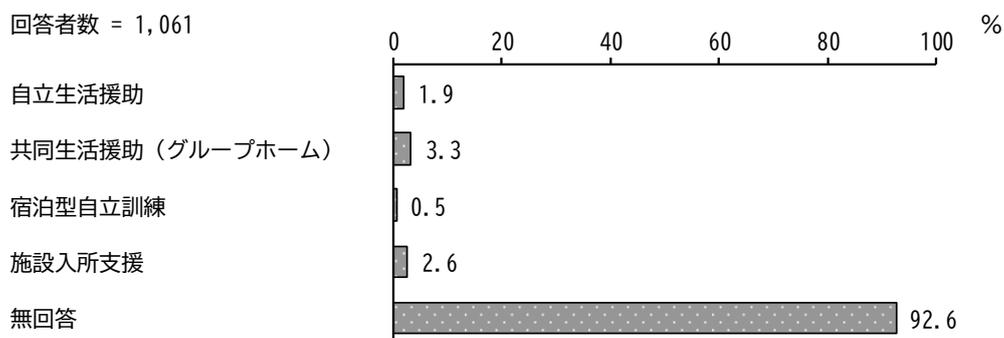
(7) 居住系サービスの利用状況

【18歳以上 問47】

①現在、利用している

18歳以上

居住系サービスの利用者のうち、「共同生活援助（グループホーム）」の割合が3.3%と最も高くなっています。



【手帳種別】

手帳の種別で見ると、身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳で「施設入所支援」の割合が最も高くなっています。療育手帳で「共同生活援助（グループホーム）」の割合が最も高くなっています。

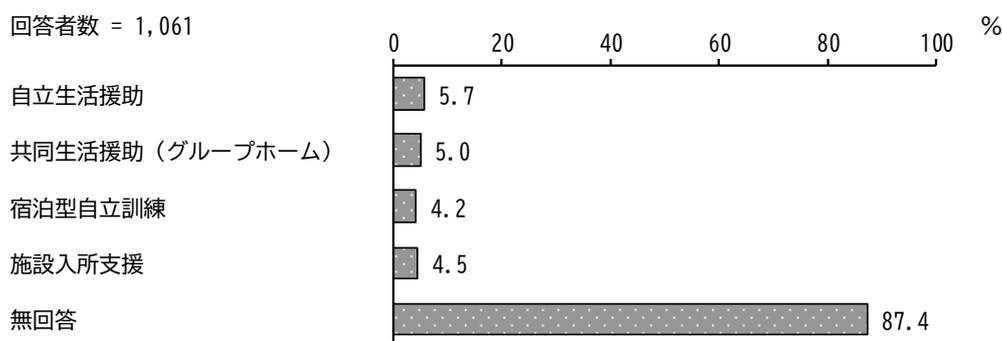
単位：%

区分	回答者数 (件)	自立生活援助	共同生活援助 (グループホーム)	宿泊型自立訓練	施設入所支援	無回答
身体	748	1.3	1.1	0.4	2.7	95.1
療育	242	5.4	11.6	1.2	5.4	79.3
精神	216	0.9	1.4	0.5	1.9	95.4

②今後、利用したい（3年以内）

18歳以上

「自立生活援助」の割合が5.7%と最も高くなっています。



【手帳種別】

手帳の種別で見ると、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳で「自立生活援助」の割合が最も高くなっています。また、療育手帳で「共同生活援助（グループホーム）」の割合が最も高くなっています。

単位：%

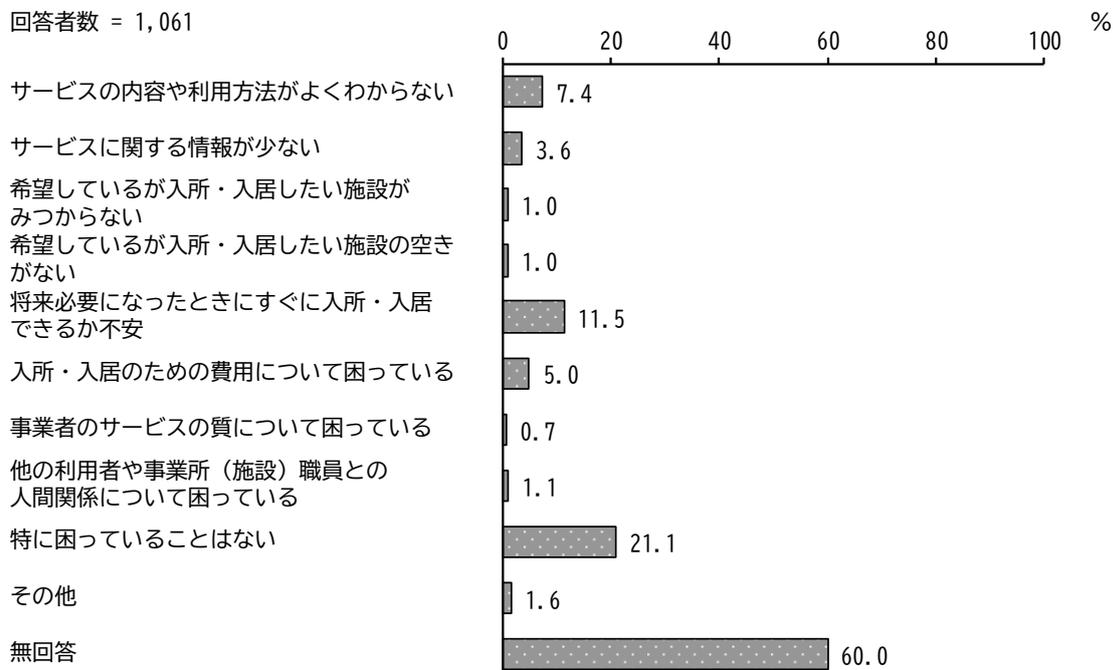
区分	回答者数 (件)	自立生活援助	共同生活援助（グループホーム）	宿泊型自立訓練	施設入所支援	無回答
身体	748	5.7	2.9	3.2	4.4	89.4
療育	242	7.9	11.2	7.9	7.9	76.9
精神	216	6.5	5.1	6.0	1.9	87.0

(8) 居住系サービスの利用に関して困っていること（複数回答）

【18歳以上 問48】

18歳以上

「特に困っていることはない」の割合が21.1%と最も高く、次いで「将来必要になったときにすぐに入所・入居できるか不安」の割合が11.5%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、すべての手帳で「特に困っていることはない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	サービスの内容や利用方法がよくわからない	サービスに関する情報が少ない	希望しているが入所・入居したい施設が見つからない	希望しているが入所・入居したい施設の空きがない	将来必要になったときにすぐに入所・入居できるか不安	入所・入居のための費用について困っている	事業者のサービスの質について困っている	他の利用者や事業所（施設）職員との人間関係について困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
身体	748	7.0	3.1	0.8	0.5	10.2	4.7	0.8	0.5	18.3	1.6	64.6
療育	242	7.9	4.5	2.5	3.3	16.9	6.6	0.8	2.5	21.9	2.5	50.8
精神	216	8.8	5.1	0.9	0.5	7.9	3.7	0.5	1.9	28.2	2.3	53.7

## (9) サービスの利用状況

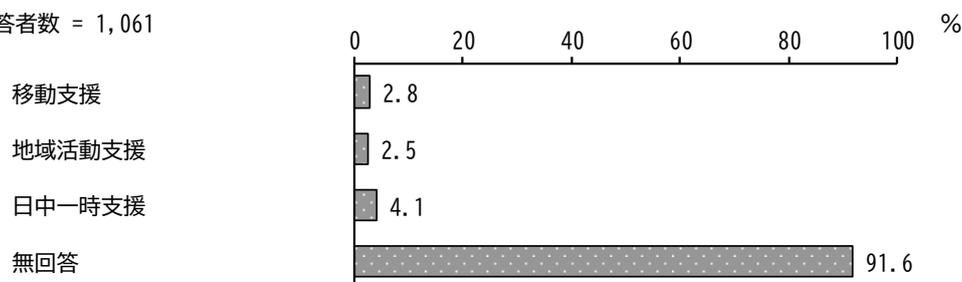
【18歳以上 問49】

### ①現在、利用している

18歳以上

移動支援、地域活動支援、日中一時支援のサービス利用者のうち、「日中一時支援」の割合が4.1%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,061



### 【手帳種別】

手帳の種別で見ると、身体障害者手帳、療育手帳では「日中一時支援」の割合が最も高く、精神障害者保健福祉手帳では「地域活動支援」の割合が最も高くなっています。

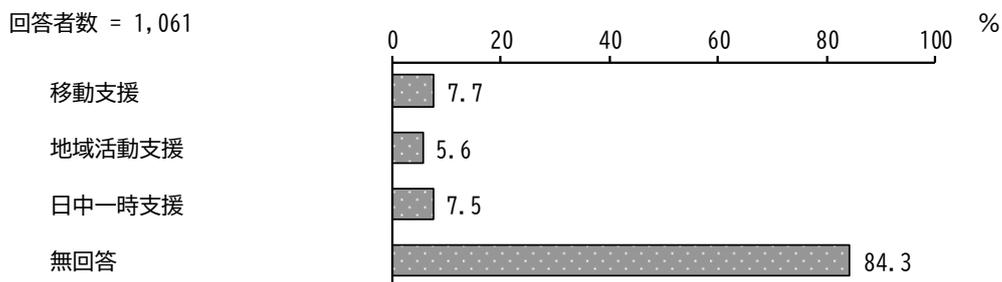
単位：%

区分	回答者数 (件)	移動支援	地域活動支援	日中一時支援	無回答
身体	748	2.3	1.9	3.7	93.0
療育	242	8.3	3.7	13.2	78.9
精神	216	2.8	4.6	1.4	92.1

②今後、利用したい（3年以内）

18歳以上

今後利用したいサービスのうち、「移動支援」の割合が7.7%と最も高くなっています。



【手帳種別】

手帳の種別で見ると、身体障害者手帳で「日中一時支援」の割合が最も高くなっています。療育手帳では、「移動支援」の割合が最も高くなっています。また、精神障害者保健福祉手帳で「地域活動支援」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	移動支援	地域活動支援	日中一時支援	無回答
身体	748	6.7	4.5	7.5	85.6
療育	242	13.6	6.6	12.0	76.4
精神	216	7.9	8.8	4.2	83.3

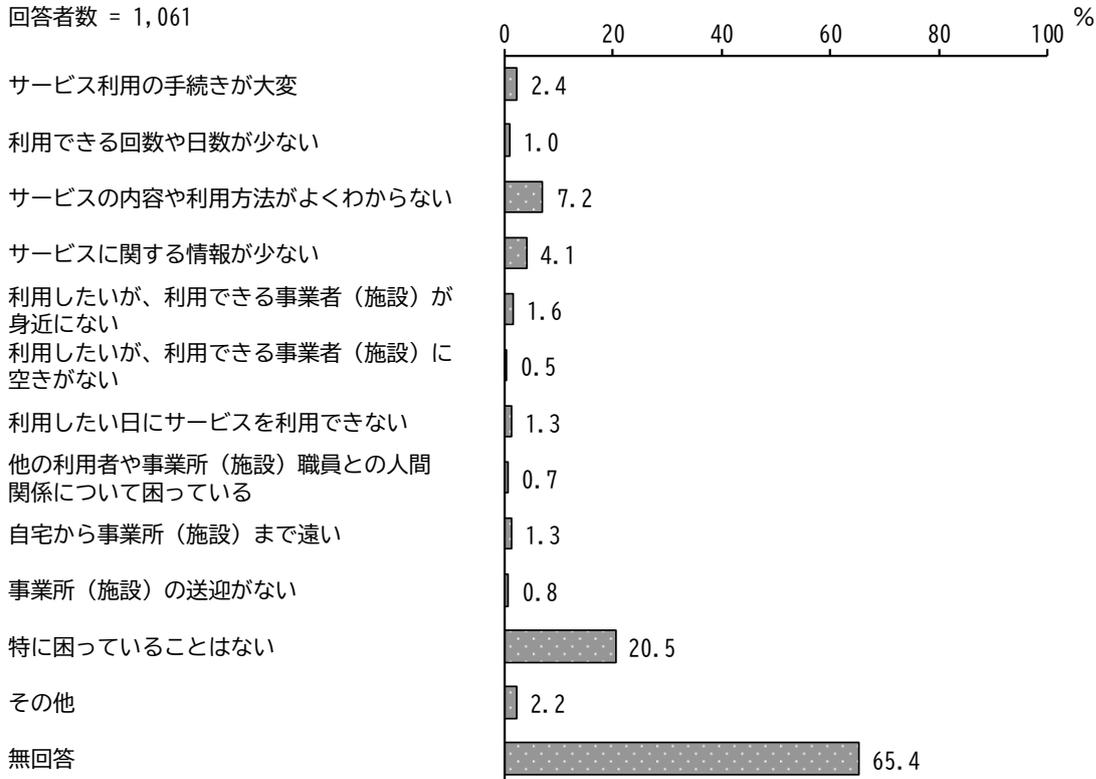
(10) サービスの利用に関して困っていることはありますか。(複数回答)

【18歳以上 問50】

18歳以上

「特に困っていることはない」の割合が20.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,061



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「特に困っていることはない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	サービス利用の手続きが大変	利用できる回数や日数が少ない	サービスの内容や利用方法がよくわからない	サービスに関する情報が少ない	利用したいが、利用できる事業者(施設)が身近にない	利用したいが、利用できる事業者(施設)に空きがない	利用したい日にサービスを利用できない	他の利用者や事業所(施設)職員との人間関係について困っている	自宅から事業所(施設)まで遠い	事業所(施設)の送迎がない	特に困っていることはない	その他	無回答
身体	748	2.4	1.1	6.7	3.7	1.1	0.5	1.3	0.4	0.9	0.5	17.4	1.9	69.5
療育	242	2.9	1.7	5.4	2.9	4.1	1.7	3.3	2.1	3.3	2.1	21.9	2.5	59.5
精神	216	3.7	0.9	9.7	6.0	1.9	—	—	0.9	1.4	0.9	27.8	2.8	56.5

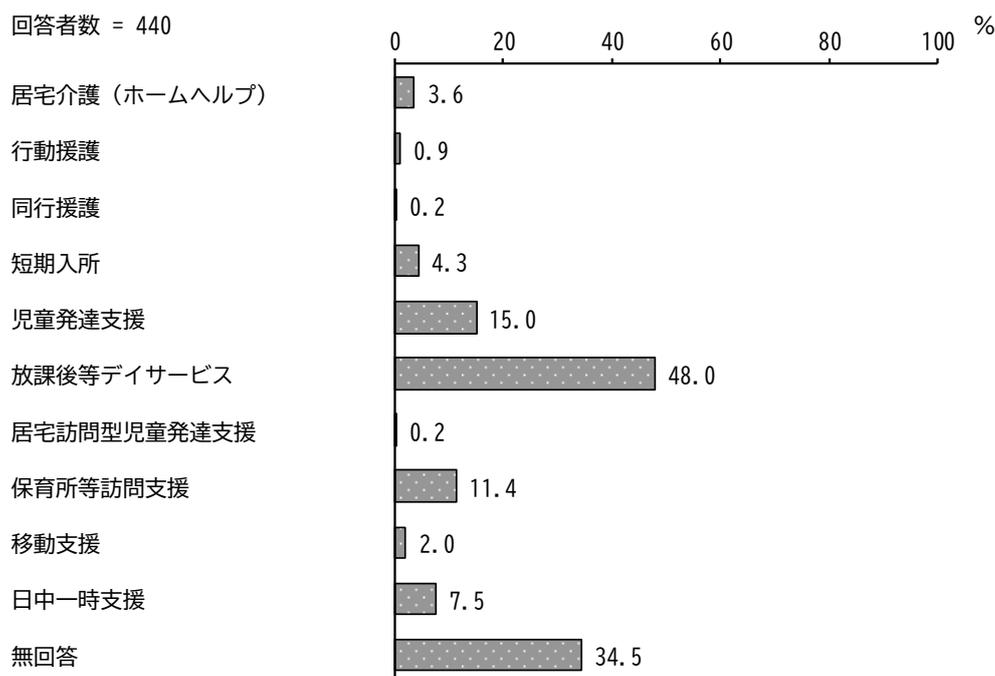
(11) サービスの利用状況

【18歳未満 問44】

①現在、利用している

18歳未満

居宅介護（ホームヘルプ）、行動援護、同行援護等のサービスの利用者のうち、「放課後等デイサービス」の割合が48.0%と最も高く、次いで「児童発達支援」の割合が15.0%、「保育所等訪問支援」の割合が11.4%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「放課後等デイサービス」の割合が最も高くなっています。

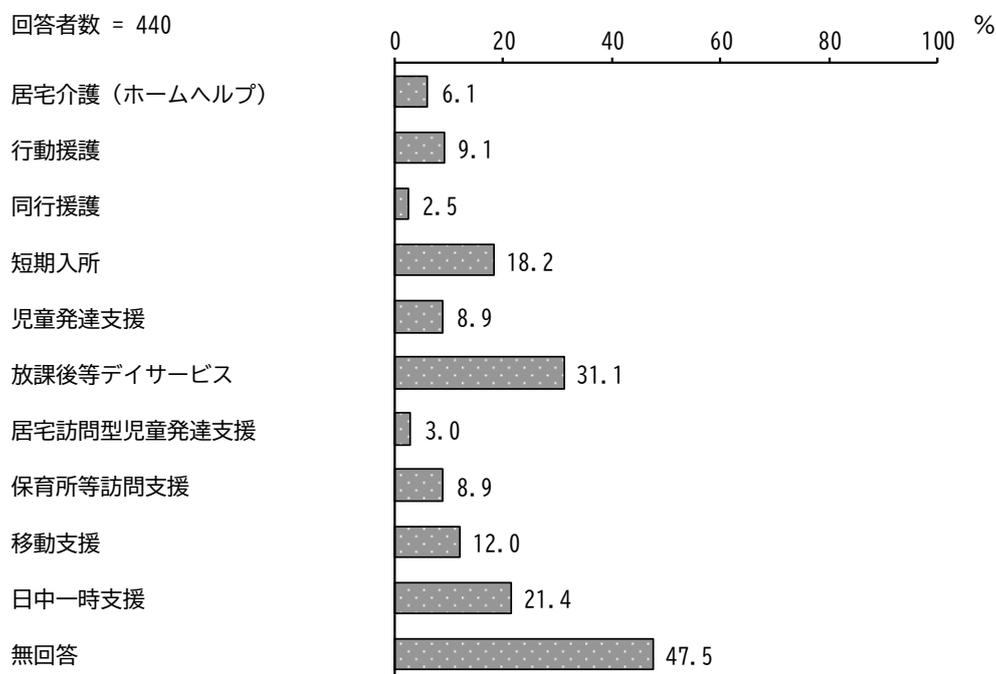
単位：%

区分	回答者数 (件)	居宅介護 (ホームヘルプ)	行動援護	同行援護	短期入所	児童発達支援	放課後等 デイサービス	居宅訪問型 児童発達支援	保育所等 訪問支援	移動支援	日中一時 支援	無回答
身体	113	11.5	0.9	—	12.4	16.8	40.7	0.9	8.0	1.8	11.5	36.3
療育	388	3.9	1.0	0.3	3.9	15.2	52.1	0.3	11.9	2.3	7.7	30.4
精神	26	—	—	—	—	15.4	19.2	—	15.4	—	3.8	65.4

②今後、利用したい（3年以内）

18歳未満

今後利用したいサービスのうち、「放課後等デイサービス」の割合が31.1%と最も高く、次いで「日中一時支援」の割合が21.4%、「短期入所」の割合が18.2%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、身体障害者手帳で「短期入所」の割合が最も高くなっています。療育手帳では、「放課後等デイサービス」の割合が最も高くなっています。また、精神障害者保健福祉手帳では「行動支援」「移動支援」「日中一時支援」の割合が最も高くなっています。

単位：%

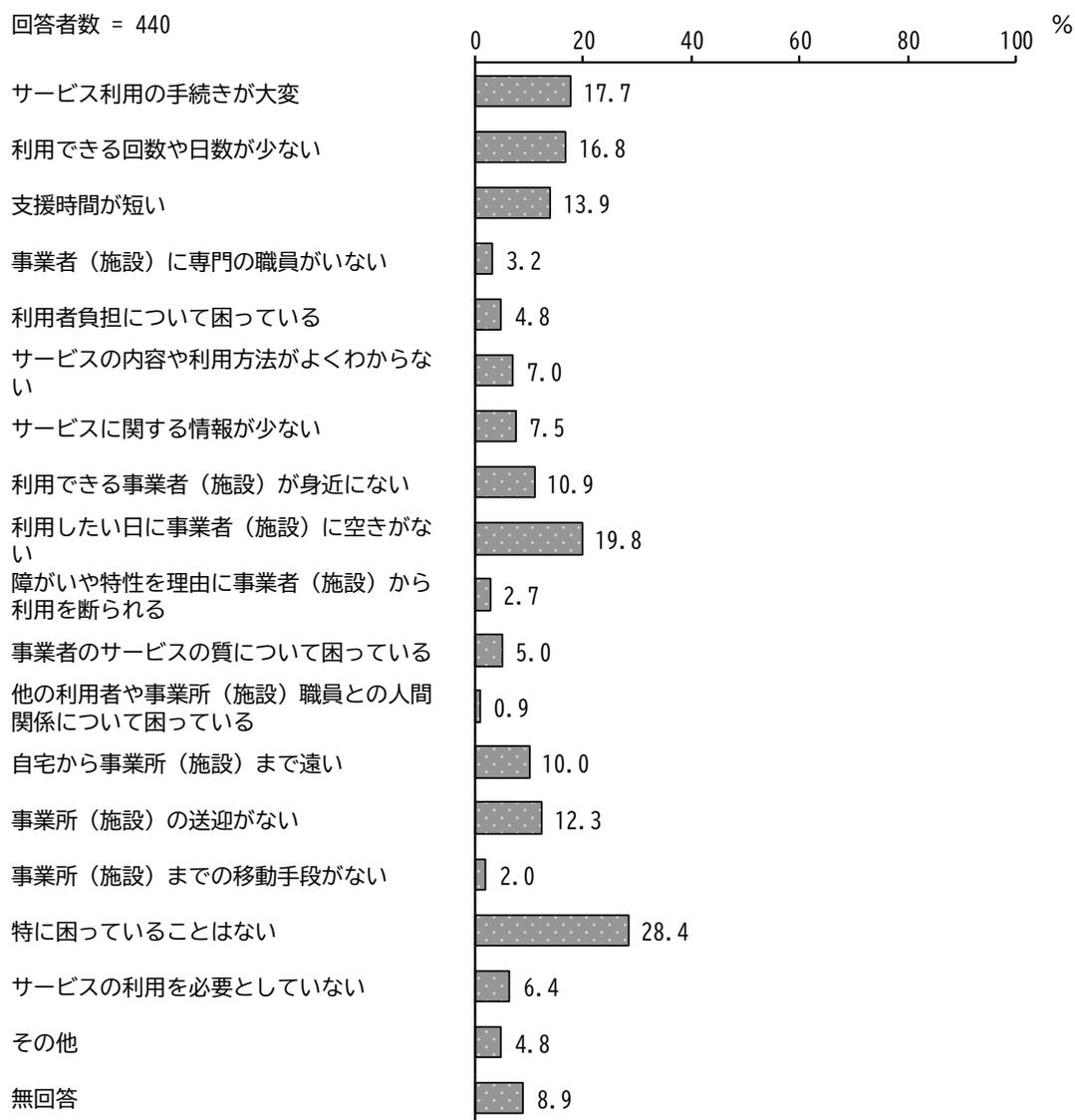
区分	回答者数 (件)	居宅介護 (ホームヘルプ)	行動援護	同行援護	短期入所	児童発達支援	放課後等デイサービス	居宅訪問型児童発達支援	保育所等訪問支援	移動支援	日中一時支援	無回答
身体	113	13.3	8.0	3.5	30.1	13.3	28.3	3.5	8.0	8.8	28.3	41.6
療育	388	5.7	9.3	2.8	18.3	8.5	33.2	3.1	9.5	12.4	21.9	44.8
精神	26	11.5	19.2	7.7	15.4	15.4	15.4	7.7	15.4	19.2	19.2	65.4

(12) サービスの利用に関して困っていることはありますか。(複数回答)

【18歳未満 問45】

18歳未満

サービスの利用で困っていることのうち、「特に困っていることはない」の割合が28.4%と最も高く、次いで「利用したい日に事業者（施設）に空きがない」の割合が19.8%、「サービス利用の手続きが大変」の割合が17.7%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別で見ると、身体障害者手帳と療育手帳で「特に困っていることはない」の割合が最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳で「サービスの利用を必要としていない」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	サービス利用の手続きが大変	利用できる回数や日数が少ない	支援時間が短い	事業者（施設）に専門の職員がない	利用者負担について困っている	サービスの内容や利用方法がよくわからない	サービスに関する情報が少ない	利用できる事業者（施設）が身近にない	利用したい日に事業者（施設）に空きがない	障がいや特性を理由に事業者（施設）から利用を断られる
身体	113	19.5	22.1	15.9	2.7	3.5	7.1	9.7	12.4	22.1	6.2
療育	388	19.1	17.5	13.9	3.4	4.9	7.0	7.7	11.9	21.1	2.8
精神	26	19.2	11.5	15.4	—	3.8	7.7	7.7	3.8	7.7	3.8

区分	回答者数 (件)	事業者のサービスの質について困っている	他の利用者や事業所（施設）職員との人間関係について困っている	自宅から事業所（施設）まで遠い	事業所（施設）の送迎がない	事業所（施設）までの移動手段がない	特に困っていることはない	サービスの利用を必要としていない	その他	無回答
身体	113	4.4	—	12.4	15.0	0.9	23.9	6.2	4.4	12.4
療育	388	5.7	0.8	9.5	12.9	1.8	28.6	4.9	4.6	7.7
精神	26	—	3.8	15.4	15.4	7.7	19.2	26.9	3.8	11.5

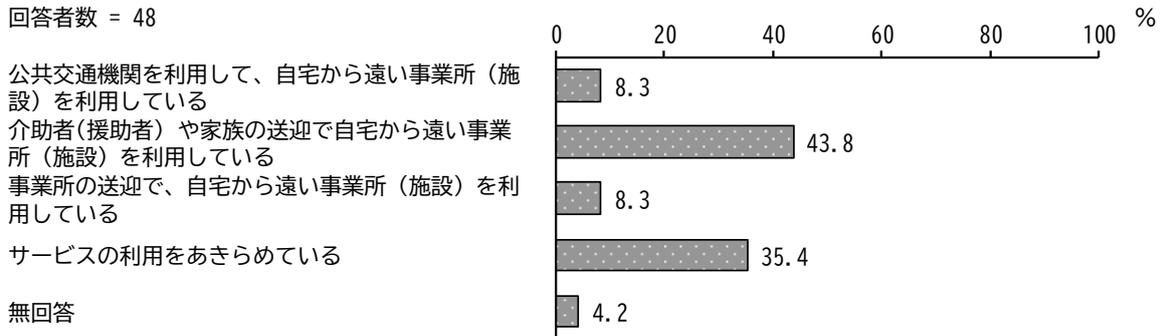
(13) 事業者（施設）が身近にないときのサービスの利用について（単数回答）

【18歳未満 問45（1）】

18歳未満

サービスの利用にあたって、事業者（施設）が身近になく困っている人（48人）の内、「介助者（援助者）や家族の送迎で自宅から遠い事業所（施設）を利用している」の割合が43.8%と最も高く、次いで「サービスの利用をあきらめている」の割合が35.4%となっています。

回答者数 = 48



【手帳種別】

手帳の種別でみると、身体障害者手帳、療育手帳で「介助者（援助者）や家族の送迎で自宅から遠い事業所（施設）を利用している」の割合が最も高くなっています。

精神障害者保健福祉手帳所持者（1人）については、「サービスの利用をあきらめている」となっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	公共交通機関を利用して、自宅から遠い事業所（施設）を利用している	介助者（援助者）や家族の送迎で自宅から遠い事業所（施設）を利用している	事業所の送迎で、自宅から遠い事業所（施設）を利用している	サービスの利用をあきらめている	無回答
身体	14	—	50.0	21.4	21.4	7.1
療育	46	8.7	43.5	8.7	34.8	4.3
精神	1	—	—	—	100.0	—

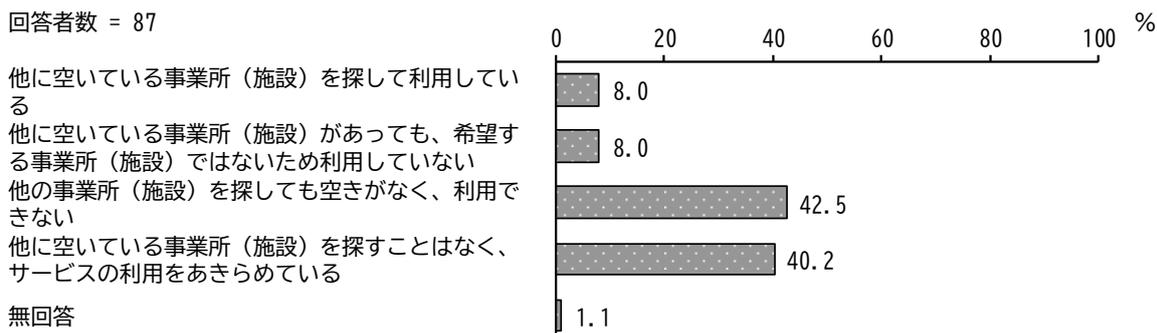
(14) 利用したい日に事業者（施設）に空きがないときのサービスの利用について  
（単数回答）

【18歳未満 問45（2）】

18歳未満

サービスの利用にあたって、利用したい日に事業者（施設）に空きがなく困っている人（87人）の内、「他の事業所（施設）を探しても空きがなく、利用できない」の割合が42.5%と最も高く、次いで「他に空いている事業所（施設）を探すことはなく、サービスの利用をあきらめている」の割合が40.2%となっています。

回答者数 = 87



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「他の事業所（施設）を探しても空きがなく、利用できない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

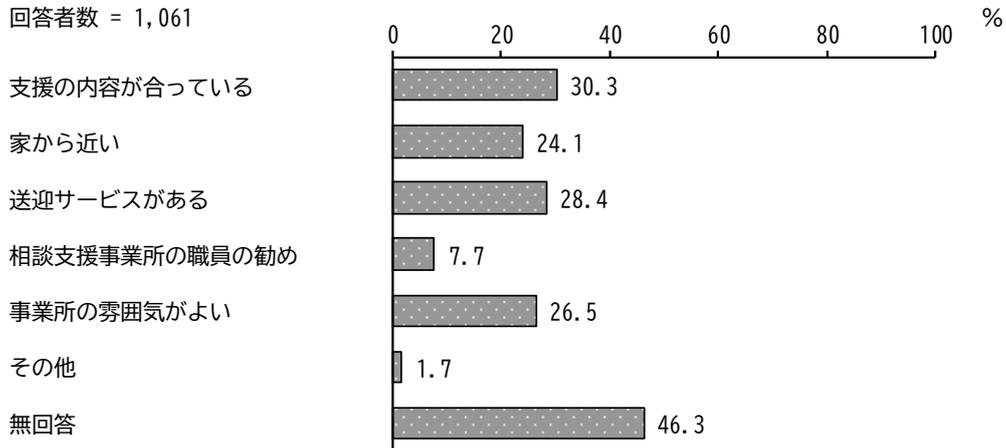
区分	回答者数 (件)	他に空いている事業所（施設）を探して利用している	他に空いている事業所（施設）があっても、希望する事業所（施設）ではないため利用していない	他の事業所（施設）を探しても空きがなく、利用できない	他に空いている事業所（施設）を探すことはなく、サービスの利用をあきらめている	無回答
身体	25	8.0	8.0	48.0	36.0	—
療育	82	8.5	8.5	42.7	39.0	1.2
精神	2	—	—	50.0	50.0	—

(15) サービスを利用する事業所を選ぶ際に重視すること（複数回答）

【18歳以上 問51・18歳未満 問46】

18歳以上

「支援の内容が合っている」の割合が30.3%と最も高く、次いで「送迎サービスがある」の割合が28.4%、「事業所の雰囲気がよい」の割合が26.5%となっています。



【手帳種別】

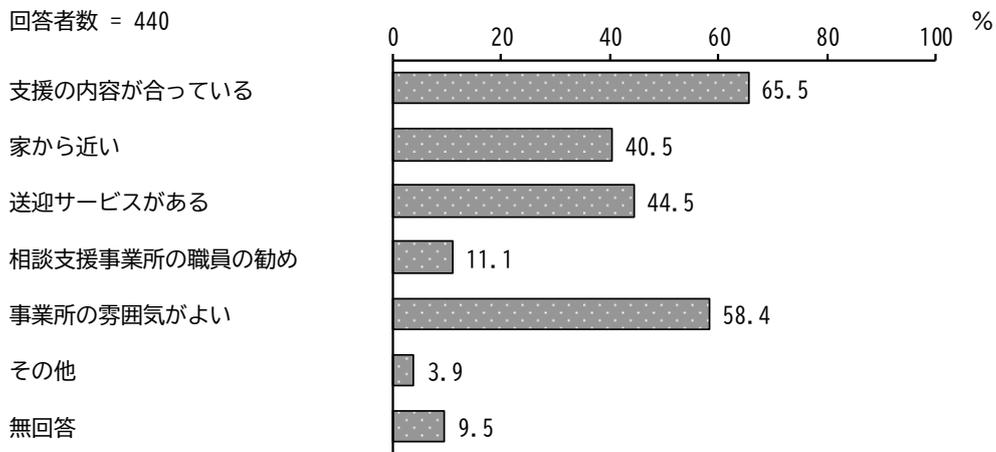
手帳の種別でみると、身体障害者手帳で「送迎サービスがある」の割合が最も高くなっています。療育手帳で「支援の内容が合っている」の割合が最も高くなっています。また、精神障害者保健福祉手帳で「事業所の雰囲気がよい」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	支援の内容が合っている	家から近い	送迎サービスがある	相談支援事業所の職員の勧め	事業所の雰囲気がよい	その他	無回答
身体	748	27.9	22.1	31.3	6.6	22.1	1.2	49.9
療育	242	34.7	25.6	21.1	13.2	31.8	2.1	41.7
精神	216	33.8	28.7	19.0	8.3	36.6	1.9	41.2

18歳未満

「支援の内容が合っている」の割合が65.5%と最も高く、次いで「事業所の雰囲気がよい」の割合が58.4%、「送迎サービスがある」の割合が44.5%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「支援の内容が合っている」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	支援の内容が合っている	家から近い	送迎サービスがある	相談支援事業所の職員の勧め	事業所の雰囲気がよい	その他	無回答
身体	113	67.3	43.4	32.7	8.8	56.6	2.7	14.2
療育	388	66.8	42.3	46.6	11.3	59.3	3.6	7.7
精神	26	69.2	30.8	50.0	7.7	38.5	7.7	11.5

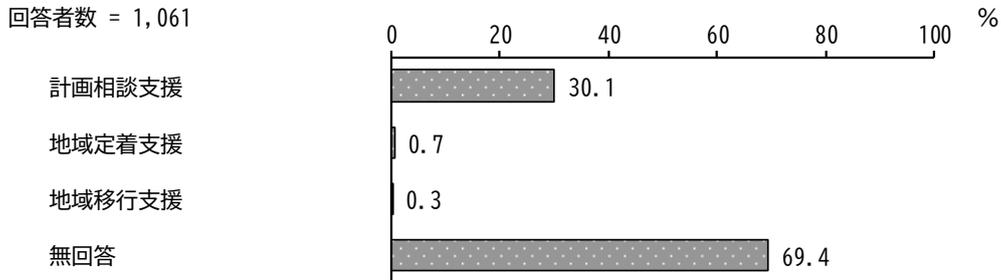
(16) 相談支援事業所の利用状況

【18歳以上 問52・18歳未満 問47】

18歳以上

①現在、利用している

「計画相談支援」の割合が30.1%と最も高くなっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「計画相談支援」の割合が最も高くなっています。

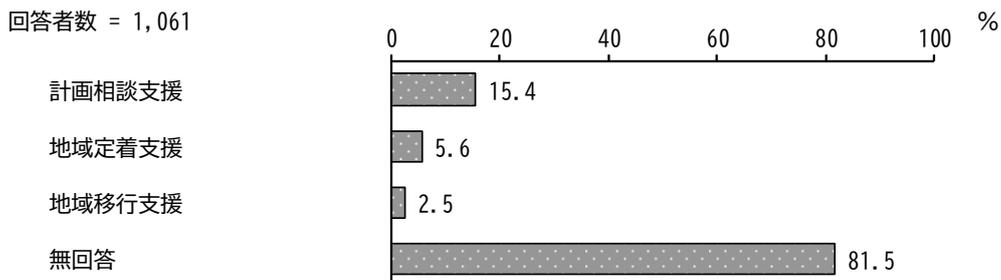
単位：%

区分	回答者数 (件)	計画相談支援	地域定着支援	地域移行支援	無回答
身体	748	21.7	0.8	0.3	77.7
療育	242	55.0	1.7	0.4	44.2
精神	216	38.9	1.4	0.5	59.3

②今後、利用したい（3年以内）

18歳以上

「計画相談支援」の割合が15.4%と最も高くなっています。



【手帳種別】

手帳の種別で見ると、全ての手帳で「計画相談支援」の割合が最も高くなっています。

単位：％

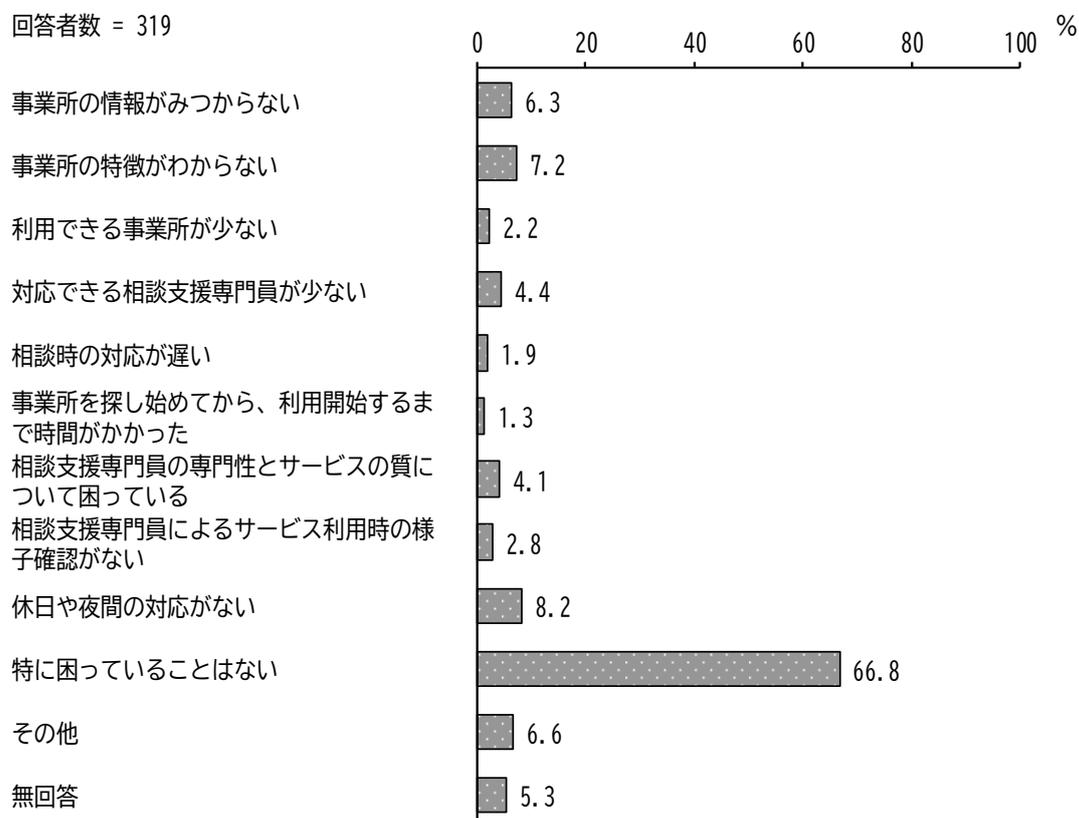
区分	回答者数 (件)	計画相談支援	地域定着支援	地域移行支援	無回答
身体	748	13.5	4.9	2.3	83.7
療育	242	19.4	6.2	3.7	76.9
精神	216	17.6	6.9	3.7	78.7

(17) 計画相談支援の利用に関して困っていること（複数回答）

【18歳以上 問52-1・18歳未満 問47-1】

18歳以上

計画相談支援を現在利用していると回答した人(319人)のうち、「特に困っていることはない」の割合が66.8%と最も高くなっています。



【手帳種別】

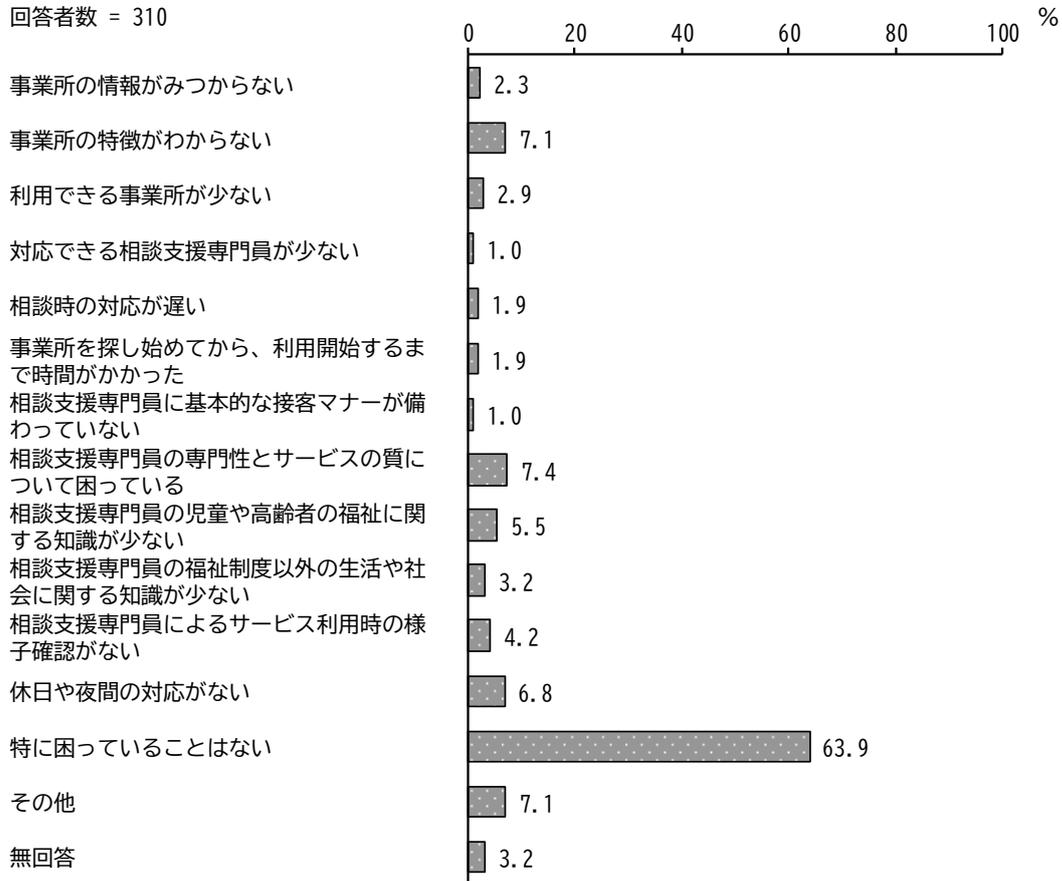
手帳の種別でみると、全ての手帳で「特に困っていることはない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	事業所の情報がみつからない	事業所の特徴がわからない	利用できる事業所が少ない	対応できる相談支援専門員が少ない	相談時の対応が遅い	事業所を探し始めてから、利用開始するまで時間がかかった	相談支援専門員の専門性とサービスの質について困っている	相談支援専門員によるサービス利用時の様子確認がない	休日や夜間の対応がない	特に困っていることはない	その他	無回答
身体	162	8.0	9.3	2.5	1.9	0.6	—	4.3	3.1	6.8	68.5	8.0	3.7
療育	133	7.5	6.0	1.5	3.8	3.0	—	3.8	3.0	9.8	64.7	3.8	8.3
精神	84	7.1	6.0	3.6	9.5	3.6	4.8	6.0	4.8	7.1	63.1	6.0	3.6

18歳未満

計画相談支援を現在利用していると回答した人(310人)のうち、「特に困っていることはない」の割合が63.9%と最も高くなっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「特に困っていることはない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	事業所の情報がみつからない	事業所の特徴がわからない	利用できる事業所が少ない	対応できる相談支援専門員が少ない	相談時の対応が遅い	事業所を探し始めてから、利用開始するまで時間がかかった	相談支援専門員に基本的な接客マナーが備わっていない	相談支援専門員の専門性とサービスの質について困っている	相談支援専門員の児童や高齢者の福祉に関する知識が少ない	相談支援専門員の福祉制度以外の生活や社会に関する知識が少ない	相談支援専門員によるサービス利用時の様子確認がない	休日や夜間の対応がない	特に困っていることはない	その他	無回答
身体	75	1.3	8.0	4.0	—	1.3	2.7	1.3	5.3	8.0	1.3	4.0	5.3	65.3	2.7	2.7
療育	289	2.4	6.6	3.1	1.0	2.1	1.7	1.0	8.0	5.5	3.5	4.5	6.9	62.6	7.3	3.5
精神	11	—	18.2	—	—	—	9.1	—	9.1	—	—	9.1	9.1	72.7	9.1	—

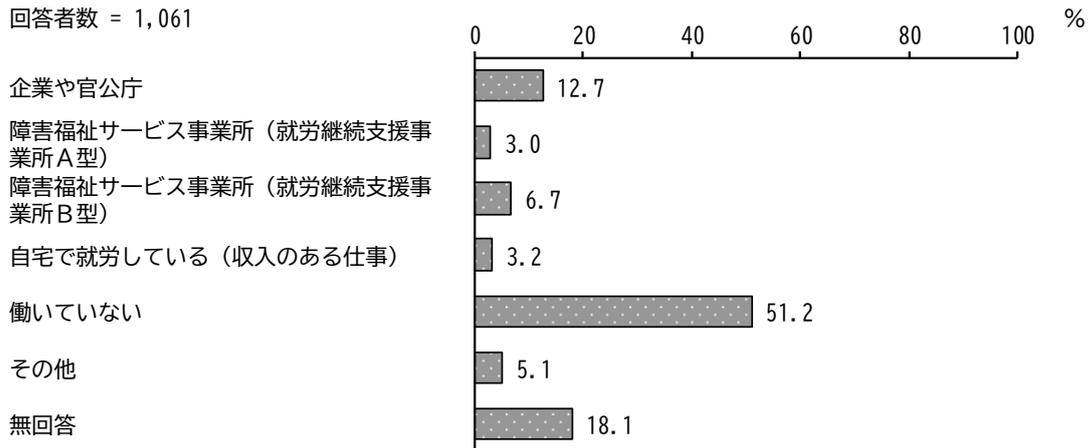
## 9 就労について

### (1) 働いている場所（単数回答）

【18歳以上 問53】

#### 18歳以上

「働いていない」の割合が51.2%と最も高く、次いで「企業や官公庁」の割合が12.7%となっています。



#### 【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「働いていない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

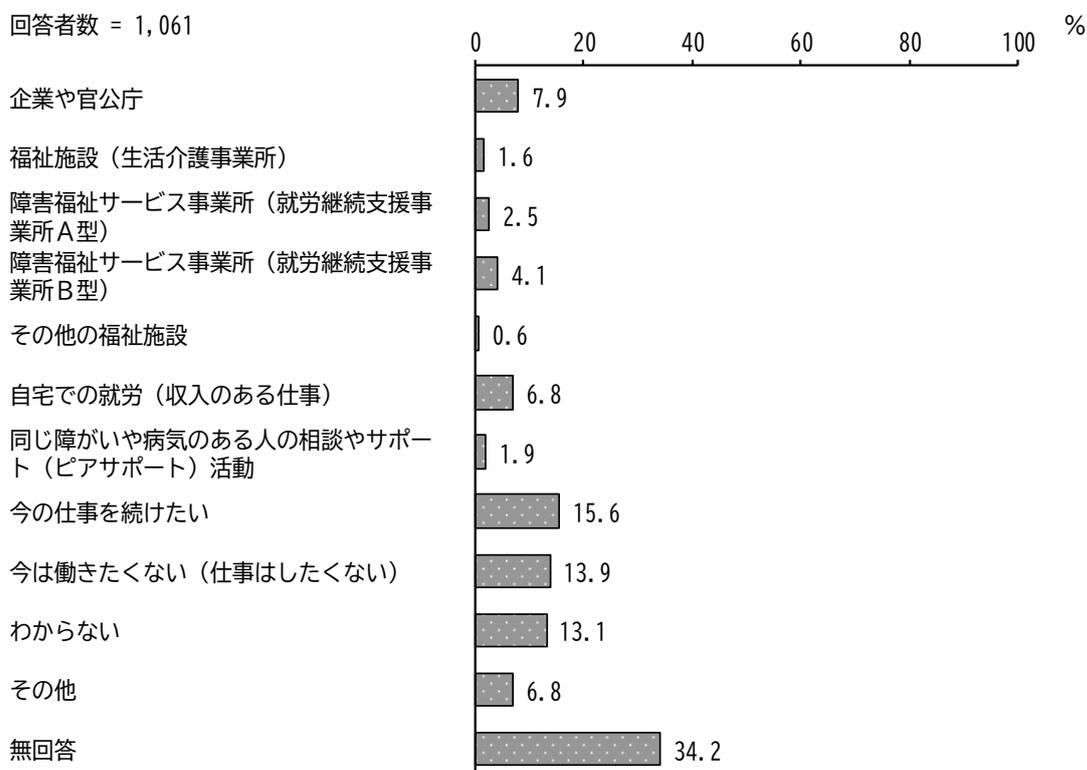
区分	回答者数 (件)	企業や官公庁	障害福祉サービス事業所 (就労継続支援事業所A型)	障害福祉サービス事業所 (就労継続支援事業所B型)	自宅で就労している (収入のある仕事)	働いていない	その他	無回答
身体	748	11.2	1.5	2.3	3.9	56.7	3.1	21.4
療育	242	10.3	6.6	18.2	0.8	35.1	9.5	19.4
精神	216	16.7	8.3	9.7	2.8	47.7	6.0	8.8

(2) これから働きたいと思う場所（複数回答）

【18歳以上 問54】

18歳以上

「今の仕事を続けたい」の割合が15.6%と最も高く、次いで「今は働きたくない（仕事はしたくない）」の割合が13.9%、「わからない」の割合が13.1%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、身体障害者手帳で「今は働きたくない（仕事はしたくない）」の割合が最も高くなっています。また、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳では「今の仕事を続けたい」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	企業や官公庁	福祉施設（生活介護事業所）	障害福祉サービス事業所（就労継続支援事業所A型）	障害福祉サービス事業所（就労継続支援事業所B型）	その他の福祉施設	自宅での就労（収入のある仕事）	同じ障がいや病気のある人の相談やサポート（ピアサポート）活動	今の仕事を続けたい	今は働きたくない（仕事はしたくない）	わからない	その他	無回答
身体	748	6.1	1.2	1.1	1.5	0.4	6.6	1.1	11.9	15.6	11.4	6.8	42.5
療育	242	5.4	5.8	6.2	10.3	0.8	3.7	1.2	20.2	7.4	14.5	5.4	30.6
精神	216	15.3	—	4.6	6.9	0.9	11.1	5.6	20.8	13.0	16.7	8.8	14.4

【年齢別】

年齢別にみると、20歳未満で「福祉施設（生活介護事業所）」の割合が最も高くなっています。また、20～60歳代で「今の仕事を続けたい」の割合が最も高くなっています。70歳代以上で「今は働きたくない（仕事はしたくない）」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	企業や官公庁	福祉施設（生活介護事業所）	障害福祉サービス事業所（就労継続支援事業所A型）	障害福祉サービス事業所（就労継続支援事業所B型）	その他の福祉施設	自宅での就労（収入のある仕事）	同じ障がいや病気のある人の相談やサポート（ピアサポート）活動	今の仕事を続けたい	今は働きたくない（仕事はしたくない）	わからない	その他	無回答
20歳未満	15	6.7	20.0	6.7	6.7	—	—	—	20.0	13.3	13.3	13.3	6.7
20歳代	78	14.1	5.1	5.1	10.3	1.3	10.3	1.3	26.9	3.8	14.1	12.8	12.8
30歳代	82	19.5	2.4	7.3	6.1	1.2	11.0	3.7	20.7	6.1	17.1	8.5	13.4
40歳代	96	10.4	5.2	4.2	12.5	—	12.5	4.2	32.3	11.5	12.5	3.1	10.4
50歳代	113	13.3	—	5.3	7.1	—	10.6	3.5	28.3	12.4	15.9	5.3	15.0
60歳代	148	11.5	—	0.7	5.4	1.4	7.4	0.7	22.3	16.2	13.5	5.4	26.4
70歳代	208	2.9	0.5	—	0.5	0.5	5.3	0.5	5.8	17.3	16.3	5.8	47.1
80歳以上	224	—	0.4	—	—	—	2.2	0.9	3.1	19.2	7.1	6.7	60.7

(3) 企業や官公庁または障害福祉サービス事業所を辞めた（行かなくなった）経験はありますか。

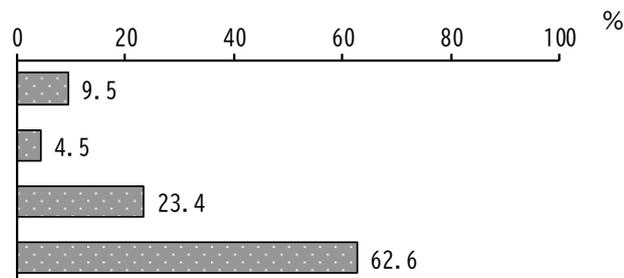
【18歳以上 問55】

18歳以上

「企業や障害福祉サービス事業所を辞めた（行かなくなった）経験はない」の割合が23.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,061

企業や官公庁を辞めた（または行かなくなった）経験がある  
 障害福祉サービス事業所（就労継続支援事業所A型・B型）  
 を辞めた（または行かなくなった）経験がある  
 企業や障害福祉サービス事業所を辞めた（行かなくなった）  
 経験はない  
 無回答



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「企業や障害福祉サービス事業所を辞めた（行かなくなった）経験はない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

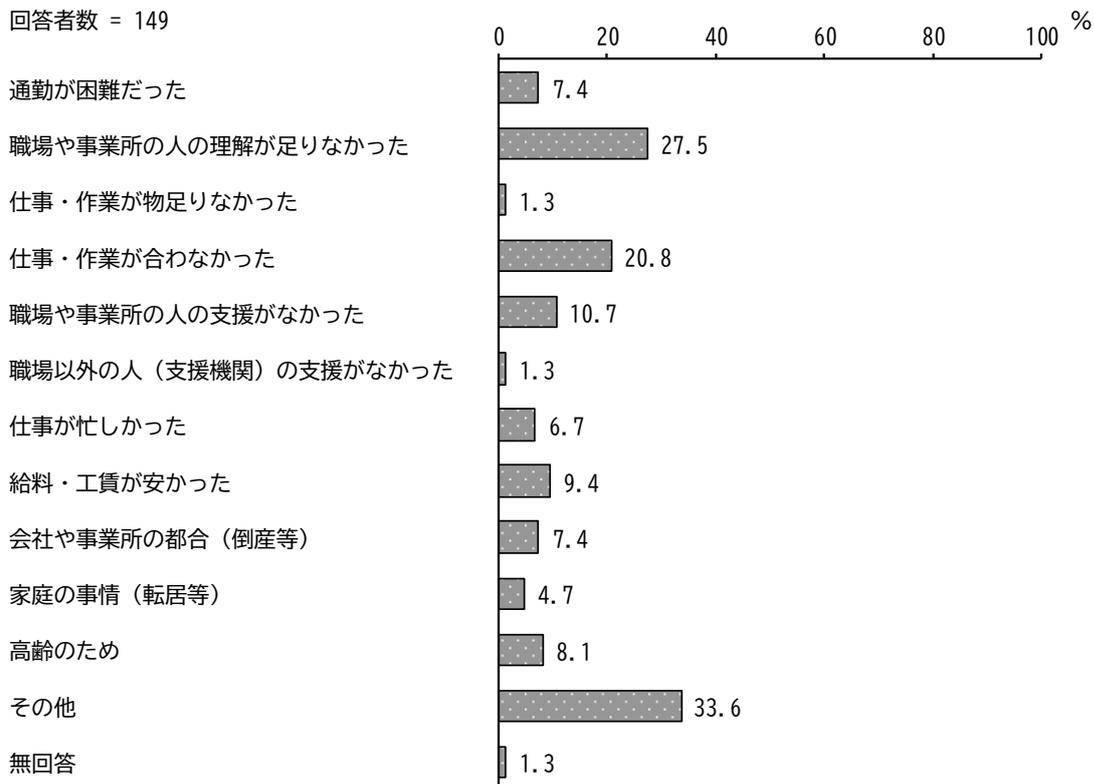
区分	回答者数 (件)	企業や官公庁を辞めた（または行かなくなった） 経験がある	障害福祉サービス事業所（就労継続支援事業所 A型・B型）を辞めた（または行かなくなった） 経験がある	企業や障害福祉サービス事業所を辞めた 行かなくなった）経験はない	無回答
身体	748	7.0	1.1	20.3	71.7
療育	242	5.4	6.2	34.7	53.7
精神	216	20.4	14.4	23.1	42.1

#### (4) 辞めた（行かなくなった）主な理由（複数回答）

【18歳以上 問55-1】

##### 18歳以上

辞めた経験があると回答した人（149人）のうち、「職場や事業所の人の理解が足りなかった」の割合が27.5%と最も高く、次いで「仕事・作業が合わなかった」の割合が20.8%、「職場や事業所の人の支援がなかった」の割合が10.7%となっています。



##### 【その他の意見（抜粋）】

- ・ 人間関係
- ・ 体調不良、病気
- ・ 職員と仕事内容が大幅に変わった
- ・ コロナのため会社が縮小されたため 等

【手帳種別】

手帳の種別で見ると、身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳で「その他」の割合が最も高くなっています。療育手帳で「職場や事業所の人の理解が足りなかった」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	通勤が困難だった	職場や事業所の人の理解が足りなかった	仕事・作業が物足りなかった	仕事・作業が合わなかった	職場や事業所の人の支援がなかった	職場以外の人（支援機関）の支援がなかった	仕事が忙しかった	給料・工賃が安かった	会社や事業所の都合（倒産等）	家庭の事情（転居等）	高齢のため	その他	無回答
身体	60	10.0	20.0	—	16.7	10.0	—	5.0	8.3	11.7	6.7	18.3	31.7	—
療育	28	3.6	42.9	3.6	14.3	14.3	—	3.6	7.1	7.1	—	3.6	35.7	3.6
精神	75	6.7	28.0	1.3	26.7	9.3	2.7	9.3	9.3	5.3	5.3	1.3	38.7	1.3

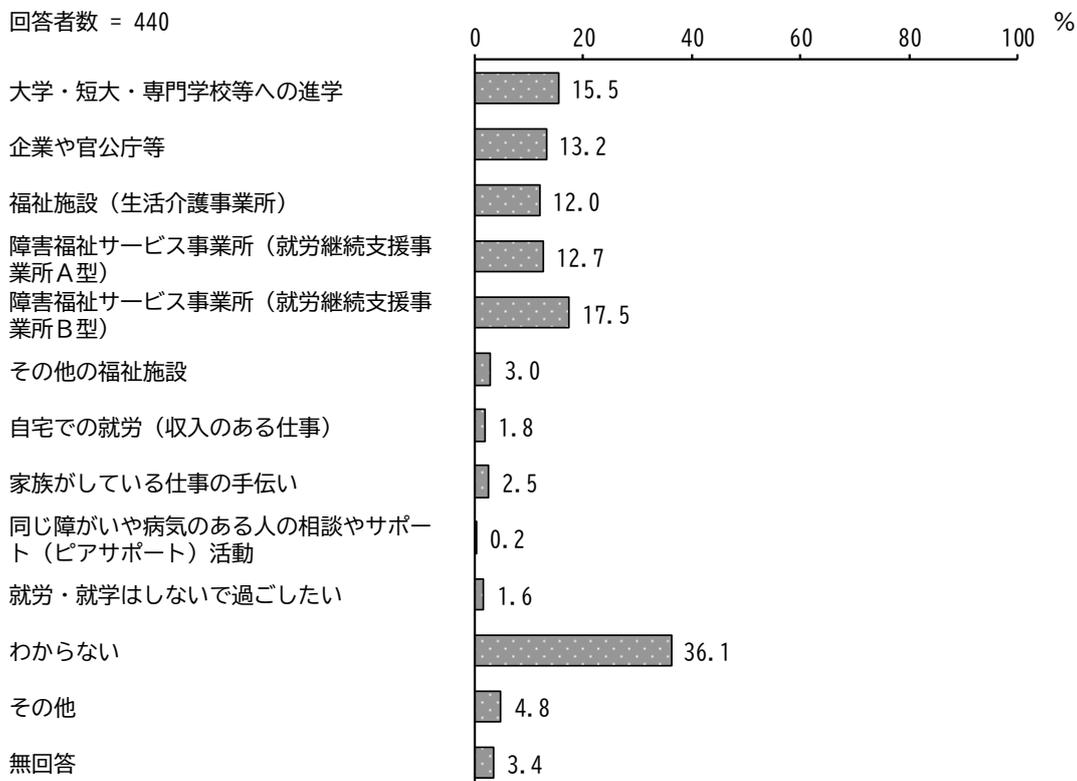
(5) 学校卒業後、働きたいまたは通いたいと思う場所（複数回答）

【18歳未満 問48】

18歳未満

「わからない」の割合が36.1%と最も高く、次いで「障害福祉サービス事業所（就労継続支援事業所B型）」の割合が17.5%、「大学・短大・専門学校等への進学」の割合が15.5%となっています。

回答者数 = 440



【手帳種別】

手帳の種別でみると、身体障害者手帳と療育手帳で「わからない」の割合が最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳で「大学・短大・専門学校等への進学」の割合が最も高くなっています。

単位：%

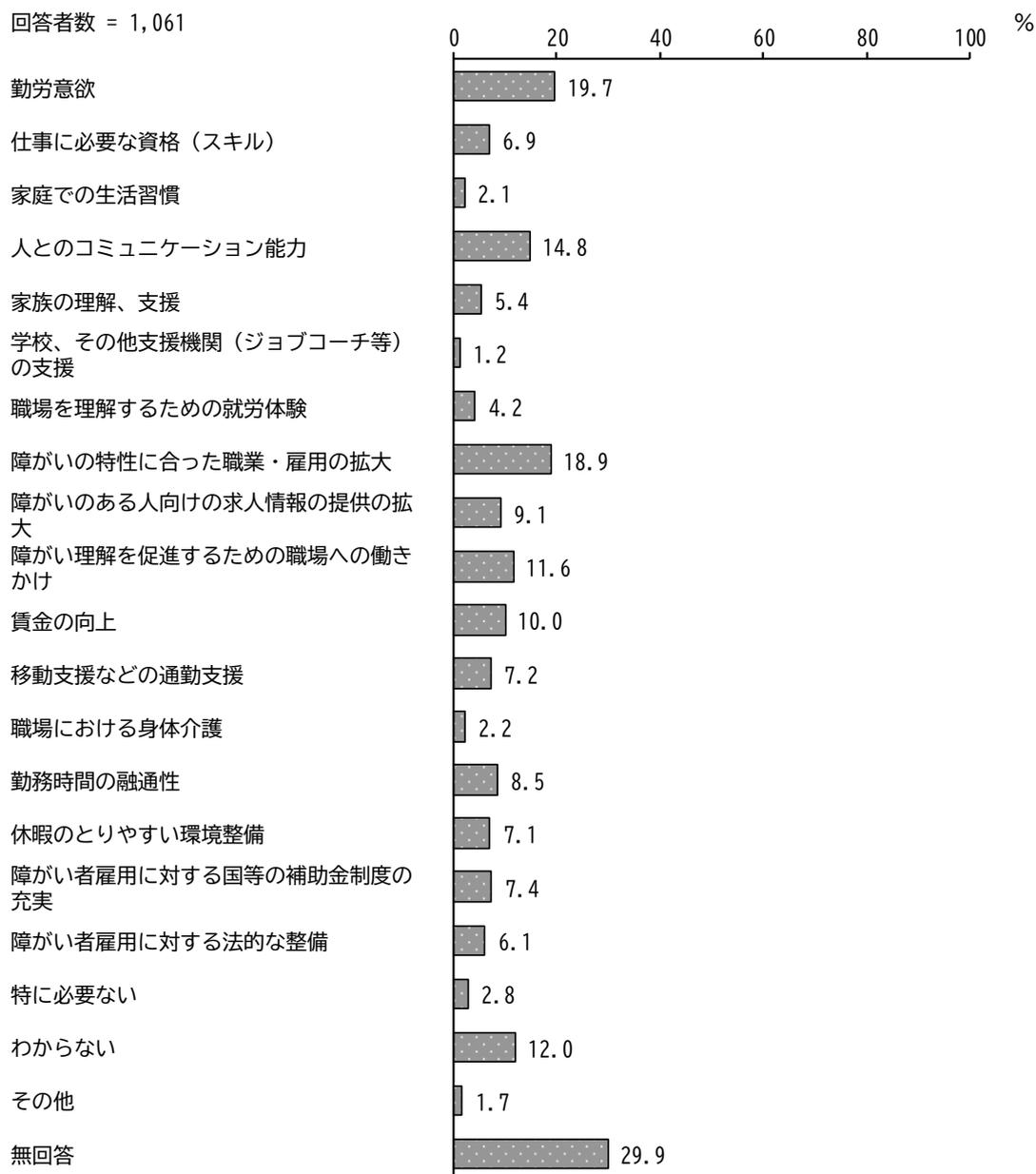
区分	回答者数 (件)	大学・短大・専門学校等への進学	企業や官公庁等	福祉施設（生活介護事業所）	障害福祉サービス事業所（就労継続支援事業所A型）	障害福祉サービス事業所（就労継続支援事業所B型）	その他の福祉施設	自宅での就労（収入のある仕事）	家族がしている仕事の手伝い	同じ障がいや病気のある人の相談やサポート（ピアサポート）活動	就労・就学はしないで過ごしたい	わからない	その他	無回答
身体	113	17.7	7.1	23.9	6.2	7.1	6.2	—	0.9	—	4.4	34.5	4.4	3.5
療育	388	11.3	12.4	12.4	14.2	19.8	3.1	1.5	2.8	0.3	1.8	37.6	4.4	3.6
精神	26	42.3	34.6	3.8	3.8	—	—	7.7	—	—	—	19.2	11.5	—

(6) 障がいのある人が企業等で就労するために必要だと思うこと (複数回答)

【18歳以上 問56・18歳未満 問49】

18歳以上

「勤労意欲」の割合が19.7%と最も高く、次いで「障がいの特性に合った職業・雇用の拡大」の割合が18.9%、「人とのコミュニケーション能力」の割合が14.8%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、身体障害者手帳では「勤労意欲」の割合が最も高く、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳で「障がいの特性に合った職業・雇用の拡大」の割合が最も高くなっています。

また、療育手帳では「障がい理解を促進するための職場への働きかけ」の割合が、精神障害者保健福祉手帳では「賃金の向上」「人とのコミュニケーション能力」の割合が特に高くなっています。

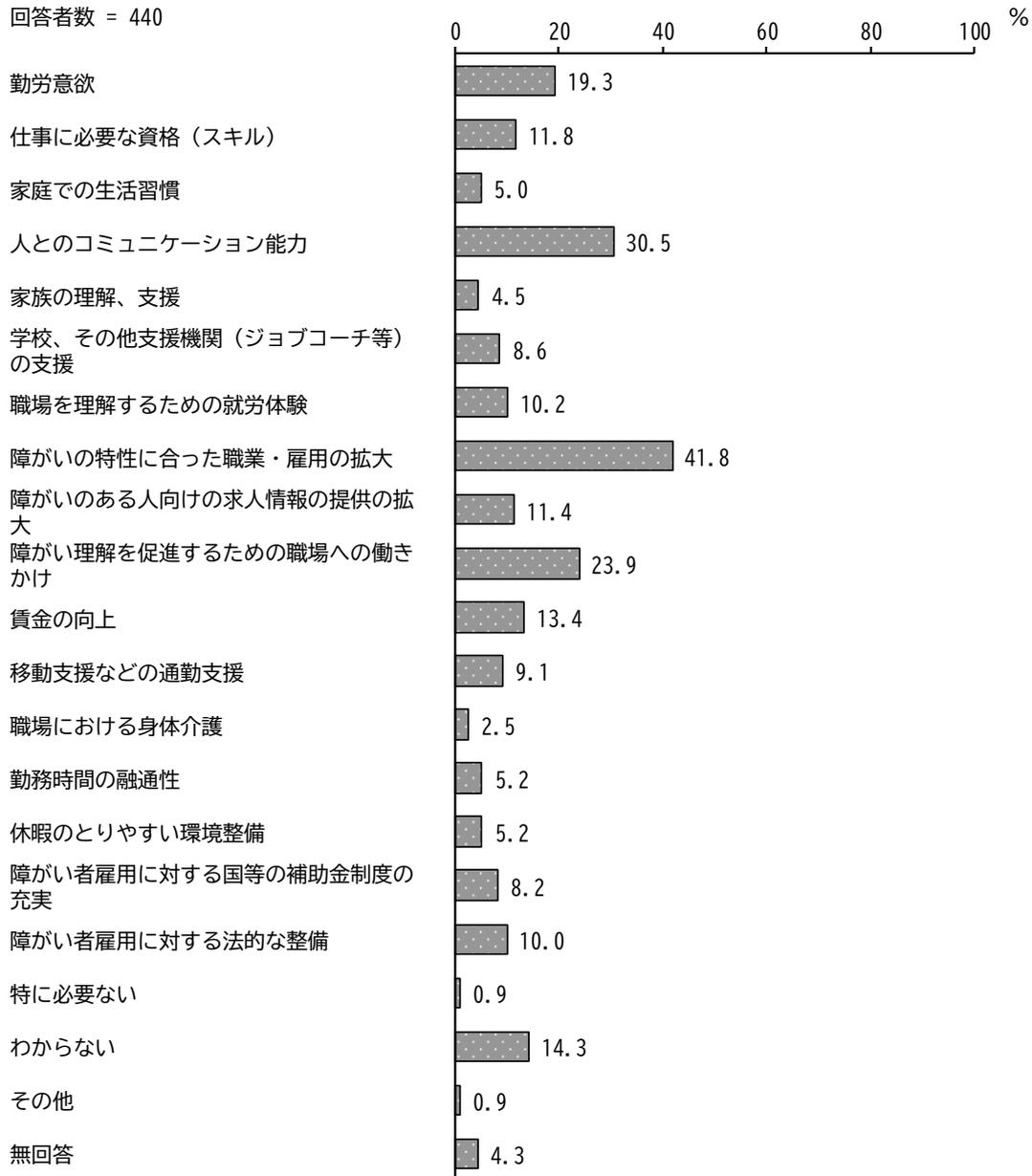
単位：％

区分	回答者数 (件)	勤労意欲	仕事に必要な資格 (スキル)	家庭での生活習慣	人とのコミュニケーション能力	家族の理解、支援	学校、その他支援機関 (ジョブコーチ等)の支援	職場を理解するための就労体験	障がいの特性に合った職業・雇用の拡大	障がいのある人向けの求人情報の提供の拡大	障がい理解を促進するための職場への働きかけ	賃金の向上
身体	748	19.0	6.7	1.7	11.1	4.9	0.7	3.2	15.8	8.8	8.8	7.2
療育	242	19.0	2.9	2.9	19.4	5.4	2.5	5.8	22.7	6.2	19.0	11.2
精神	216	22.2	10.6	3.2	23.1	6.9	1.4	8.3	24.5	13.0	13.4	19.4

区分	回答者数 (件)	移動支援などの通勤支援	職場における身体介護	勤務時間の融通性	休暇のとりやすい環境整備	障がい者雇用に対する国等の補助金制度の充実	障がい者雇用に対する法的な整備	特に必要ない	わからない	その他	無回答
身体	748	7.0	2.9	8.2	6.0	7.5	6.0	2.5	12.6	1.5	35.7
療育	242	7.9	1.7	5.4	3.3	8.3	4.5	3.3	13.2	1.2	26.0
精神	216	6.9	0.9	9.7	15.3	6.9	6.5	4.2	6.5	3.2	14.4

## 18歳未満

「障がいの特性に合った職業・雇用の拡大」の割合が41.8%と最も高く、次いで「人とのコミュニケーション能力」の割合が30.5%、「障がい理解を促進するための職場への働きかけ」の割合が23.9%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、身体障害者手帳、療育手帳で「障がいの特性に合った職業・雇用の拡大」の割合が特に高くなっています。また、精神障害者保健福祉手帳で「人とのコミュニケーション能力」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	勤労意欲	仕事に必要な資格 (スキル)	家庭での生活習慣	人とのコミュニケーション能力	家族の理解、支援	学校、その他支援機関 (ジョブコーチ等)の支援	職場を理解するための就労体験	障がいの特性に合った職業・雇用の拡大	障がいのある人向けの求人情報の提供の拡大	障がい理解を促進するための職場への働きかけ	賃金の向上
身体	113	12.4	8.0	5.3	15.9	5.3	8.0	5.3	34.5	9.7	23.9	5.3
療育	388	20.1	10.6	4.9	31.4	5.2	9.3	10.6	42.8	11.6	23.2	12.4
精神	26	7.7	19.2	3.8	38.5	3.8	7.7	15.4	34.6	7.7	30.8	34.6

区分	回答者数 (件)	移動支援などの通勤支援	職場における身体介護	勤務時間の融通性	休暇のとりやすい環境整備	障がい者雇用に対する国等の補助金制度の充実	障がい者雇用に対する法的な整備	特に必要ない	わからない	その他	無回答
身体	113	8.0	7.1	7.1	8.0	6.2	18.6	1.8	22.1	-	6.2
療育	388	9.5	2.8	4.4	3.9	8.5	9.5	1.0	13.9	1.0	4.6
精神	26	-	-	15.4	15.4	7.7	11.5	3.8	7.7	-	-

## 10 将来について

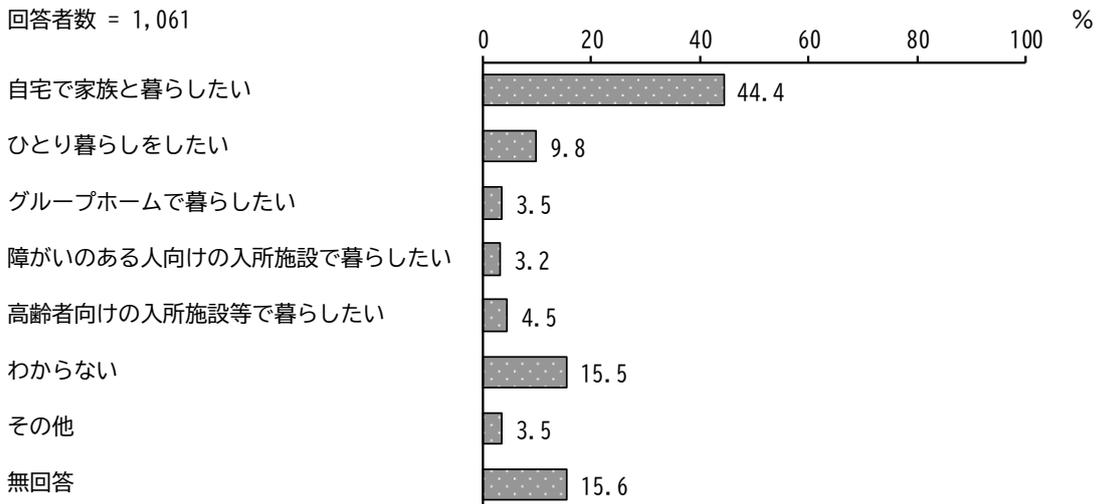
(1) 将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(単数回答)

【18歳以上 問57・18歳未満 問50】

### 18歳以上

「自宅で家族と暮らしたい」の割合が44.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が15.5%となっています。

回答者数 = 1,061



### 【手帳種別】

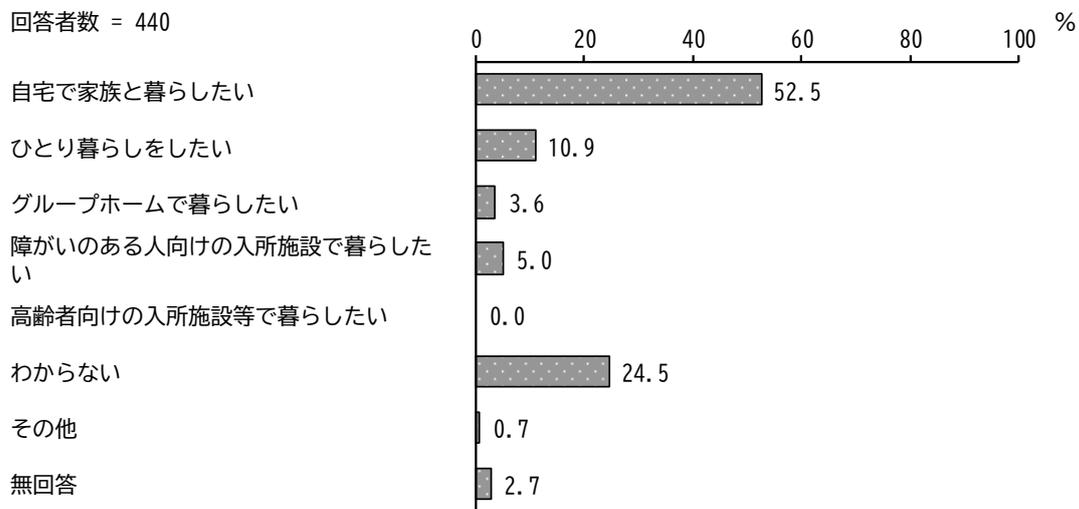
手帳の種別でみると、全ての手帳で「自宅で家族と暮らしたい」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	自宅で家族と暮らしたい	ひとり暮らしをしたい	グループホームで暮らしたい	障がいのある人向けの入所施設で暮らしたい	高齢者向けの入所施設等で暮らしたい	わからない	その他	無回答
身体	748	49.9	6.3	1.2	2.3	5.3	15.0	2.0	18.0
療育	242	29.8	9.9	11.2	9.1	4.5	14.9	4.5	16.1
精神	216	32.4	22.7	3.2	0.9	3.2	19.9	7.4	10.2

18歳未満

「自宅で家族と暮らしたい」の割合が52.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が24.5%、「ひとり暮らしをしたい」の割合が10.9%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「自宅で家族と暮らしたい」の割合が最も高くなっています。

単位：%

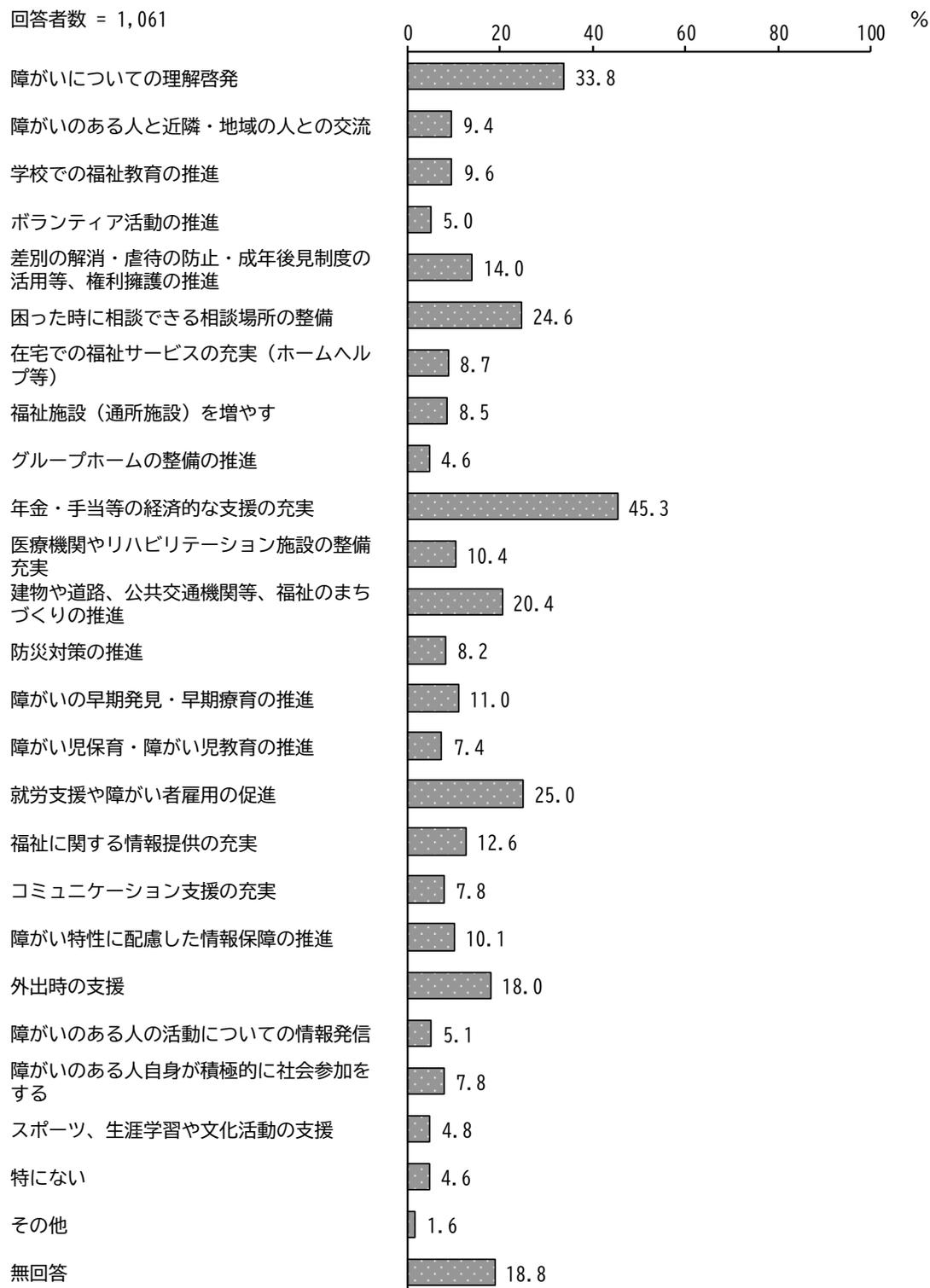
区分	回答者数 (件)	自宅で家族と暮らしたい	ひとり暮らしをしたい	グループホームで暮らしたい	障がいのある人向けの入所施設で暮らしたい	高齢者向けの入所施設等で暮らしたい	わからない	その他	無回答
身体	113	52.2	8.0	1.8	8.0	—	23.9	1.8	4.4
療育	388	53.6	9.0	4.1	5.4	—	24.5	0.5	2.8
精神	26	50.0	23.1	—	—	—	26.9	—	—

(2) 障がいのある人が安心して暮らしていくために必要だと思うこと（複数回答）  
 【18歳以上 問58・18歳未満 問51】

18歳以上

「年金・手当等の経済的な支援の充実」の割合が45.3%と最も高く、次いで「障がいについての理解啓発」の割合が33.8%、「就労支援や障がい者雇用の促進」の割合が25.0%となっています。

回答者数 = 1,061



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「年金・手当等の経済的な支援の充実」、「困った時に相談できる相談場所の整備」の割合が高くなっています。

また、身体障害者手帳では、「建物や道路、公共交通機関等、福祉のまちづくりの推進」の割合が高く、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳で「困った時に相談できる相談場所の整備」の割合が高くなっています。

単位：％

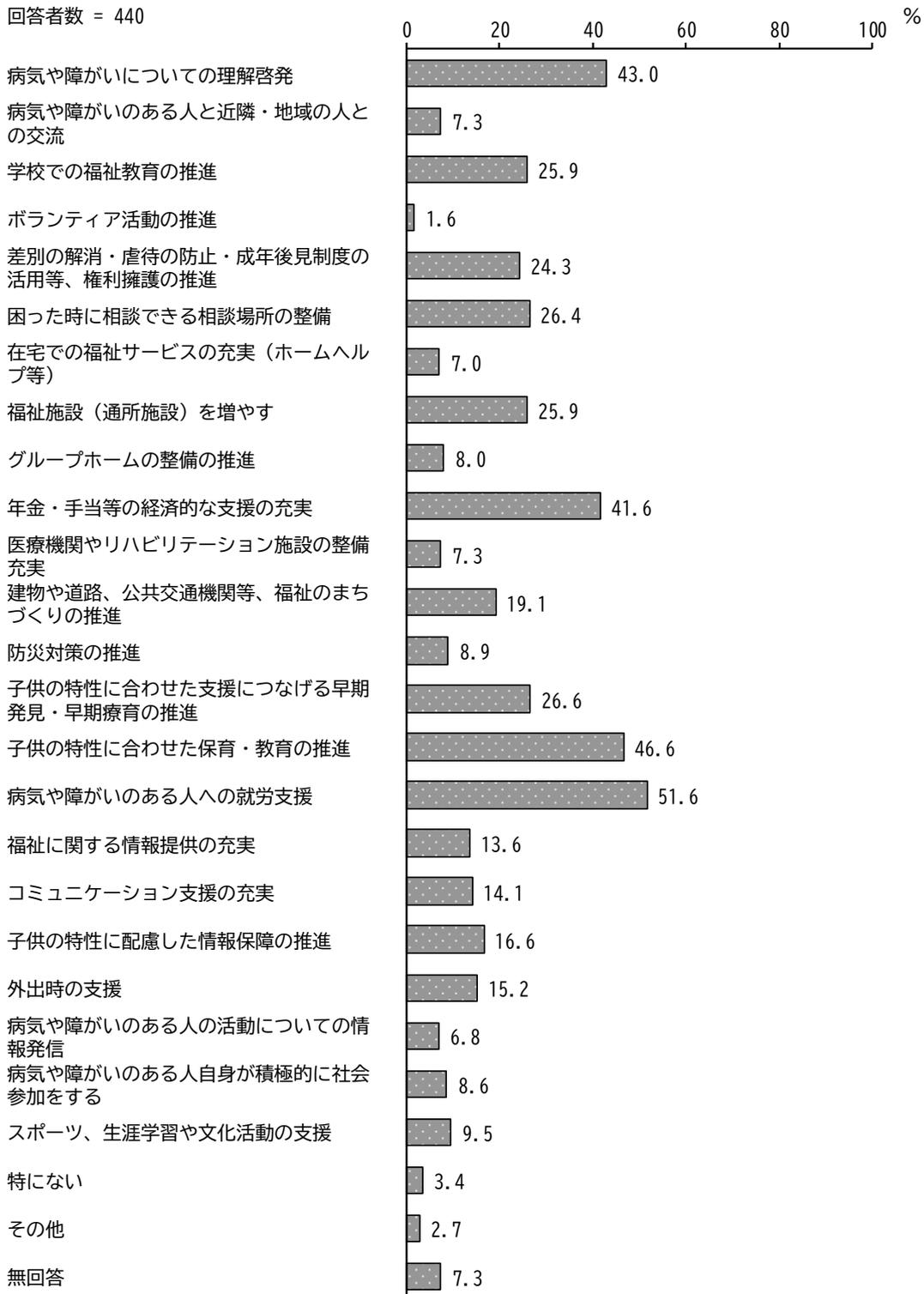
区分	回答者数 (件)	障がいについての理解啓発	障がいのある人と近隣・地域の人の交流	学校での福祉教育の推進	ボランティア活動の推進	差別の解消・虐待の防止・成年後見制度の活用等、権利擁護の推進	困った時に相談できる相談場所の整備	在宅での福祉サービスの充実（ホームヘルプ等）	福祉施設（通所施設）を増やす	グループホームの整備の推進	年金・手当等の経済的な支援の充実	医療機関やリハビリテーション施設の整備充実	建物や道路、公共交通機関等、福祉のまちづくりの推進	防災対策の推進
身体	748	31.7	9.0	9.0	4.9	10.0	21.7	9.8	6.1	2.5	43.0	12.3	23.7	7.9
療育	242	33.5	14.5	9.5	7.0	18.2	28.9	7.9	17.8	13.2	36.4	7.4	16.1	8.3
精神	216	39.8	6.9	8.3	4.2	22.2	30.1	6.0	8.8	4.2	58.3	7.9	14.4	7.9

区分	回答者数 (件)	障がいの早期発見・早期療育の推進	障がい児保育・障がい児教育の推進	就労支援や障がい者雇用の促進	福祉に関する情報提供の充実	コミュニケーション支援の充実	障がい特性に配慮した情報保障の推進	外出時の支援	発信	障がいのある人の活動についての情報加える	障がいのある人自身が積極的に社会参加をする	スポーツ、生涯学習や文化活動の支援	特になし	その他	無回答
身体	748	8.6	6.8	19.5	12.2	5.3	9.0	19.4	5.3	7.9	4.7	4.1	1.2	22.1	
療育	242	13.6	7.0	27.3	11.2	9.9	7.9	21.1	4.5	7.0	5.8	4.1	2.9	17.4	
精神	216	14.4	5.6	38.4	18.1	15.3	15.3	16.7	4.6	7.9	3.2	5.1	2.8	12.0	

18歳未満

「病気や障がいのある人への就労支援」の割合が51.6%と最も高く、次いで「子供の特性に合わせた保育・教育の推進」の割合が46.6%、「病気や障がいについての理解啓発」の割合が43.0%、「年金・手当等の経済的な支援の充実」の割合が41.6%となっています。

回答者数 = 440



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「病気や障がいについての理解啓発」、「子供の特性に合わせた保育・教育の推進」の割合が高くなっています。

また、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳で「年金・手当等の経済的な支援の充実」の割合が高く、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳で「病気や障がいのある人への就労支援」の割合が高くなっています

単位：%

区分	回答者数 (件)	病気や障がいについての理解啓発	病気や障がいのある人と近隣・地域の人との交流	学校での福祉教育の推進	ボランティア活動の推進	差別の解消・虐待の防止・成年後見制度の活用等、権利擁護の推進	困った時に相談できる相談場所の整備	在宅での福祉サービスの充実（ホームヘルプ等）	福祉施設（通所施設）を増やす	グループホームの整備の推進	年金・手当等の経済的な支援の充実	医療機関やリハビリテーション施設の整備充実	建物や道路、公共交通機関等、福祉のまちづくりの推進	防災対策の推進
身体	113	44.2	—	31.0	2.7	19.5	19.5	15.9	37.2	2.7	45.1	12.4	30.1	8.8
療育	388	42.8	8.0	25.0	1.8	23.2	25.5	6.4	28.1	9.0	41.0	7.5	17.3	9.3
精神	26	50.0	7.7	26.9	—	42.3	34.6	3.8	—	—	50.0	3.8	19.2	—

区分	回答者数 (件)	子供の特性に合わせた支援につなげる早期発見・早期療育の推進	子供の特性に合わせた保育・教育の推進	病気や障がいのある人への就労支援	福祉に関する情報提供の充実	コミュニケーション支援の充実	子供の特性に配慮した情報保障の推進	外出時の支援	病気や障がいのある人の活動についての情報発信	病気や障がいのある人自身が積極的に社会参加をする	スポーツ、生涯学習や文化活動の支援	特になし	その他	無回答
身体	113	16.8	41.6	31.9	19.5	4.4	15.9	12.4	11.5	9.7	5.3	3.5	1.8	9.7
療育	388	27.3	46.4	51.8	14.2	14.9	16.0	16.0	6.4	8.8	10.3	3.1	2.8	7.7
精神	26	38.5	57.7	61.5	19.2	19.2	26.9	11.5	3.8	11.5	7.7	—	—	—

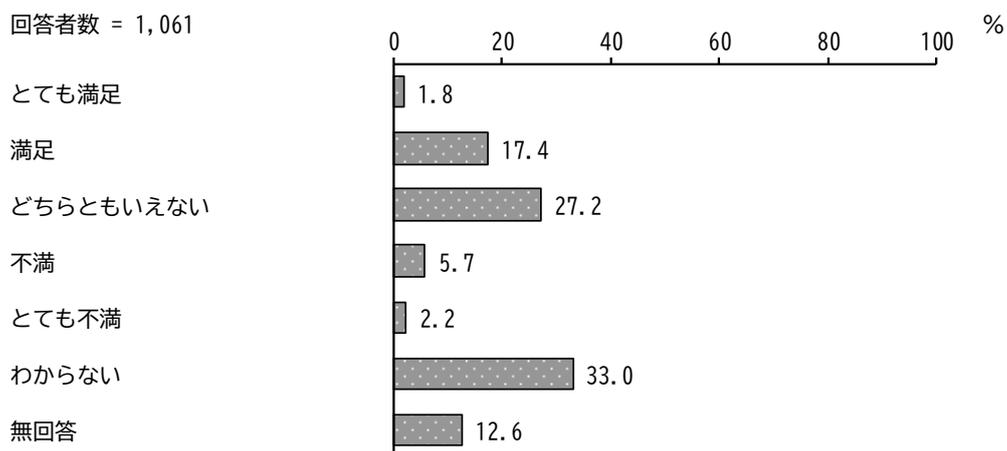
## 11 浜松市の障がい福祉施策について

(1) 浜松市の障がい福祉の施策全般について (単数回答)

【18歳以上 問59・18歳未満 問52】

18歳以上

「わからない」の割合が33.0%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が27.2%、「満足」の割合が17.4%となっています。



【手帳種別】

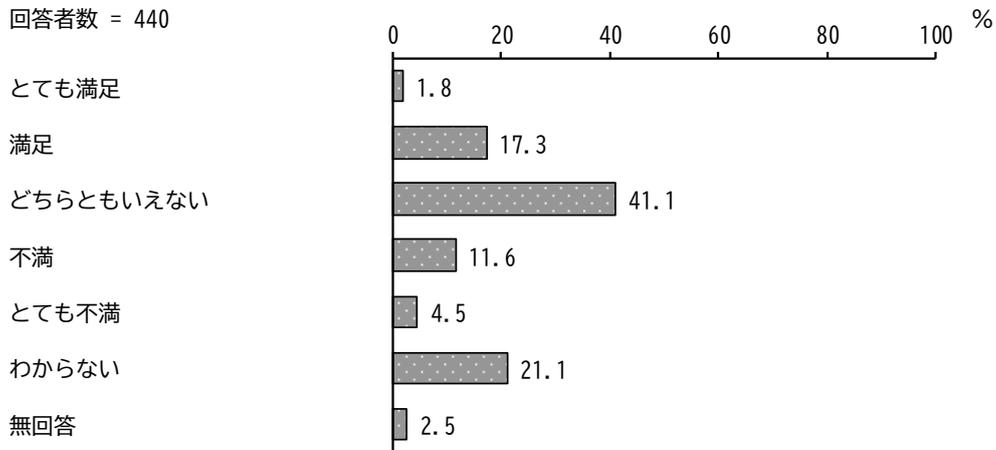
手帳の種別でみると、全ての手帳で「わからない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	とても満足	満足	どちらともいえない	不満	とても不満	わからない	無回答
身体	748	1.3	18.4	26.7	4.9	1.7	32.1	14.7
療育	242	2.9	13.2	30.2	8.7	2.5	30.6	12.0
精神	216	4.2	18.5	26.4	7.4	4.2	31.5	7.9

18 歳未満

「どちらともいえない」の割合が 41.1%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 21.1%、「満足」の割合が 17.3%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別でみると、全ての手帳で「どちらともいえない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	とても満足	満足	どちらともいえない	不満	とても不満	わからない	無回答
身体	113	2.7	21.2	40.7	8.0	8.0	14.2	5.3
療育	388	1.8	17.3	42.3	11.9	4.4	19.8	2.6
精神	26	3.8	3.8	38.5	19.2	3.8	30.8	—

## 12 自由回答

障がいのある人への支援や施策等を推進していく上での意見を自由記述によりご記入いただきました。合計で414人の方からご意見をいただき、内容を集約し、それぞれ次のおり分類しました。なお、紙面の関係で内容を一部抜粋、要約してあります。

### (1) 理解促進について

#### ◆18歳以上

- ・ 重度や中度の障がいのある人への支援を重視していくのは当然だが、軽度でも、できない事があつたり困つたりする事があるので考えてほしいです
- ・ 障がいのある人に優しすぎると感じます。障がいのある人は普通の人ではなく、健常者がいるから生活ができているということをもっと理解するべきです。感謝する気持ちを持ち続けることが大切です。

#### ◇18歳未満

- ・ 障がいの軽い子は何もしてもらえない子供が多いです。見た目で分かりにくい分、周りに理解してもらうことが難しいです。
- ・ 行政からも、障がいを持つ人が社会にいて、生きていこうとしていることを多くの人に知ってもらえるようご支援をお願いします。
- ・ 市内小中学校の教員の中には、障がいのある子どもへの理解が十分でないため、こころないことを言ったり、したりすることがあると聞きます。教科の研修同様、障がい児教育の研修は必ず全員が受けるようにしてほしいです。

### (2) 生活支援について

(福祉サービスの利用に関する意見)

#### ◆18歳以上

- ・ 入所出来る施設が少ないため、入りたくても入所できていない人が多くいます。
- ・ 3年もしくは5年位に1回は定期的に再診察を行ったうえで、いつまでも同じではなく身に応じて、安心して支援を受けることができるようにしてほしいと思います。
- ・ 介助者の立場から、人工透析をしても入所できる老人ホームがあると良いと思います。
- ・ 不安障害で外出が難しいので、付き添ってくれる支援がほしいです。
- ・ 日中一時支援施設を増やしてほしい。グループホームの建設を急いでほしい。
- ・ いじめ、虐待のない、安心してらせる施設を作してほしい。

#### ◇18歳未満

- ・ 障がい児の施設入所児童の里親委託をすすめてほしいです。
- ・ 「子供SOSダイヤル」や「虐待対応ダイヤル」のような「障がい児の親SOS」みたいな、いつでも不安を聞いたり、その悩みならこの機関に相談したら？とつなげてくれたりす

るような、心のよりどころがほしいなと障がい児をもってから10年以上思い続けています。

- ・ 障がい児に合ったサービスの提案を、生涯にわたってしてくれる仕組みがあると助かると思っています。
- ・ 療育施設に放課後通わせたいが、いつも定員いっぱいに通うことができません。

#### (経済支援に関する意見)

##### ◆18歳以上

- ・ 年間7,000円のバス・電車・タクシーの補助金を使いきれない場合、翌年に持ちこししてほしい。
- ・ 病院受診の際、車の運転をしないでタクシーを利用するため、経済的に負担が大きくなる。少し支援があると家計の負担が小さくなる。
- ・ いつ年金を切られるかがとても心配です。自分が一般企業に就職できる前に年金がなくなったら生きていけないので、経済的な支援が必要です。

##### ◇18歳未満

- ・ 特別児童扶養手当の所得制限を見直して欲しいです。
- ・ 障がいを持つ人全てが、平等にその権利を利用できるようにしてほしいです。所得で差別をしないで下さい。

### (3) 保健・医療について

##### ◆18歳以上

- ・ 就労支援B型の賃金が少ないのに医療手当がない。B型に通っているうちは、医療費の助成をして欲しい。
- ・ 精神障がいの人が入院・入所することのできる所が少なくどうしていいのかわからないことが多い。

##### ◇18歳未満

- ・ 言語機能に障がいがある人に対して、もう少し集中的に治療を受けることは出来ないかと思う。

### (4) 生活環境について

##### ◆18歳以上

- ・ 障がいがあるなしにかかわらず、高齢化がすすんで移動手段がなくなっている人が多くなってきていると思うので、公共交通機関等の整備を行ってほしいと思います。

- ・ 目に見える障がいの方がメインの支援がほとんどで、目に見えない精神障がい（発達障害など）を持つ親は、苦痛を抱えています。

#### ◇18歳未満

- ・ スーパーなどでの音を大きい音じゃなくて静かめにするか、オルゴールとか落ち着く音にするのがいいと思います。鉄の物をプラスチックに変えてほしいです。
- ・ 道路がボコボコしていて、段差がある。足の不自由な方、車イスの方はもちろん、ベビーカーでの行動も難しいです。
- ・ 障がい児が利用しやすい公園や室内のアスレチック施設があると、障がい児でも行きやすいですし、そこで親同士のコミュニティも広がると思うので、ぜひ作ってほしいです。
- ・ 災害がおきた時、小学校中学校に避難しても和式トイレは使えないので困ります。

## (5) 療育・教育について

(療育・教育環境の充実に関する意見)

#### ◆18歳以上

- ・ 障がいのある子どもが安心して生活できるような教育環境を作るため、家庭、社会に目を向けていただきたいです。
- ・ 障がいがあっても18才で高校を卒業したら自立して働くことになり、国、県、市など金銭面でのサービスは乏しくなる。障がいのある子どもをかかえる家族は働く時間も収入も限られるため、共に生活するのが苦痛の時もある。

#### ◇18歳未満

- ・ 医療、福祉、教育関係者の方々には手厚く関わって頂きありがたく感じています。しかし、そのような方々の中でだけでは暮していけないので、健常児や全く別の職種の方とも早い段階から関わられるようにさせたいと思っています。
- ・ 特別支援学校の学区が広い為、もっと数を増やしてほしいです。近くで通える特別支援学校があれば通いやすくなる方が多くなると思うからです。
- ・ 療育施設が少なく、通いたくても通えません。保育園、幼稚園も対応困難と断られます。大人になって社会生活を送っていける様、教育の場を充実していただきたいです。
- ・ 各小中学校の支援学級に情緒障がい特別支援学級を設置してほしいです。
- ・ 高校に行った後の支援が少ない。勉強やコミュニケーションのスキル、また就職のサポートなどを手厚くしてほしい。
- ・ 不登校児をかかえることで、経済的負担も大きくなるため、フリースクールの数を増やしてほしいです。

## (6) 情報・コミュニケーションについて

### ◆18歳以上

- ・ 市の方からも施設情報を発信してもらえると助かります。職員の方が実際行って写真や雰囲気やHPや冊子でUPしてもらえると分かりやすい。
- ・ もっと、SNS活用してほしい。市役所は、行きづらい。相談しづらい。
- ・ 市役所に出むいても、どの窓口で何を相談したらよいかわからない。情報が少なすぎる。
- ・ 放課後デイ・医療・学校・療育・就労支援・生活支援の情報が、それぞれバラバラで情報もまとまっていない気がする。自分で全部調べるのは大変です

### ◇18歳未満

- ・ イベントへの参加などSNSやホームページなどで発信してくれるとうれしい。
- ・ いろいろな情報をどこで入手すればいいのかよくわからない。誰でも最新の情報が共有できる場があると助かる。

## (7) 雇用・就労について

### ◆18歳以上

- ・ 委託業者に仕事を与えるのではなく、障がいのある人の為に浜松市が雇用するべきだと思います。
- ・ 現在働いている職場が、健常者と同じ能力があると判断されるので仕事がとてもきつくて、負担になってしまいます。
- ・ 障がいのある人にわかりやすい行政のホームページの作成・充実
- ・ 障害者雇用率を超えて雇い入れてくれている企業に対する支援。障害者雇用の条件の変更を行ってほしいです。
- ・ 企業の障がいに対する理解と働ける企業をもっと増やして欲しいです。資格の取得ができたり、今に合った働き方や賃金を考えて欲しいです。
- ・ 仕事をしているので、どこまで体力がつづくか不安です。障がい者となり収入も減りました。住宅ローンをいつまで支払えるか不安です。
- ・ 精神障がいのある人が自宅でできる仕事（リモートワーク等）の促進をしてもらいたい。精神障がいのある人は、人間関係などのため、企業での勤務は難しいと思います

### ◇18歳未満

- ・ 就労継続支援事業所B型の企業に電話しても、「定員いっぱいです」と何社にも言われ、夏休みに就労体験もさせてもらえませんでした。B型の企業と定員を増やしてほしいです。
- ・ 障がいのある人がパソコンなどのスキルアップができる場所が少ないように思います。その子の特徴にあった就労施設も少なく思います。

## (8) 社会参加について

### ◆18歳以上

- ・ 就労継続支援事業所A型やB型で働いている人で社会参加したい人に対して、障がいを持つ人を雇用できる会社を1年に1回ぐらい紹介してほしいです。
- ・ 障がいのある人との交流の場を充実させてほしいです。

### ◇18歳未満

- ・ 自宅で障がいのある人を介護、育児している家族が社会から孤立しないように、育児している親も、介護と仕事の両立が出来るように、親も自分の老後や幸せが考えられるように支援していただけたらありがたいです。
- ・ 障がいのある人と健常者がケアする、されるという非対称な関係からお互いの存在を尊重し社会と接続しながら生活ができるようになったらいいなと思います。

## (9) その他の意見・要望について

### ◆18歳以上

- ・ 読み書きのできない障がいがある人に、この手のアンケートが送付されることが疑問です。
- ・ 障がいのある方も健常者と励まし合いながら希望を持つ事も大事だと思います
- ・ 身体障害者手帳の更新に経費を要し、かつ病院まで2回も出向き、役所に提出しなくてはならず、負担が重いです。
- ・ 上からの目線ではなく、足もとの福祉施策を考えてください。
- ・ 都市間競争の激しい時代、本市がサービス面、物心両面でトップランナーを目指し、介護や看護に携っている方々の給与アップやマンパワーの充実を後押しする政策を推進してください。
- ・ 福祉課の窓口の職員に障がい福祉や制度に対する知識のある人とほとんどない人の差がありすぎます。

### ◇18歳未満

- ・ 障がいを持つ人の目線に立った支援、今後ともよろしくお願い致します。
- ・ 不正をする事業所を排除して欲しいです。
- ・ 障がいのあるないに関係なく、浜松市が子育てしやすい街、住みやすい街ナンバーワンになったらいいなと強く思います。
- ・ 役所のルールで、手続きに手間がかかり、対応が遅いと思う事が多いので、オンラインの活用を進めてほしいです。
- ・ 障がいのある本人のための施策ももちろんですが、家族ぐるみで幸福度が上がるような施策をお願いしたいです。

令和4年度浜松市障がい者計画等策定実態調査  
令和5年3月

発行：浜松市役所 健康福祉部  
障害保健福祉課

〒430 - 8652

静岡県浜松市中区元城町 103 番地の2

053 - 457 - 2034

053 - 457 - 2630